

船橋市の文化芸術振興に関する 調査報告書

令和7年9月

船橋市

目次

1 部	文化芸術についての近年の動向	1
I	社会環境の変化	1
1	新型コロナウイルス感染症	1
2	少子高齢化	1
3	高度情報化とデジタル・トランスフォーメーション（DX）	1
4	持続可能な社会づくり	2
5	地域コミュニティ	2
II	国の動向	3
1	文化芸術基本法	3
2	文化芸術推進基本計画	3
3	障害者による文化芸術活動の推進に関する法律	5
4	文化財保護法	5
5	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律（文化観光推進法）	6
6	博物館法	6
III	他自治体の文化・芸術振興施策の事例	8
2 部	アンケート調査結果	27
I	調査結果の概要	27
II	調査の詳細	30
1	調査の目的	30
2	調査対象	30
3	調査期間	30
4	調査方法	30
5	回収率	30
6	報告書の見方	30
III	調査結果	31
1	市民向け調査	31
2	団体向け調査	104
IV	調査結果の分析と課題整理	136
1	調査結果の分析	136
2	課題の整理	139
V	調査票	142
1	市民向け	142
2	団体向け	154

1 部 文化芸術についての近年の動向

I 社会環境の変化

1 新型コロナウイルス感染症

- ・令和 2 年（2020 年）に発生した新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）の感染拡大により、外出や他者とのコミュニケーションが制限され、人が集まる公演、展覧会、お祭り、フェスティバルなどが中止、延期となった。
→文化・芸術を支えるアーティスト、文化芸術団体、文化施設等は大きな打撃を受けた。
→市民による文化・芸術の鑑賞や活動も大きく制限された。
- ・一方で、新型コロナによる行動制限を受け、働き方や、人と人とのコミュニケーションのあり方、デジタル化など、それまでとはことなった新しい生活様式への移行が進み、社会全体の価値観や行動の変化が生まれた。
→公演や展覧会の代替手段であった「オンラインを活用した文化・芸術の鑑賞」が、新たな鑑賞形態として定着しつつある。

2 少子高齢化

- ・令和 6 年（2024 年）の全国の出生数は 686,061 人で、高齢化率は 29.1%となっている。
 - ・令和 7 年（2025 年）1 月 1 日時点の市の人口は 649,393 人（住民基本台帳より）で、令和 25 年（2043 年）には 61 万 1 千人程度になると推計（第 3 次総合計画より）されている。
 - ・高齢化率は日本全体では令和 12 年（2030 年）に 31.2%に、市では令和 15 年（2033 年）に 17.3%になると推計され、全国と比較すると匹目の比率ではあるものの、令和 25 年（2043 年）には 20.8%に増加すると推計されている。
- 少子化による地域文化の担い手不足が大きな課題となっている。
- 人口減少で公演や展覧会等の入場者の減少も想定され、文化・芸術全般の縮小も懸念される。

3 高度情報化とデジタル・トランスフォーメーション（DX）

- ・デジタル・トランスフォーメーション（DX）、人工知能（AI）、IoT、ビッグデータなどの技術革新が浸透し、それに伴い、産業だけでなく、働き方や社会生活にも影響を与えている。
- デジタル技術を活用した新たな表現・文化財の鑑賞・作品取引などが次々に展開されている。
- 生まれた時からスマートフォンやタブレットが身近にある今の子どもたち（＝デジタル・ネイティブ）は、配信で音楽や映像を楽しんだり、自ら作った作品を世界に発信したりするなど、日常的に文化・芸術にデジタルを活用。
- インターネットにより世界の多様な文化・芸術やエンターテインメントに接する機会が増え、嗜好の細分化が進んでいる。

4 持続可能な社会づくり

- ・2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」が、将来に向けた人類共通の目標として社会に浸透してきている。
- ・「誰一人取り残さない社会」の実現に向けた様々な取組の中でも、地球環境保護、多様性の尊重、多文化共生などが特に注目されている。
- ・地球規模の社会課題解決にあたり、国連やG20などで、文化・芸術が大きな役割を果たすとの認識が示された。
 - 年齢、障害の有無、経済的な状況などに関わらず、誰もが身近に文化・芸術に接することができる環境づくりが課題。
 - 社会的課題の解決が人類共通のテーマとなっており、文化・芸術にも、そうした課題解決の視点が求められている。

5 地域コミュニティ

- ・全国的にひとり暮らし、特に高齢者の単独世帯の割合が増加している。
 - ・市には、令和2年（2020年）時点で16,915人の外国人が居住していた。
- 単独世帯、特に高齢単独世帯が増加することで、社会的孤立や貧困のリスク、災害時サポートへの影響が懸念される。単身者、高齢者、外国人など、地域コミュニティとの接点が少なくなりがちの人と人をつなぎ、地域と結びつけていくことが求められている。文化・芸術にもその一端を担うことが期待されている。

Ⅱ 国の動向

1 文化芸術基本法

平成 29 年（2017 年）に、「文化芸術振興基本法」が「文化芸術基本法」に改正された。

この法律では、文化・芸術を単体で振興するのではなく、他の行政分野と連携して総合的に推進するものに変更されたこと、文化財や芸術文化ジャンルに加えて、お茶・お花・書道などを始めとする各種生活文化が幅広く振興の対象となったこと、地方自治体において文化芸術の推進計画を構築し、推進していくことが強く推奨されたことがポイントとなっている。

文化・芸術単体の振興から、他分野と連携の上での総合的な推進へ
- 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関分野における施策が文化行政の範囲内に
「芸術」文化中心の振興施策から、幅広い分野の文化の振興へ
- 生活文化（書道、華道、茶道など）を「振興の対象」と明確に定義
- 生活文化の例示に「食文化」を提示
- 「芸術祭」を振興対象に明記
各自治体での文化芸術推進計画の立案が「努力義務」へ
- 国の基本計画に基づき、各自治体が計画を作ることが強く推奨されている（通達も出ている）
- 各地域で「文化芸術プラットフォーム」を作り、地域一丸で文化芸術を推進することが推奨される

2 文化芸術推進基本計画

平成 30 年（2018 年）に、「文化芸術基本法」を推進するための基本計画として「文化芸術推進基本計画－文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる－（第 1 期）」が閣議決定された。

この基本計画では、これまでの文化行政の対象を文化芸術の「本質的価値」と位置づけ、文化芸術がもたらす「社会的・経済的価値」をも併せて推進するとしたこと、また、「社会的・経済的価値」の推進においては、他省庁との連携を基本としたことがポイントとなっている。

【第 1 期計画：平成 30 年度（2018 年度）～令和 4 年度（2022 年度）】
■文化芸術の 2 つの価値
（ア）本質的価値：これまで文化行政が中心としてきた「文化・芸術の鑑賞、文化活動」
・豊かな人間性を涵養、創造力・感性を育成
・文化的な伝統を尊重する心を育成
（イ）社会的・経済的価値：「本質的価値」の活用により生み出される社会的価値、経済効果
・他者と共感し合う心、人間相互の理解を促進
・質の高い経済活動を実現
・人間尊重の価値観、人類の真の発展に貢献
・文化の多様性を維持、世界平和の礎

■今後 5 年間の文化芸術政策の基本的な方向性(2018～2022 年度)

(ア) 本質的価値の推進

戦略 1：文化芸術の 創造・発展・継承と豊かな文化芸術教育の充実

戦略 5：多様で高い能力を有する専門的人材の確保・育成

戦略 6：地域の連携・協働を推進するプラットフォームの形成

(イ) 社会的・経済的価値の推進

戦略 2：文化芸術に対する効果的な投資とイノベーションの実現

戦略 3：国際文化交流・協力の推進と文化芸術を通じた相互理解・国家ブランディングへの貢献

戦略 4：多様な価値観の形成と包摂的環境の推進による社会的価値の醸成

第 1 期基本計画の 5 年の成果を踏まえ、2023 年に第 2 期計画が策定された。「文化芸術は、人々の創造性を育み、豊かな人間性を涵養する（本質的価値）とともに、人々の心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会（社会的・経済的価値）を形成する源泉」という基本法の考え方にに基づき、中長期目標を第 1 期基本計画を引き継いで設定している。

【第 2 期計画（案）：令和 5 年度（2023 年度）～令和 9 年度（2027 年度）】

■中長期目標

中長期目標 1. 文化芸術の創造・発展・継承と教育・参加機会の提供

→文化芸術の創造・発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていることを目指す（※主に本質的価値）。

中長期目標 2. 創造的で活力ある社会の形成

→文化芸術に効果的な投資が行われ、イノベーションが生まれるとともに、文化芸術の国際交流・発信を通じて国家ブランドの形成に貢献し、創造的で活力ある社会が形成されていることを目指す（※主に経済的価値）。

中長期目標 3. 心豊かで多様性のある社会の形成

→あらゆる人々が文化芸術を通して社会に参画し相互理解が広がり、多様な価値観が尊重され、心豊かな社会が形成されていることを目指す（※主に社会的価値）。

中長期目標 4. 持続可能で回復力のある地域における文化コミュニティの形成

→地域の文化芸術を推進するためのプラットフォームが全国各地に形成され、多様な人材や文化芸術団体・諸機関が連携・協働し、持続可能で回復力のある地域における文化コミュニティが形成されていることを目指す。

■重点取組

1. ポストコロナの創造的な文化芸術活動の推進

→従来施策に加え、（経済的）自立化、メディア芸術（＝映像産業）支援、アート市場支援等（経済面が多い）。

2. 文化資源の保存と活用の一層の促進

→保存技術の振興（文化財の匠プロジェクト）、有形・無形の文化財、地域の伝統行事、近代建築保存など。

3. 文化芸術を通じた次代を担う子供たちの育成

→学校での芸術教育の充実、日本の伝統文化の子供たちへの継承、文化部活動の地域との連携・移譲推進など。

4. 多様性を尊重した文化芸術の振興

→性別・年齢・障害有無・国籍に関わらない共生社会の進展、財源の多様化など。

5. 文化芸術のグローバル展開の加速

→日本博、ビジネス手法を取り入れた世界進出、気候変動などに対応した文化芸術など。

6. 文化芸術を通じた地方創生の推進

→美術館・博物館・劇場等の拠点整備、文化観光拠点・日本遺産による観光振興、食文化の振興、公共空間の開放など。

7. デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進

→デジタル技術活用の推進、デジタル・アーカイブの推進など。

3 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律

平成 30 年（2018 年）に文化庁と厚生労働省との共管で「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が成立し、翌年には法の推進を行う基本計画が決定された。この法律は、「文化芸術基本法」及び「障害者基本法」の基本的な理念に基づき、障害者による文化芸術活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することによって、障害者の個性と能力の発揮及び社会参加を促進させることを目的としている。

また、この法律の特徴として、障害者の参画機会の拡大に加え、障害者が制作した作品を適正に評価し、権利保護を行い、流通させていくという障害者の文化芸術の市場化促進の方向性が組み込まれていることがある。同法は、文化芸術基本法と同様に、地方自治体に対して地域における計画策定を努力義務としている（基本法に基づく地域の文化芸術推進計画の一部として策定することも可）。

■基本的な方針

視点 1 障害者による文化芸術活動の幅広い促進

視点 2 障害者による芸術上価値が高い作品等の創造に対する支援の強化

視点 3 地域における、障害者の作品等の発表、交流の促進による、心豊かに暮らすことのできる住みよい地域社会の実現

■施策の方向性

(1) 鑑賞の機会の拡大

(2) 創造の機会の拡大

(3) 作品等の発表の機会の確保

(4) 芸術上価値が高い作品等の評価等

(5) 権利保護の推進

(6) 芸術上価値が高い作品等の販売等に係る支援

(7) 文化芸術活動を通じた交流の促進

(8) 相談体制の整備等

(9) 人材の育成等

(10) 情報の収集等

(11) 関係者の連携協力

4 文化財保護法

戦前からの法体系を整理した「文化財保護法」は、平成 30 年（2018 年）に大きく改正された。改正の大きなポイントは、文化財の滅失や散逸等を防ぐための保護体制の強化と、文化財の観光などへの活用を強く打ち出した点である。また、令和 3 年（2021 年）にも、無形文化財及び無形の民俗文化財登録制度の新設、地方公共団体による文化財の登録制度の新設などを内容とする改正が行われた。

■平成 30（2018）年の改正

- (1) 地域における文化財の総合的な保存・活用（文化財保存活用地域計画の作成、文化財保存活用支援団体の指定）
- (2) 個々の文化財の確実な継承に向けた保存活用制度の見直し
- (3) 地方における文化財保護行政に係る制度の見直し
- (4) 罰則の見直し

■平成 30（2018）年の改正

- (1) 無形文化財及び無形の民俗文化財の登録制度の新設
- (2) 地方登録制度の新設

5 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律（文化観光推進法）

令和 2 年（2020 年）に文化庁と国土交通省との共管で「文化観光推進法」が制定された。この法律は、文化の振興を、観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的としている。

■平成 30（2018）年の改正

- (1) 地域における文化財の総合的な保存・活用（文化財保存活用地域計画の作成、文化財保存活用支援団体の指定）
- (2) 個々の文化財の確実な継承に向けた保存活用制度の見直し
- (3) 地方における文化財保護行政に係る制度の見直し
- (4) 罰則の見直し

■平成 30（2018）年の改正

- (1) 無形文化財及び無形の民俗文化財の登録制度の新設
- (2) 地方登録制度の新設

6 博物館法

平成 30 年（2018 年）の文部科学省設置法の改正に伴い、それまでは博物館の所管が文部科学省本省であったものが、外局である文化庁に移行した。それを踏まえて、博物館法も令和 4 年（2022 年）に改正された。

この改正の主なポイントは、これまでは社会教育法の下にあった博物館法を「文化芸術基本法の精神に基づくこと」に定め、また、他の博物館や地域の多様な主体との連携、地域の活力の向上への取り組みを努力義務とした点にある。あわせて、博物館の登録制度について見直しも行われた。

①社会教育法だけでなく、文化芸術基本法の精神にも基づくものに

→社会教育施設であるとともに、「文化芸術」施設に。

②デジタル・アーカイブ事業の追加

③努力義務の追加

他の博物館等と連携すること、及び地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り地域の活力の向上に取り組むことを努力義務として追加。

→文化芸術基本法に則り総合的な文化芸術推進の拠点となること、具体的には、文化観光法で示された「文化資源保存活用施設」として、文化観光の拠点となることが努力の対象とされている。また、改正文化財保護法で示された地方自治体における総合的な文化財保存計画の立案・実施に必要な地域文化財の計画的な保存・活用の促進を図る機関としての役割も期待されている。

④登録要件の緩和

従来は地方公共団体、一般社団法人・財団法人等に限定されていたが、「経済的基礎と社会的信望」があれば、博物館として登録できるように。

→企業博物館／美術館など、民間の施設が、博物館法上の博物館になれるようになった。

Ⅲ 他自治体の文化・芸術振興施策の事例

次の自治体を選定した。

千葉県 千葉県／千葉市／松戸市／柏市
 東京都 西東京市／立川市
 埼玉県 川口市
 神奈川県 藤沢市／相模原市

調査対象の各自治体の現状

		千葉県				
	項目	千葉県	船橋市	千葉市	松戸市	柏市
面積		5156.48Km ²	85.62Km ²	271.76Km ²	61.38Km ²	114.74Km ²
人口	2020年人口	6,284,480	642,907	974,951	498,232	426,468
	15歳未満	734,496	80,768 (12.6%)	110,929	56,967 (11.4%)	53,334 (12.5%)
	15～64歳	3,715,691	405,974 (63.1%)	569,887	311,509 (62.5%)	260,161 (61.0%)
	65歳以上	1,699,991	156,165 (24.3%)	249,963	129,756 (26.0%)	112,973 (26.5%)
	外国人人口	142,177	16,915	23,142	15,513	7,882
	1位	中国 (49,043)	中国 (7,335)	中国 (10,309)	中国 (6,825)	中国 (3,173)
	2位	ベトナム (17,541)	ベトナム (2,928)	韓国・朝鮮 (2,883)	ベトナム (2,175)	ベトナム (944)
	3位	フィリピン (16,891)	韓国・朝鮮 (1,476)	フィリピン (2,191)	フィリピン (1,622)	韓国・朝鮮 (919)
	4位	韓国・朝鮮 (13,736)	フィリピン (1,165)	ベトナム (1,864)	韓国・朝鮮 (1,488)	フィリピン (849)
	5位	ネパール (6,101)	ネパール (1,070)	ネパール (696)	ネパール (609)	ネパール (251)
	昼間人口	5,549,636 (昼夜間人口比88.3%)	522,032 (昼夜間人口比 81.2%)	946,610 (昼夜間人口比97.0%)	387,908 (昼夜間人口比 77.9%)	383,860 (昼夜間人口比 90.0%)
	2045年人口	5,463,363	603,287	905,240	433,700	406,714
	15歳未満	568,568	69,899	93,273	42,255	43,141
	15～64歳	2,905,996	341,197	480,397	233,501	223,377
	65歳以上	1,988,799	192,191	331,570	157,944	140,196

		東京都		埼玉県	神奈川県	
	項目	西東京市	立川市	川口市	藤沢市	相模原市
面積		15.75	24.36	61.95	69.56	328.91
人口	2020年人口	207,388	183,581	594,274	436,905	725,493
	15歳未満	24,707	21,828	72,665	56,803	82,532
	15～64歳	128,947	115,971	373,347	265,260	435,860
	65歳以上	48,446	45,524	137,923	106,517	185,236
	外国人人口	4,566	4,221	31,592	5,198	13,334
	1位	中国 (2,195)	中国 (1,922)	中国 (14,056)	中国 (978)	中国 (3,096)
	2位	韓国・朝鮮 (842)	韓国・朝鮮 (786)	韓国・朝鮮 (2,053)	韓国・朝鮮 (591)	韓国・朝鮮 (1,204)
	3位	フィリピン (288)	フィリピン (349)	ベトナム (1,699)	ベトナム (554)	フィリピン (1,080)
	4位	ベトナム (234)	ベトナム (261)	フィリピン (1,576)	ブラジル (465)	ベトナム (856)
	5位	アメリカ (171)	ネパール (184)	ネパール (354)	ペルー (426)	アメリカ (270)
	昼間人口	167,697 (昼夜間人口比80.9%)	207,832 (昼夜間人口比113.2%)	490,197 (昼夜間人口比825.5%)	405,999 (昼夜間人口比92.9%)	645,219 (昼夜間人口比88.9%)
	2045年人口	202,976	177,368	594,768	436,060	710,539
	15歳未満	23,299	17,466	71,378	55,129	77,791
	15～64歳	127,381	111,689	382,880	267,564	432,673
	65歳以上	52,296	48,213	140,510	113,367	200,075

(1) 千葉県

1. 特徴

- ・明治6年6月15日に当時の木更津県と印旛県をあわせて千葉県が誕生。県庁を千葉町（現在の千葉市）に置く。
- ・県内の文化財は、国指定144件、国登録334件、県指定570件。
- ・県内の文化芸術関係の就業者（令和2年国勢調査より、以下同じ）は、「音楽家、舞台芸術家」が4,000人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が15,290人、「著述家、記者、編集者」が7,130人。
- ・主な文化施設に、千葉県立美術館、千葉県文化会館、千葉県立中央博物館などがある。

2. 「第2次千葉県文化芸術推進基本計画」より

目指す姿

誰もが文化芸術に親しめる千葉

視点

- 1 ちばの文化芸術を担う「人づくり」
- 2 ちばの文化芸術に親しむ「環境づくり」
- 3 ちばの文化芸術を生かした「地域づくり」

施策の柱／施策の展開

- 1 県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実
 - ①誰もが文化芸術に触れ親しむ機会の提供、関心及び理解の促進
 - ②誰もが表現者として、生涯にわたり文化芸術を楽しむことのできる環境整備
 - ③こども・若者の文化芸術活動の充実
 - ④文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用
 - ⑤文化施設等（文化会館、美術館・博物館等）の機能の充実・多面的な活用
 - ⑥持続可能な文化芸術活動の推進
- 2 文化芸術を通じた連携・協働
 - ①様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築、文化交流の推進
 - ②観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化
- 3 多様な伝統文化の保存・継承・活用
 - ①ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供
 - ②伝統文化の保存・継承
 - ③文化財・文化的景観等の保存と活用
 - ④伝統文化を担うこども・若者の育成
- 4 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信
 - ①「ちば文化」のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成
 - ②新たな「ちば文化」の創造

【基礎データ（計画）】

■計画名称：第2次千葉県文化芸術推進基本計画～誰もが文化芸術に親しめる千葉～

■策定年　：令和7年3月

■計画期間：令和7年度～13年度

(2) 千葉市

1. 特徴

- ・大正 10 年（1921 年）1 月 1 日、市制施行により、それまでの千葉町から千葉市となる。
- ・昭和 59 年（1984 年）10 月 20 日に「緑と水辺の都市」とすることを宣言、平成元年（1989 年）2 月 28 日に「平和都市宣言」を行う。
- ・市内の文化財は、国指定 12 件、国登録 7 件、県指定 35 件、市指定 51 件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家，舞台芸術家」が 630 人、「美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者」が 2,040 人、「著述家，記者，編集者」が 970 人。
- ・主な文化施設には、千葉市民会館、千葉市美術館、千葉市立郷土博物館などがある。

2. 「第 3 次千葉市文化芸術振興計画」より

理念

文化芸術による『人づくり』
文化芸術による『まちづくり』
文化芸術による『未来づくり』

基本目標

1. 多彩な文化芸術に触れる機会の拡充
2. 文化芸術をとおして相互理解を深める場の創出
3. 千葉市ならではの文化芸術による新たな価値の創造
4. アーティストへの支援と文化芸術に携わる人材の育成

目指すべき姿

文化芸術にあふれ創造性豊かな千葉市

基本目標ごとの施策

1. 多彩な文化芸術に触れる機会の拡充
 - (1) 様々な文化芸術を身近に触れる機会の提供
 - (2) 文化芸術活動を体験する機会の提供
 - (3) 文化芸術情報の幅広い収集と戦略的な発信
2. 文化芸術をとおして相互理解を深める場の創出
 - (1) つながりを生み出す文化芸術活動の推進
 - (2) 子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供
 - (3) 誰もが鑑賞体験しやすい環境づくり
3. 千葉市ならではの文化芸術による新たな価値の創造
 - (1) 文化施設の企画力や専門性を活かした取組の実施
 - (2) 美術館所蔵作品の活用
 - (3) 文化施設以外の場所の活用
 - (4) 文化芸術と経済の連携
 - (5) 美術品や文化財の継承と魅力の発信

4. アーティストへの支援と文化芸術に携わる人材の育成

- (1) アーティストが集い、活躍の場を広げることができる支援
- (2) 文化芸術に携わる 人材の育成

重点取組

『文化芸術の推進に係る体制の強化』

【基礎データ（計画）】

■計画名称：第3次千葉市文化芸術振興計画

■策定年：令和6年3月

■計画期間：令和6年度～令和15年度

(3) 松戸市

1. 特徴

- ・昭和 18 年（1943 年）に、当時の松戸町・高木村・馬橋村が合併し、松戸市が誕生する。
- ・市内の文化財は、国指定 7 件、国登録 2 件、県指定 5 件、市指定 49 件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家、舞台芸術家」が 520 人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が 1,600 人、「著述家、記者、編集者」が 880 人。
- ・主な文化施設に、森のホール 21、松戸市立博物館、戸定歴史館などがある。

2. 「松戸市文化芸術振興基本方針」より

基本目標

- I 子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにします。
- II 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします。
- III 国際的な広い視野と平和を愛する心が育まれ、松戸の歴史や文化・伝統が保持され、後世に伝えられるようにします。

施策体系

- I 子どもや若者の文化芸術の充実及び芸術家を目指す人材を支援します。
 - I-1 学校教育での文化芸術活動の充実
 - I-2 文化芸術鑑賞など触合う機会の充実
 - I-3 若手芸術家や専門的な人材育成
- II 市民の主体的な文化芸術活動を支援します。
 - II-1 多彩な市民芸術活動の支援・育成
 - II-2 文化芸術活動拠点の整備
 - II-3 新しい公共による活動支援
- III 郷土の歴史・伝統文化遺産を次世代に引き継ぎます。
 - III-1 文化財の保護と活用
 - III-2 伝統文化の伝承への支援
- IV 国際文化交流を推進し、海外文化情報の収集や海外発信力を高めます。
 - IV-1 市民や在住外国人の文化交流事業支援
 - IV-2 多様な媒体による文化芸術情報の発信
 - IV-3 海外の文化情報などの収集と集積
- V 文化芸術による観光、産業の振興及び地域活性化へ取り組みます。
 - V-1 文化資源・事業等活用した観光・産業振興
 - V-2 メディア芸術など新たな文化芸術の振興

【基礎データ（計画）】

■計画名称：松戸市文化芸術振興基本方針

■策定年　：平成 26 年 3 月

■計画期間：平成 26 年度～平成 32 年度

(4) 柏市

1. 特徴

- ・昭和 29 年（1954 年）9 月 1 日、東葛市が誕生。同年 11 月 15 日に柏市に改称。
- ・市内の文化財は、国指定 2 件、国登録 4 件、県指定 8 件、市指定 27 件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家，舞台芸術家」が 200 人、「美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者」が 1,280 人、「著述家，記者，編集者」が 540 人。
- ・主な文化施設に、柏市民文化会館、柏市郷土資料展示室、柏市民ギャラリーなどがある。

2. 「第五次柏市芸術文化振興計画」より

目指す姿

- 市民誰もが芸術文化に触れることができ、親しみ、楽しむことができる環境の一層の充実を図る。
- 芸術文化の取組を通じて地域を活性化し、特色ある文化活動が市内外に認知され、市民がまちへの一層の誇りと、愛着をもつ。

施策の体系

施策の柱（１） 誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり

- ①芸術文化が身近にある環境づくり
 - ・身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実
 - ・芸術文化の情報提供の充実
 - ・デジタル画像を利用した発信の充実
- ②子どもたちが芸術に親しむ機会づくり
 - ・学校等における芸術文化の鑑賞，体験機会の提供

施策の柱（２）芸術文化振興のための環境づくり

- ①市所蔵の美術工芸品の活用
 - ・作品の紹介・展示，また活用による柏の魅力の発信
- ②市内施設の多面的な活用
 - ・市民芸術文化の発表の場の提供
 - ・文化財施設等を活用した事業の推進

施策の柱（３）芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進

- ①芸術文化活動を広めるための支援
 - ・芸術文化活動の担い手の育成
 - ・芸術文化事業を支える人材の育成
- ②文化交流の促進
 - ・商業施設や民間団体との連携の促進

施策の柱（４） 柏らしさを活かしたまちづくりの推進

① 柏の強みとなっている芸術文化の充実

- ・「音楽の街かしわ」の創出

② 日常生活に息づく小さな芸術文化（アート）を通じた地域づくりの推進

- ・地域住民と身近な文化団体との連携の推進

【基礎データ（計画）】

■計画名称：第五次柏市芸術文化振興計画

■策定年　：令和３年（2021年）

■計画期間：令和３年度～令和７年度

(5) 東京都西東京市

1. 特徴

- ・平成13年1月21日に当時の田無市と保谷市が合併して発足した、21世紀最初に誕生した市。
- ・市内の文化財は、国指定3件、都指定1件、市指定50件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家、舞台芸術家」が400人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が1,070人、「著述家、記者、編集者」が660人。
- ・主な文化施設に、西東京市民文化プラザ、コール田無、保谷こもれびホールなどがある。

2. 「西東京市第3期文化芸術振興計画」より

目指すべき姿

- ・市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる文化の香りあふれるまち

目指すべき姿に併せて複合的に生み出される効果

- ・心身の健康
- ・地域への愛着
- ・共生社会の実現
- ・地域の活性化

基本方針／施策

- 1 市民一人ひとりが身近に文化芸術に 触れる・楽しむ
 - 1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供
 - 2 子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり
 - 3 さまざまな参加機会を促す事業の充実
 - 4 市民に届く効果的な文化芸術情報の提供
- 2 地域の文化芸術活動 に関わる人と場を 結ぶ・支える
 - 1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進
 - 2 文化芸術を支える人材の育成と活用
 - 3 活動者の情報共有・連携による取組の充実
 - 4 文化芸術に親しむ場の確保と充実
- 3 文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる
 - 1 文化資源の継承・活用・発掘によるまちづくりの推進
 - 2 文化芸術を通じた多様性の理解と交流の促進
 - 3 関係機関・他分野と結び付けた文化芸術活動の促進
 - 4 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流

【基礎データ（計画）】

■計画名称：西東京市第3期文化芸術振興計画

■策定年：令和6年（2024年）

■計画期間：令和6年度～令和10年度（2024～2028年度）

(6) 東京都立川市

1. 特徴

- ・昭和 15 年（1940 年）12 月 1 日に市政を施行。
- ・市内の文化財は、国指定 4 件、都指定 2 件、市指定 32 件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家、舞台芸術家」が 180 人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が 840 人、「著述家、記者、編集者」が 250 人。
- ・主な文化施設に、たましん RISURU ホール（立川市市民会館）、立川市子ども未来センター、歴史民俗資料館などがある。

2. 「立川市第 5 次文化振興計画」より

目的

- ・だれもが身近に文化芸術に触れることができる、多様な文化芸術活動を支援します

計画の体系

取組方針 1 ふれる、たのしむ

取組施策：だれもが身近に文化芸術に触れ、親しむことができる機会を充実する

- 1 地域における文化芸術活動の支援
- 2 文化芸術イベントの開催
- 3 市内公共施設や公共スペースの活用
- 4 民間施設の文化芸術活動への活用推進
- 5 子ども対象文化芸術事業の充実
- 6 学生・若者・障害者等の文化芸術活動への参加促進

取組方針 2 はぐくむ、ささえる

取組施策：アーティストやボランティアなど文化芸術活動のづくり手や支え手を支援し、持続的に活動できるしくみをつくる

- 1 文化芸術を支える人材・ボランティアの育成
- 2 アーティスト・文化芸術団体等の支援
- 3 文化芸術活動の相談・支援体制の強化

取組方針 3 つたえる、とどける

取組施策：地域での文化芸術活動を広く発信し、その魅力を伝える

- 1 文化芸術資源を生かしたシティプロモーションの展開
- 2 効果的な情報発信

取組施策：地域の文化財・伝統文化を保存し、次世代に伝える

- 1 文化財・伝統文化の継承、市史の編さん
- 2 文化財・市史編さん資料の保存・活用方法の検討

取組方針4 つながる、ひろがる

取組施策：文化芸術活動にかかわる地域の団体、資源のネットワークを広げ、相互の連携を支援する

- 1 多様な主体や他の分野との連携・交流の促進
- 2 文化芸術にかかわる情報のプラットフォームづくり
- 3 文化芸術コーディネーター（仮称）の検討

重点手法

1. デジタルテクノロジーの活用
2. 多様な主体との連携
3. 地域文化振興財団との連携強化

【基礎データ（計画）】

■計画名称：立川市第5次文化振興計画

■策定年：令和7（2025）年

■計画期間：令和7（2025）年度～令和11（2029）年度

(7) 埼玉県川口市

1. 特徴

- ・1933年（昭和8年）に、当時の川口町・横曽根村・南平柳村・青木村が合併し発足。その後合併を繰り返し、2011年（平成23年）に現在の規模となる。
- ・市内の文化財は、国指定3件、国登録17件、県指定24件、市指定112件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家、舞台芸術家」が640人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が2,160人、「著述家、記者、編集者」が820人。
- ・主な文化施設に、南平文化会館、川口市立アートギャラリー・アトリア、歴史自然資料館などがある。

2. 「川口市文化芸術基本計画（第2期）」より

基本理念

- 1 文化芸術活動を行う者の自主性及び創造性を十分に尊重します。
- 2 市民の文化芸術活動が活発に行われるような環境を醸成することを旨として文化芸術の発展が図られるよう配慮します。
- 3 文化芸術を創造し享受することが市民の権利であり、市民が等しく文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるような環境の整備を図ります。
- 4 地域の伝統的な文化芸術が、将来にわたり引き継がれるよう配慮します。
- 5 文化芸術活動を行う者その他市民の意見が反映されるよう配慮します。

基本目標

- (1) 誰もが身近に文化芸術に接し活動する環境づくり
- (2) 文化芸術の力を川口市の未来に活かす
- (3) 地域の文化芸術を育てる仕組みづくり

計画の体系

将来像：しなやかに たくましく 誰もが文化芸術を通じて輝けるまち 川口

施策の体系

楽しむ (1) 広く市民が文化芸術を鑑賞し、又は文化芸術活動に参加する機会の提供及び充実

- ① 誰もが文化芸術に身近に接する機会の拡充
- ② どこでも文化芸術に身近に接する機会の拡充
- ③ 市民への情報発信の充実

活かす (2) 地域に根ざした文化芸術を活用したまちづくりの推進

- ① まちづくりや地域課題解決への文化芸術の活用
- ② 「川口らしさ」の発信
- ③ 多様な主体との連携・協働

支える (3)文化芸術活動を担う者及び次代の担い手の育成及び支援

- ①文化芸術団体・人材等の育成・支援
- ②次代を担う多様な文化芸術ジャンルの育成・支援

つなぐ (4)文化芸術の継承及び保護の推進

- ①地域の伝統的な文化芸術の保存・継承・活用
- ②郷土の歴史や伝統文化の情報発信

育つ (5)教育活動及び生涯学習の場における文化芸術への支援

- ①子どもや青少年が文化芸術に触れる機会の拡充
- ②生涯学習の場における文化芸術への取組み支援

創る (6)文化芸術施設の充実及び活用の推進

- ①文化施設等の整備・運営
- ②柔軟な発想と地域への広がりをもった施設展開

【基礎データ（計画）】

■計画名称：川口市文化芸術基本計画（第2期）

■策定年：令和6年3月

■計画期間：令和6年度～令和10年度（2024～2028年度）

(8) 神奈川県藤沢市

1. 特徴

- ・昭和 15 年（1940 年）10 月 1 日に施行。
- ・市内の文化財は、国指定 9 件、県指定 13 件、市指定 90 件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家、舞台芸術家」が 240 人、「著述家、記者、編集者」が 640 人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が 1,260 人。
- ・主な文化施設に、藤沢市民会館、藤沢市民ギャラリー、藤沢市藤澤浮世絵館などがある。

2. 「藤沢市文化芸術振興計画 2028」より

基本理念

- ・多彩な文化の融合による新たな『ふじさわ文化』の創造

基本目標／施策

基本目標 1 市民が文化芸術にふれる機会を増やし、次世代育成につなげます

施策 1 文化芸術の鑑賞機会の充実

気軽に文化芸術にふれられる事業の実施

親子で楽しめる鑑賞事業の実施

施策 2 文化芸術の体験機会の提供

気軽に参加できる体験事業の実施

教育機関との連携による事業の実施

基本目標 2 市民等による文化芸術活動を支援し、さらなる活性化につなげます

施策 1 市民の文化芸術活動の支援

文化芸術活動への支援

文化芸術活動団体間の交流支援

施策 2 藤沢を中心に活動する芸術家への支援及び若手の発掘、育成、支援

芸術家や若手の発掘

芸術家への活動の場の提供

基本目標 3 文化的資源を保存・活用し、本市の文化的魅力として発信するとともに文化の振興を図ります

施策 1 文化的資源の保存

文化財等保護事業

施策 2 文化的資源の活用

歴史的建造物や歴史資料等を活用した事業の実施

藤沢の文化的資源を活用した事業の実施

市所蔵作品・パブリックアート関連事業の実施

施策 3 文化的資源の発信

ふじさわ文化の発信

基本目標4 文化芸術を支える拠点を整備し、活発な文化芸術活動につなげます

施策1 生活・文化拠点再整備事業等施設の再整備

生活・文化拠点再整備事業の推進

市民会館休館中における文化芸術活動の支援の検討

施策2 文化施設機能の充実

オンライン配信機能の充実

施設機能の維持・更新

【基礎データ（計画）】

■計画名称：藤沢市文化芸術振興計画 2028

■策定年：2023年（令和5年）4月

■計画期間：2023年度（令和5年度）～2028年度（令和10年度）

(9) 神奈川県相模原市

1. 特徴

- ・昭和 16 年（1941 年）に当時日本最大規模の町である相模原町が発足。その後、昭和 29 年（1954 年）に市制施行。
- ・市内の文化財は、国指定 11 件、国登録 9 件、県指定 17 件、市指定 67 件、市登録 75 件。
- ・市内の文化芸術関係の就業者は、「音楽家、舞台芸術家」が 550 人、「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」が 2,200 人、「著述家、記者、編集者」が 490 人
- ・主な文化施設に、相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）、相模原市民ギャラリー、相模原市立博物館などがある。

2. 「第 3 次さがみはら文化芸術振興プラン 改定版」より

基本理念

- ・心豊かに 人とまちが輝く 市民文化都市 さがみはら

基本目標／目指す方向性／施策の内容

基本目標Ⅰ市民の文化芸術活動の活性化

方向性Ⅰ文化芸術活動に取り組みやすい環境づくり

方向性Ⅱ文化芸術活動に関する情報の発信

施策①市民の文化芸術活動の支援

施策②文化芸術活動を实践・体験する機会の充実

施策③団体の活動等に関する情報発信の強化

基本目標Ⅱ多彩な文化芸術を鑑賞する機会の創出

方向性Ⅰ市民が気軽に文化芸術を鑑賞できる環境づくり

方向性Ⅱ文化芸術イベントに関する情報の発信

方向性Ⅲ2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした事業の展開

施策①文化芸術を鑑賞する機会の充実

施策②イベント等に関する情報発信の強化

施策③文化芸術拠点の整備・充実

施策④諸外国の文化芸術に触れる取組及び国際理解の推進

基本目標Ⅲ次代の文化芸術を担う人材の育成

方向性Ⅰ次代の文化芸術を担う人材の育成

方向性Ⅱ子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実

施策①文化芸術の未来を担う人への支援

施策②子どもが文化芸術に触れる機会の充実

施策③専門的な人材の適切な配置

基本目標Ⅳ市民が誇れる文化財の継承

方向性Ⅰ文化財の保存・活用の推進

方向性Ⅱ次代の文化芸術を担う人材の育成

施策①多様な主体との連携による文化財の保存と活用

施策②文化財施設の整備・充実

施策③文化財の調査研究の推進と魅力発信

施策④後継者の育成支援の充実

基本目標Ⅴ文化芸術を生かしたまちづくりの推進

方向性Ⅰ他分野との連携による文化芸術の価値や魅力の創出

方向性Ⅱ文化芸術を支える主体同士の連携促進

施策①観光や産業等の他分野との連携による文化芸術の価値や魅力の創出

施策②文化芸術を生かした地域振興の推進

施策③特色ある文化芸術の積極的な発信

重点項目

(1)地域文化教育の推進

(2)情報発信の強化

(3)活動拠点の再整備

(4)文化財の保存・活動事業の推進

(5)特色ある文化芸術事業の創造

【基礎データ（計画）】

■計画名称：第3次さがみはら文化芸術振興プラン 改定版

■策定年：令和7年3月

■計画期間：令和7年度～令和9年度

2部 アンケート調査結果

I 調査結果の概要

1 市民向け調査

鑑賞したり、活動したり、興味のある文化芸術について

- 過去1年間で鑑賞した文化芸術について、「映画（動画配信含む）」が68.5%で最も多くなっています。
- 過去1年間で行った文化芸術について、「活動していない」が52.8%で最も多くなっています。活動している内容では、「歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）」が8.0%で最も多くなっています。
- 今後活動したい又は興味がある文化活動について、「歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）」が31.5%で最も多くなっています。

文化鑑賞・観覧について

- 文化芸術の鑑賞への関心について、「関心がある」（41.8%）と「どちらかというに関心がある」（36.9%）を合わせた『関心あり』が78.7%となっています。
- 文化芸術を鑑賞しなかった理由について、「文化芸術に関心がないため」が36.0%で最も多くなっています。
- 文化芸術が鑑賞しやすくなる方法について、「居住地の近くで鑑賞することができる」が63.7%で最も多くなっています。
- 市内で鑑賞したいものについて、「著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど」が63.7%で最も多くなっています。
- 船橋市ゆかりのアーティストについて、「船橋市ゆかりのアーティストを知らない」が59.1%で最も多くなっています。
- 鑑賞する際に情報をどのような媒体から入手するかについて、「Web サイト」が51.0%で最も多くなっています。

文化活動について

- 文化芸術活動を始めたきっかけについて、「元々好きだった」が61.6%で最も多くなっています。
- 文化芸術活動をするために使用した施設について、「公民館（船橋市内）」が27.6%で最も多くなっています。
- 文化芸術活動をしていない理由について、「きっかけがない」が36.9%で最も多くなっています。
- 文化芸術活動に参加しやすくするためにすることについて、「居住地の近くで活動に参加することができる」が61.9%で最も多くなっています。

子ども、障害のある方の文化芸術活動について

- 同居するお子さんの文化芸術の鑑賞について、「映画（動画配信含む）」が 58.5%で最も多くなっています。
- 同居するお子さんの文化芸術の活動について、「文化芸術活動をしていない」が 49.4%で最も多くなっています。活動している内容では、「マンガ・アニメ・ゲーム」が 9.8%で最も多くなっています。
- 障害のある方の芸術活動について、「鑑賞や参加をしたことはない」が 45.8%で最も多くなっています。

文化施設や文化イベントについて

- 船橋市内のご存じの施設について、「船橋市民文化ホール」が 78.1%で最も多くなっています。
- 船橋市内の今までに訪れたことのある施設について、「船橋市民文化ホール」が 60.8%で最も多くなっています。
- 船橋市内の過去 1 年間で訪れたことのある施設について、「図書館」が 29.8%で最も多くなっています。
- 船橋市内の文化芸術施設で改善してほしいものについて、「特になし」が 39.3%で最も多くなっています。改善してほしいものの中では、「より宣伝に力を入れる」が 24.1%で最も多くなっています。
- 知っているイベントについて、船橋市所蔵作品展では「知らない」が 78.8%で最も多くなっています。
- 音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭では「知らない」が 51.7%で最も多くなっています。
- 地域ふれあいコンサート（公民館）では「知らない」が 58.1%で最も多くなっています。
- ふなばしミュージックストリートでは、「知らない」が 61.2%で最も多くなっています。
- まちかど音楽ステージでは、「知らない」が 71.0%で最も多くなっています。
- 船橋市役所ロビーコンサートでは「知らない」が 66.0%で最も多くなっています。

地域の文化に関するイメージについて

- 船橋市が文化活動や文化事業の取組が盛んなまちだと思うかについて、「あまり思わない」（48.6%）と「思わない」（18.3%）を合わせた『思わない』が 66.9%となっています。
- 盛んなまちだと思う理由について、「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから」が 46.8%で最も多くなっています。
- 盛んなまちだと思わない理由について、「自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから」が 42.6%で最も多くなっています。

文化振興について

- あると良いと思う文化活動への支援等について、「催し物等に関する情報発信」が 63.9%で最も多くなっています。
- 文化芸術を活かした方が良いと感じるものについて、「まちづくり・地域活性化」が 53.2%で最も多くなっています。

- 文化芸術がもたらす効果として期待するものについて、「人々が生きる楽しみを見出せる」が52.8%で最も多くなっています。
- 文化振興のために取り組むべきだと思うものについて、「文化・芸術に関する情報発信を充実すること」が48.9%で最も多くなっています。

2 団体向け調査

- 活動分野について、「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」が24.0%で最も多くなっています。
- 会員数について、「10～29人」が47.2%で最も多くなっています。
- 会員の平均年齢について、「70代」が71.1%で最も多くなっています。
- 設立からの経過年数について、「21年～25年」が17.7%で最も多くなっています。
- 年間の予算額について、「10～50万円未満」が52.0%で最も多くなっています。
- 主な活動場所について、「公民館」が95.9%で最も多くなっています。
- 活動頻度について、「月2～3回程度」が48.4%で最も多くなっています。
- 文化芸術活動を通じた効果について、「仲間づくり」が73.4%で最も多くなっています。
- 活動における課題について、「会員の高齢化」が79.9%で最も多くなっています。
- 活動への支援について、「活動場所の提供」が49.4%で最も多く、次いで「PRの場の確保」が29.1%、「活動資金の援助」が27.0%となっています。
- ゲストのアーティストについて、呼んだことは「ある」が16.9%となっています。
- ゲストのアーティストを呼ぶ際に困ったことについて、「特になし」が最も多くなっています。困っていることとしては、「ゲストを呼ぶための費用が高かった」が31.3%で最も多くなっています。
- 文化芸術振興のために重要だと思う取組について、「文化施設の整備・充実」が55.3%で最も多くなっています。
- 船橋市内の文化芸術施設で改善してほしいものについて、「音響をよくする」が32.3%で最も多くなっています。
- 活動の情報発信の手段について、「ホームページ」が17.5%で最も多くなっています。

Ⅱ 調査の詳細

1 調査の目的

第3次船橋市文化振興基本方針策定の際に参考とする市民の文化・芸術及び文化施設等に係る関心や期待、利用実態等を把握するためのアンケート調査を実施することを目的としました。

2 調査対象

市民向け：船橋市在住の18歳以上の市民3,000人を無作為抽出

団体向け：船橋市で活動している文化・芸術関連の団体859団体

3 調査期間

2025年7月16日（水）～2025年7月31日（木）

4 調査方法

郵送により配布、郵送及びwebにて回収。

5 回収率

	配布数	回収数	回収率
市民向け	3,000 件	873 件	29.1%
団体向け	859 件	492 件	57.3%

6 報告書の見方

- (1) 図表内の「n」は、それぞれの質問に対する回答者数のことです。
- (2) 回答は、それぞれの質問の回答者数を母数として百分率(%)で示しています。
- (3) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、単一回答の設問であっても、割合の合計が100.0%とならない場合があります。また、複数回答の質問では、選択肢ごとの割合を算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) クロス集計表は、項目ごとに上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしています。なお、nが10未満の場合は網掛けをしていません。

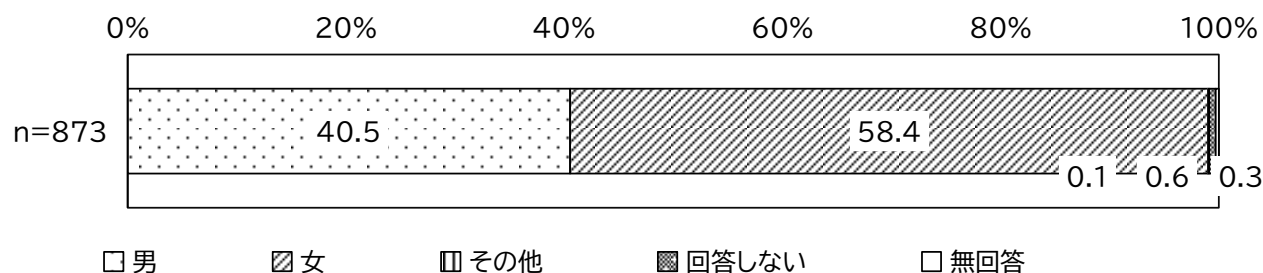
Ⅲ 調査結果

1 市民向け調査

(1) 現在のあなた自身のことについて

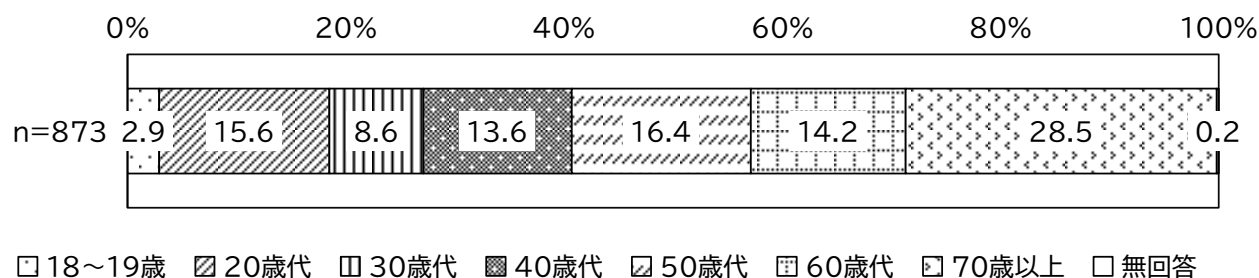
問1：あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

「女」が58.4%、「男」が40.5%となっています。



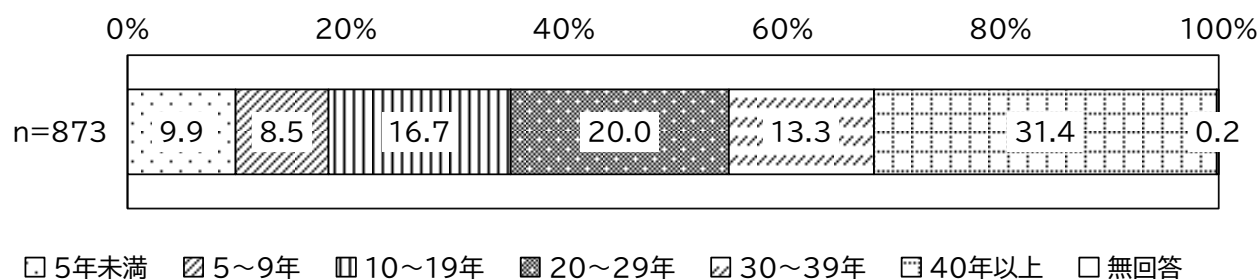
問2：あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

「70歳以上」が28.5%で最も多く、次いで「50歳代」が16.4%、「20歳代」が15.6%となっています。



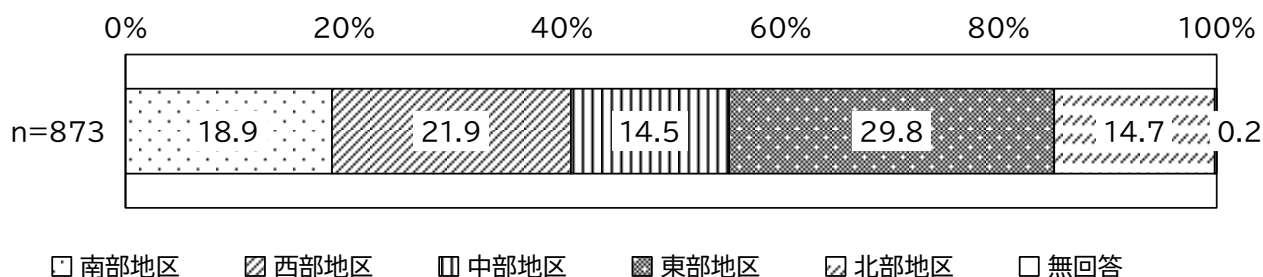
問3：船橋市内での居住年数を教えてください。(○は1つ)

「40年以上」が31.4%で最も多く、次いで「20～29年」が20.0%、「10～19年」が16.7%となっています。



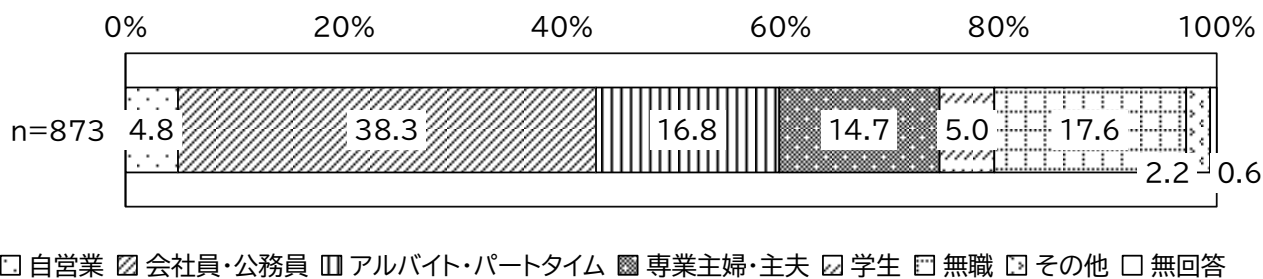
問4：居住地を教えてください。（次ページの地図を参考にお答えください。）（○は1つ）

「東部地区」が29.8%で最も多く、次いで「西部地区」が21.9%、「南部地区」が18.9%となっています。



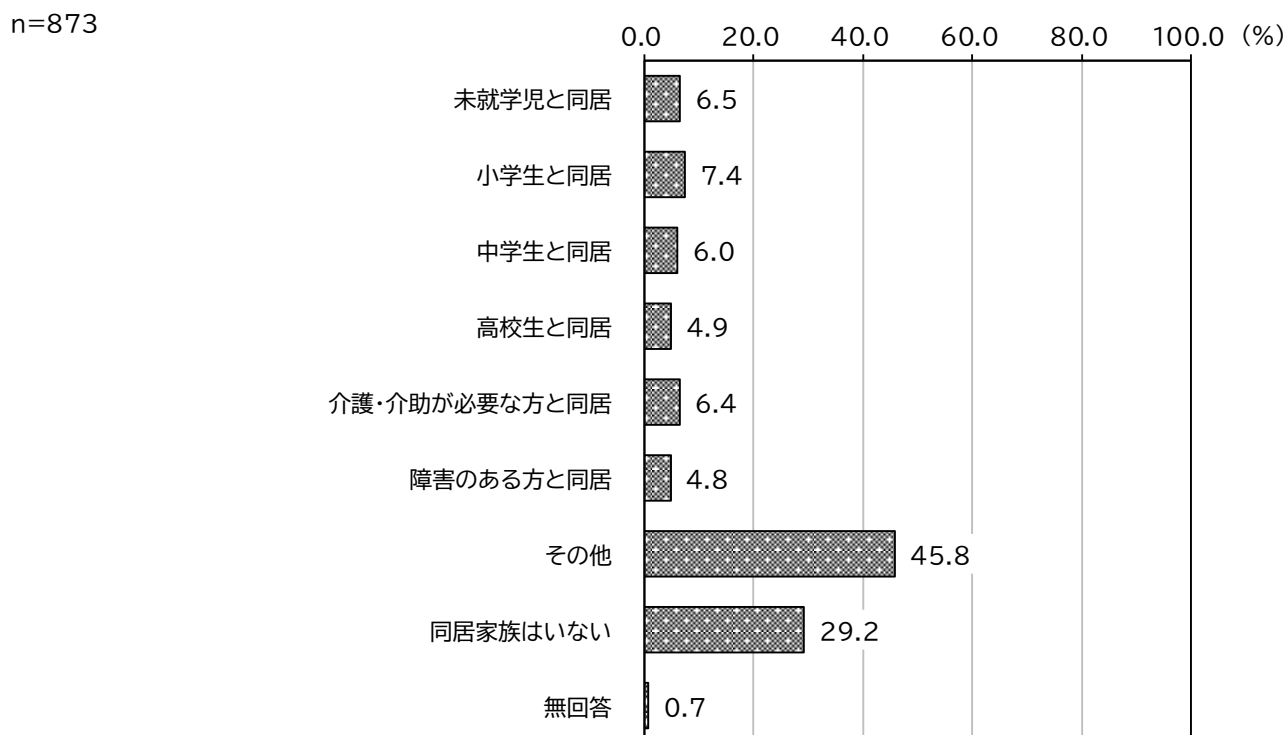
問5：あなたの職業を教えてください。（○は1つ）

「会社員・公務員」が38.3%で最も多く、次いで「無職」が17.6%、「アルバイト・パートタイム」が16.8%となっています。



問6：同居しているご家族について教えてください。（○はいくつでも）

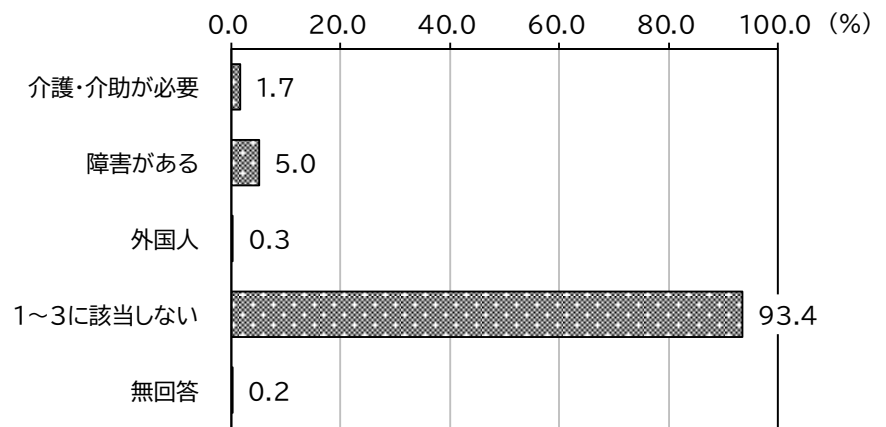
「同居家族はいない」が29.2%で最も多く、次いで「小学生と同居」が7.4%、「未就学児と同居」が6.5%となっています。



問7：ご自身の状況について教えてください。(○はいくつでも)

「1～3に該当しない」が93.4%で最も多く、次いで「障害がある」が5.0%、「介護・介助が必要」が1.7%となっています。

n=873

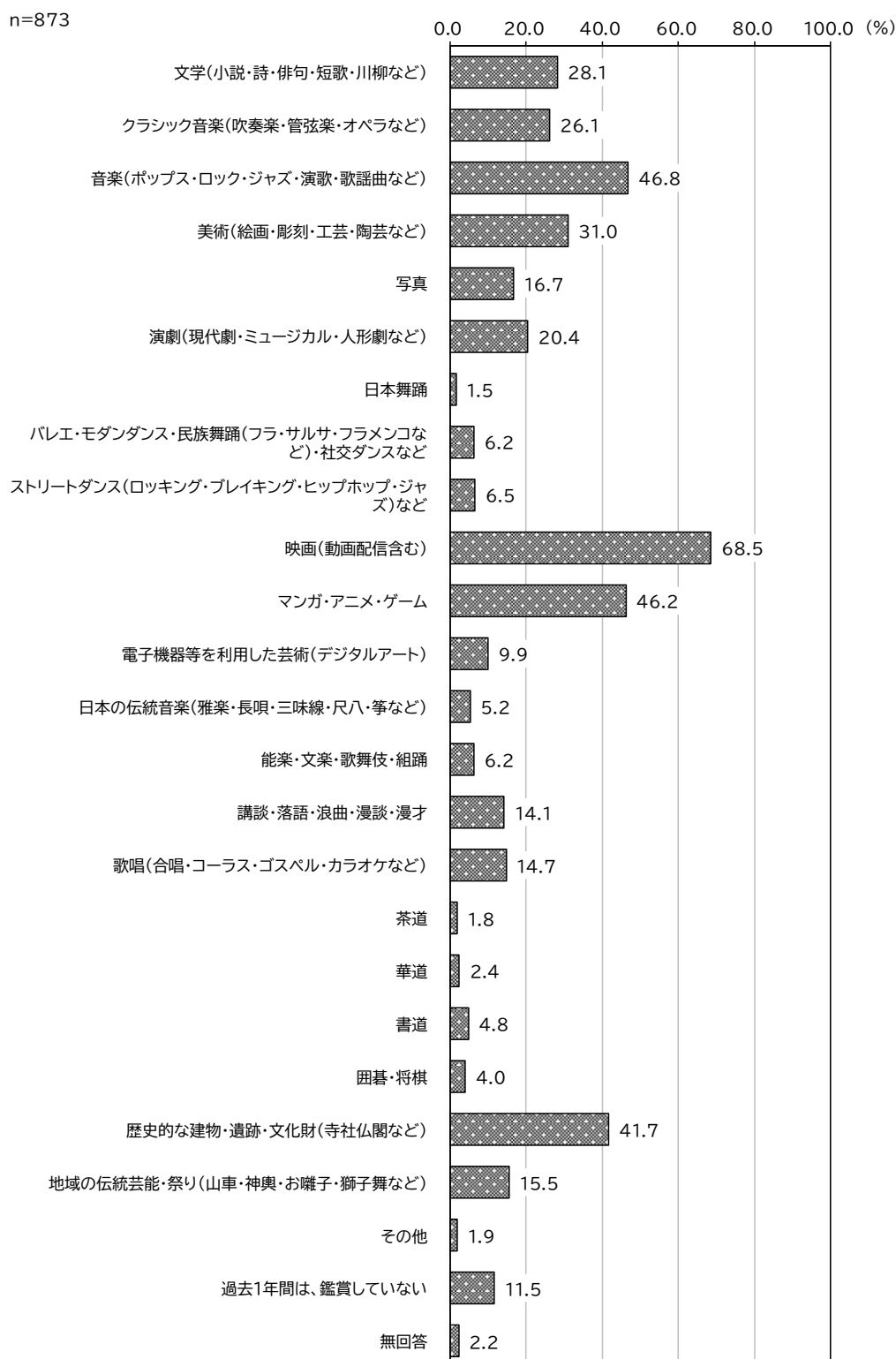


(2) 鑑賞したり、活動したり、興味のある文化芸術について

問8：※①～③はそれぞれ○をいくつでも

①あなたが過去1年間で鑑賞した文化芸術はどれですか。(①鑑賞の1～24より選択)

鑑賞率（「過去1年間は、鑑賞していない」と「無回答」を除いた割合）は86.1%となっています。鑑賞した文化芸術の内容は、「映画（動画配信含む）」が68.5%で最も多く、次いで「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」が46.8%、「マンガ・アニメ・ゲーム」が46.2%となっています。



■性別による集計結果

鑑賞率は男性が82.8%、女性が88.6%で女性の方がやや多くなっています。

鑑賞した内容で見ると、「演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）」で男性が11.9%、女性が26.1%となっており、女性の方が14.2ポイント高くなっています。

(%)

	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）
全 体	873	28.1	26.1	46.8	31.0	16.7	20.4	1.5	6.2	6.5	68.5	46.2	9.9	5.2
男	354	25.4	20.6	44.6	25.7	18.9	11.9	1.4	4.0	4.2	63.8	48.6	10.2	3.7
女	510	29.8	29.6	48.4	34.7	15.1	26.1	1.4	7.8	8.2	71.4	44.5	9.8	6.1

(%)

	n	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講談・落語・浪曲・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	過去1年間は、鑑賞していない	無回答
全 体	873	6.2	14.1	14.7	1.8	2.4	4.8	4.0	41.7	15.5	1.9	11.5	2.2
男	354	4.0	16.4	11.0	0.8	0.8	2.5	7.6	39.0	14.1	2.0	14.7	2.5
女	510	7.5	12.5	17.1	2.5	3.5	6.3	1.6	43.5	16.7	1.8	9.4	2.0

■年齢による集計結果

鑑賞率は年齢が低くなるごとに高くなっています。

ほとんどの年齢で「映画（動画配信含む）」が最も多くなっています。また、40 歳代までは「マンガ・アニメ・ゲーム」が、50 歳代以降は「歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）」が多くなっています。

(%)

	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキン・ブレイキン・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）
全 体	873	28.1	26.1	46.8	31.0	16.7	20.4	1.5	6.2	6.5	68.5	46.2	9.9	5.2
18～19歳	25	48.0	24.0	84.0	36.0	28.0	20.0	0.0	4.0	16.0	88.0	84.0	24.0	4.0
20歳代	136	38.2	27.9	63.2	39.7	27.2	30.9	1.5	3.7	10.3	85.3	80.9	25.0	7.4
30歳代	75	28.0	25.3	49.3	21.3	13.3	18.7	0.0	4.0	12.0	73.3	76.0	17.3	2.7
40歳代	119	22.7	26.1	52.9	26.1	12.6	25.2	0.8	7.6	9.2	73.9	63.9	10.9	3.4
50歳代	143	25.9	23.8	46.2	25.9	11.2	18.2	0.7	4.2	4.9	71.3	46.9	4.9	3.5
60歳代	124	24.2	25.0	41.1	29.8	19.4	21.8	1.6	8.1	2.4	66.9	31.5	5.6	3.2
70歳以上	249	26.1	27.3	34.1	34.5	14.9	13.3	2.8	8.0	3.6	52.2	13.3	2.4	7.6

(%)

	n	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講話・落語・浪曲・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	過去1年間は、鑑賞していない	無回答
全 体	873	6.2	14.1	14.7	1.8	2.4	4.8	4.0	41.7	15.5	1.9	11.5	2.2
18～19歳	25	4.0	16.0	20.0	12.0	4.0	8.0	4.0	44.0	24.0	0.0	4.0	0.0
20歳代	136	5.1	24.3	26.5	2.9	0.7	5.1	1.5	47.1	16.9	1.5	4.4	0.7
30歳代	75	5.3	9.3	14.7	1.3	0.0	0.0	5.3	41.3	18.7	0.0	6.7	1.3
40歳代	119	1.7	10.9	15.1	0.0	0.8	5.0	5.9	36.1	20.2	0.8	8.4	0.0
50歳代	143	4.9	9.8	4.9	2.1	1.4	4.9	0.7	47.6	15.4	2.8	11.9	1.4
60歳代	124	5.6	15.3	14.5	0.8	0.8	0.8	3.2	42.7	11.3	4.0	16.1	0.8
70歳以上	249	10.4	13.3	12.9	1.6	6.0	7.6	6.4	37.3	12.9	2.0	16.5	5.6

②過去1年間、鑑賞ではなく、どのような文化芸術活動（※）（活動休止中も含む）を行っていますか。※演奏・創作などの表現活動、習い事、祭りや体験活動への参加のことを指し、学校の授業での受講は除く。（②活動の1～24より選択）

活動率（「活動していない」と「無回答」を除いた割合）は39.1%となっています。活動した文化芸術の内容は、「歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）」が8.0%で最も多く、次いで「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」が7.3%、「写真」が6.9%となっています。



■性別による集計結果

「活動していない」が男性、女性とも最も多くなっています。また、他の項目について、性別で大きく差はありません。

(%)

	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	日本の伝統音楽（雅楽・三味線・尺八・箏など）
全 体	873	4.4	4.4	7.3	5.5	6.9	1.5	0.6	2.3	1.9	4.0	6.0	1.6	1.3
男	354	5.4	3.4	8.5	3.4	9.0	1.1	0.3	0.3	0.8	5.1	5.6	1.4	0.6
女	510	3.7	5.1	6.7	7.1	5.3	1.4	0.6	3.7	2.7	3.3	5.9	1.8	1.8

(%)

	n	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講談・落語・浪曲・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	活動していない	無回答
全 体	873	0.5	0.9	8.0	1.8	1.8	3.4	2.3	3.7	3.2	2.6	52.8	8.1
男	354	0.3	0.6	7.3	0.3	0.3	2.3	4.0	3.7	3.1	1.4	51.1	11.3
女	510	0.6	1.2	8.2	2.9	2.9	4.3	1.2	3.7	3.3	3.3	53.9	6.1

■年齢による集計結果

活動率は年齢が低くなるごとに高くなっています。一方、いずれの年齢も「活動していない」が最も多くなっています。また、50歳代、60歳代で全体より高くなっています。

18～19歳において、9個の項目で全体より高くなっています。

(%)

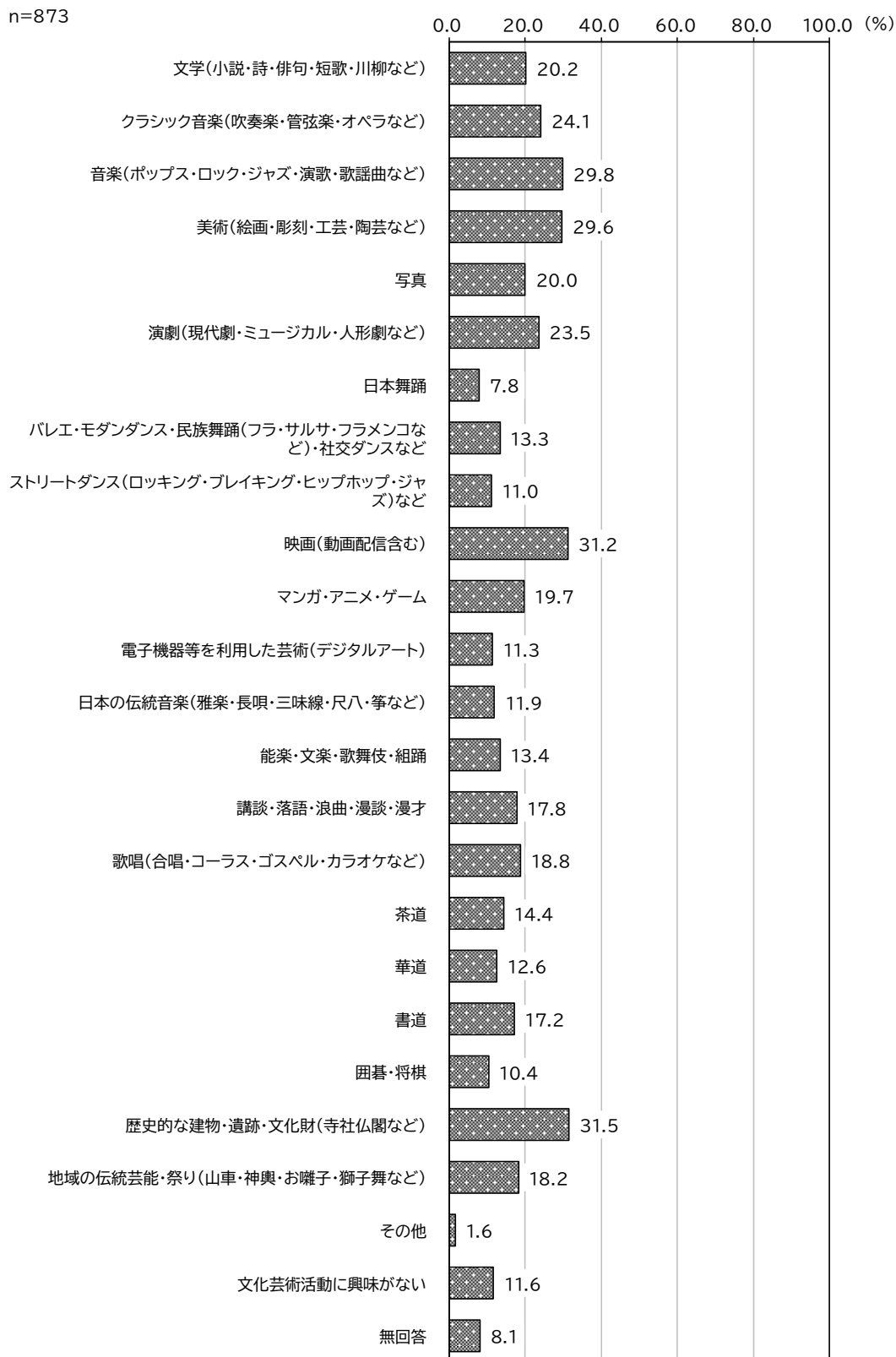
	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	日本の伝統音楽（雅楽・三味線・尺八・箏など）
全 体	873	4.4	4.4	7.3	5.5	6.9	1.5	0.6	2.3	1.9	4.0	6.0	1.6	1.3
18～19歳	25	4.0	0.0	24.0	12.0	16.0	0.0	0.0	4.0	4.0	20.0	8.0	8.0	0.0
20歳代	136	5.1	5.1	11.0	2.9	14.7	2.9	0.0	2.2	2.2	5.9	11.0	4.4	1.5
30歳代	75	5.3	8.0	6.7	6.7	2.7	1.3	1.3	2.7	2.7	5.3	14.7	1.3	2.7
40歳代	119	4.2	4.2	7.6	2.5	5.0	1.7	0.0	2.5	2.5	2.5	7.6	0.8	0.8
50歳代	143	3.5	2.8	6.3	5.6	7.7	1.4	0.7	2.1	2.8	4.9	3.5	2.1	1.4
60歳代	124	3.2	6.5	8.9	8.1	6.5	1.6	0.0	1.6	0.8	3.2	3.2	0.8	0.8
70歳以上	249	4.8	3.2	3.6	6.0	3.6	0.4	1.2	2.4	1.2	1.6	2.4	0.0	0.8

(%)

	n	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講談・落語・浪曲・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	活動していない	無回答
全 体	873	0.5	0.9	8.0	1.8	1.8	3.4	2.3	3.7	3.2	2.6	52.8	8.1
18～19歳	25	0.0	4.0	16.0	8.0	8.0	12.0	4.0	8.0	8.0	0.0	36.0	8.0
20歳代	136	0.0	0.0	12.5	2.2	0.7	5.1	2.2	2.9	3.7	0.0	48.5	2.9
30歳代	75	1.3	1.3	4.0	2.7	1.3	1.3	5.3	4.0	2.7	0.0	49.3	5.3
40歳代	119	0.8	0.8	6.7	1.7	1.7	1.7	4.2	1.7	5.9	0.8	53.8	3.4
50歳代	143	0.7	0.7	4.2	2.1	2.1	4.2	1.4	4.9	2.8	2.1	63.6	5.6
60歳代	124	0.0	0.8	4.8	1.6	1.6	0.8	1.6	4.0	2.4	4.0	61.3	4.0
70歳以上	249	0.4	1.2	10.0	0.8	2.0	4.0	1.2	3.6	2.0	5.6	47.4	17.7

③今後活動したい又は興味がある文化活動はありますか。(③興味の1～24より選択)

何らかの文化活動に興味がある人(「文化芸術活動に興味がない」と「無回答」を除いた割合)は80.3%となっています。興味のある文化活動の内容は、「歴史的な建物・遺跡・文化財(寺社仏閣など)」が31.5%で最も多く、次いで「映画(動画配信含む)」が31.2%、「音楽(ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など)」が29.8%となっています。



■性別による集計結果

男性では「歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）」（33.1%）が最も多く、女性では「美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）」が最も多くなっています。また、男女ともに「映画（動画配信含む）」も多くなっています。

(%)

	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）
全 体	873	20.2	24.1	29.8	29.6	20.0	23.5	7.8	13.3	11.0	31.2	19.7	11.3	11.9
男	354	17.5	20.6	28.2	24.0	20.1	15.8	7.1	9.0	9.0	30.2	20.6	11.6	10.2
女	510	22.0	26.3	30.8	32.9	20.2	28.4	7.8	16.3	12.2	31.6	18.8	11.2	13.1

(%)

	n	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講話・落語・浪曲・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	文化芸術活動に興味がない	無回答
全 体	873	13.4	17.8	18.8	14.4	12.6	17.2	10.4	31.5	18.2	1.6	11.6	8.1
男	354	10.2	18.4	15.5	11.6	7.3	11.0	15.0	33.1	18.6	0.8	13.3	9.0
女	510	15.5	17.3	21.0	16.5	16.5	21.8	7.3	30.8	17.8	2.0	10.4	7.5

■年齢による集計結果

文化活動に興味がある人は、60歳代以下で8割以上となっています。興味がある内容としては、50歳代までは「映画（動画配信含む）」や「マンガ・アニメ・ゲーム」が多くなっており、60歳代以降は「歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）」などが多くなっています。

(%)

	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）
全 体	873	20.2	24.1	29.8	29.6	20.0	23.5	7.8	13.3	11.0	31.2	19.7	11.3	11.9
18～19歳	25	24.0	16.0	56.0	36.0	24.0	32.0	12.0	12.0	12.0	32.0	36.0	36.0	20.0
20歳代	136	24.3	22.8	26.5	25.7	22.8	25.7	14.0	18.4	19.9	30.9	31.6	16.9	16.2
30歳代	75	20.0	24.0	30.7	28.0	20.0	26.7	14.7	12.0	14.7	36.0	34.7	17.3	16.0
40歳代	119	18.5	32.8	35.3	33.6	26.1	30.3	5.0	15.1	14.3	37.0	29.4	13.4	17.6
50歳代	143	11.2	25.2	29.4	25.9	19.6	23.1	4.9	12.6	7.0	30.8	19.6	9.8	8.4
60歳代	124	20.2	25.8	29.0	33.9	25.8	25.8	4.0	12.1	7.3	33.1	9.7	6.5	6.5
70歳以上	249	23.7	20.1	26.9	29.7	12.9	16.5	6.8	11.2	7.6	26.5	7.6	6.4	9.6

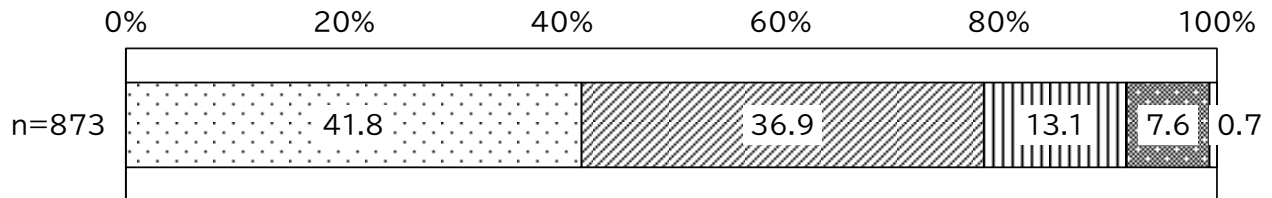
(%)

	n	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講話・落語・浪曲・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	文化芸術活動に興味がない	無回答
全 体	873	13.4	17.8	18.8	14.4	12.6	17.2	10.4	31.5	18.2	1.6	11.6	8.1
18～19歳	25	8.0	16.0	12.0	20.0	12.0	8.0	8.0	36.0	28.0	0.0	12.0	4.0
20歳代	136	14.7	19.1	26.5	21.3	16.2	19.1	14.7	25.0	17.6	0.7	11.8	2.2
30歳代	75	20.0	14.7	18.7	20.0	17.3	17.3	9.3	29.3	20.0	0.0	16.0	2.7
40歳代	119	14.3	21.8	18.5	15.1	10.9	19.3	10.9	33.6	26.9	0.8	12.6	1.7
50歳代	143	9.1	11.9	14.7	11.2	7.7	16.1	7.0	30.1	17.5	2.1	11.9	7.0
60歳代	124	9.7	18.5	16.1	14.5	13.7	21.0	10.5	34.7	12.9	2.4	8.1	3.2
70歳以上	249	15.3	19.3	19.3	10.0	12.4	14.9	10.4	33.7	16.1	2.4	11.2	18.9

(3) 文化鑑賞・観覧について

問9：あなたは、文化芸術（問8の設問を参照）の鑑賞に関心がありますか。（○は1つ）

「関心がある」（41.8%）と「どちらかというに関心がある」（36.9%）を合わせた『関心あり』が78.7%、「どちらかというに関心がない」（13.1%）と「関心がない」（7.6%）を合わせた『関心なし』が20.7%となっています。



□ 関心がある ▨ どちらかというに関心がある ▩ どちらかというに関心がない ■ 関心がない □ 無回答

■性別による集計結果

男女ともに『関心あり』が多くなっていますが、男性が72.8%、女性が82.6%と女性が9.8ポイント高くなっています。

(%)

	n	関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない	無回答
全 体	873	41.8	36.9	13.1	7.6	0.7
男	354	36.4	36.4	15.3	11.3	0.6
女	510	45.3	37.3	11.6	5.1	0.8

■年齢による集計結果

いずれの年代でも『関心あり』が多くなっていますが、「関心がある」を見ると、年齢が上がるごとに少なくなる傾向が見られます。

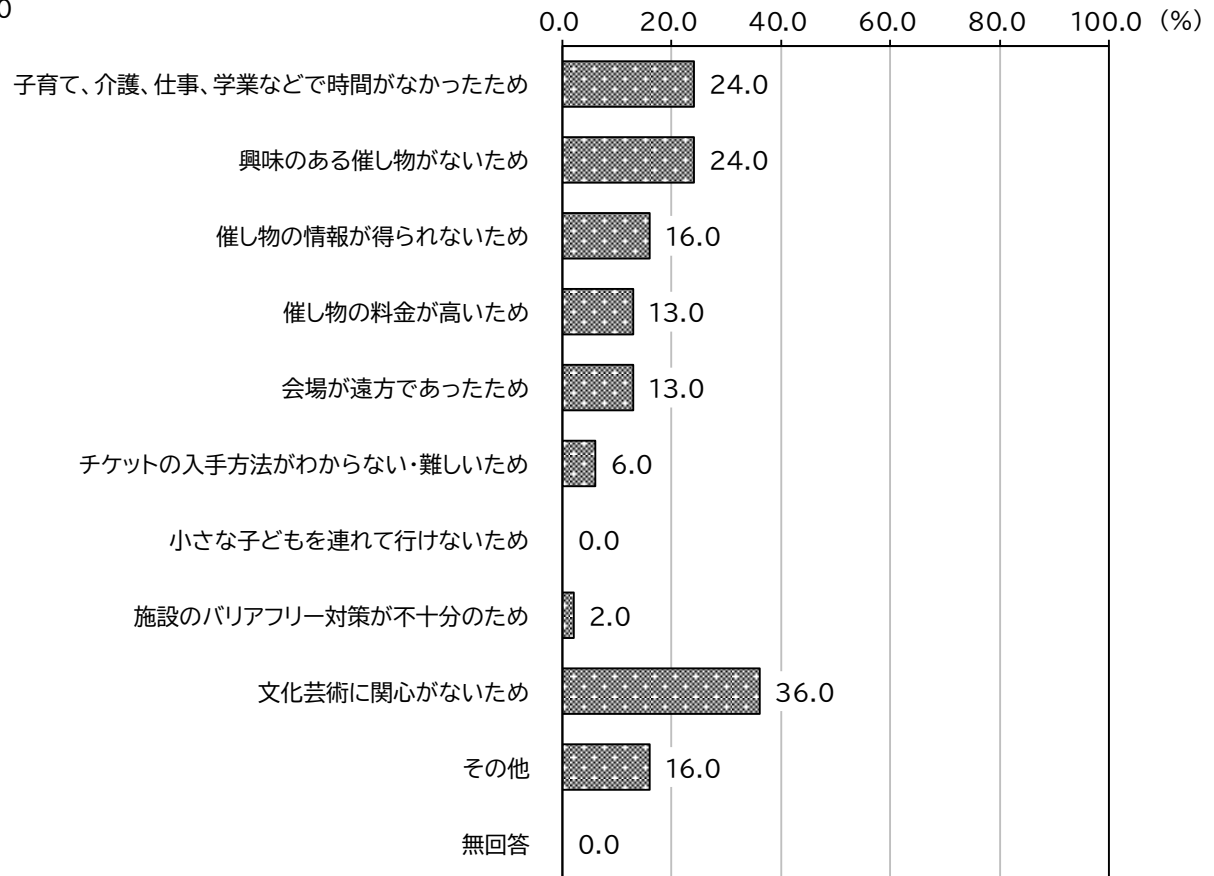
(%)

	n	関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない	無回答
全 体	873	41.8	36.9	13.1	7.6	0.7
18～19歳	25	60.0	32.0	4.0	4.0	0.0
20歳代	136	50.7	36.8	7.4	5.1	0.0
30歳代	75	52.0	32.0	10.7	5.3	0.0
40歳代	119	42.0	44.5	8.4	5.0	0.0
50歳代	143	34.3	42.0	18.2	5.6	0.0
60歳代	124	45.2	35.5	11.3	7.3	0.8
70歳以上	249	34.1	33.3	18.1	12.4	2.0

問10：問8で「24. ①過去1年間は、鑑賞していない」を選んだ方にお聞きします。文化芸術を鑑賞しなかった(できなかった)理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「文化芸術に関心がないため」が36.0%で最も多く、次いで「子育て、介護、仕事、学業などで時間がなかったため」と「興味のある催し物がないため」が24.0%となっています。

n=100



■性別による集計結果

男女ともに「文化芸術に関心がないため」が最も多くなっていますが、男性が44.2%、女性が27.1%と男性が17.1ポイント高くなっています。また、女性では「興味のある催し物がな

いたため」(27.1%)も多く、男女ともに「子育て、介護、仕事、学業などで時間がなかったため」も多くなっています。

(%)

	n	子育て、 介護、仕事、学業 などで時間が なかったため	興味のある 催し物がな いたため	催し物の 情報が得 られない ため	催し物の 料金が 高いため	会場が遠 方であ ったため	チケット の入手方 法がわか らない・ 難しいた め	小さな子 どもを連 れて行け ないため	施設のバ リアフ リー対策 が不十分 のため	文化芸術 に関心が ないため	その他
全 体	100	24.0	24.0	16.0	13.0	13.0	6.0	0.0	2.0	36.0	16.0
男	52	23.1	21.2	17.3	9.6	5.8	7.7	0.0	1.9	44.2	13.5
女	48	25.0	27.1	14.6	16.7	20.8	4.2	0.0	2.1	27.1	18.8

■年齢による集計結果

回答者数が少ないものの、多くの年代で「文化芸術に関心がないため」が高い傾向にあります。

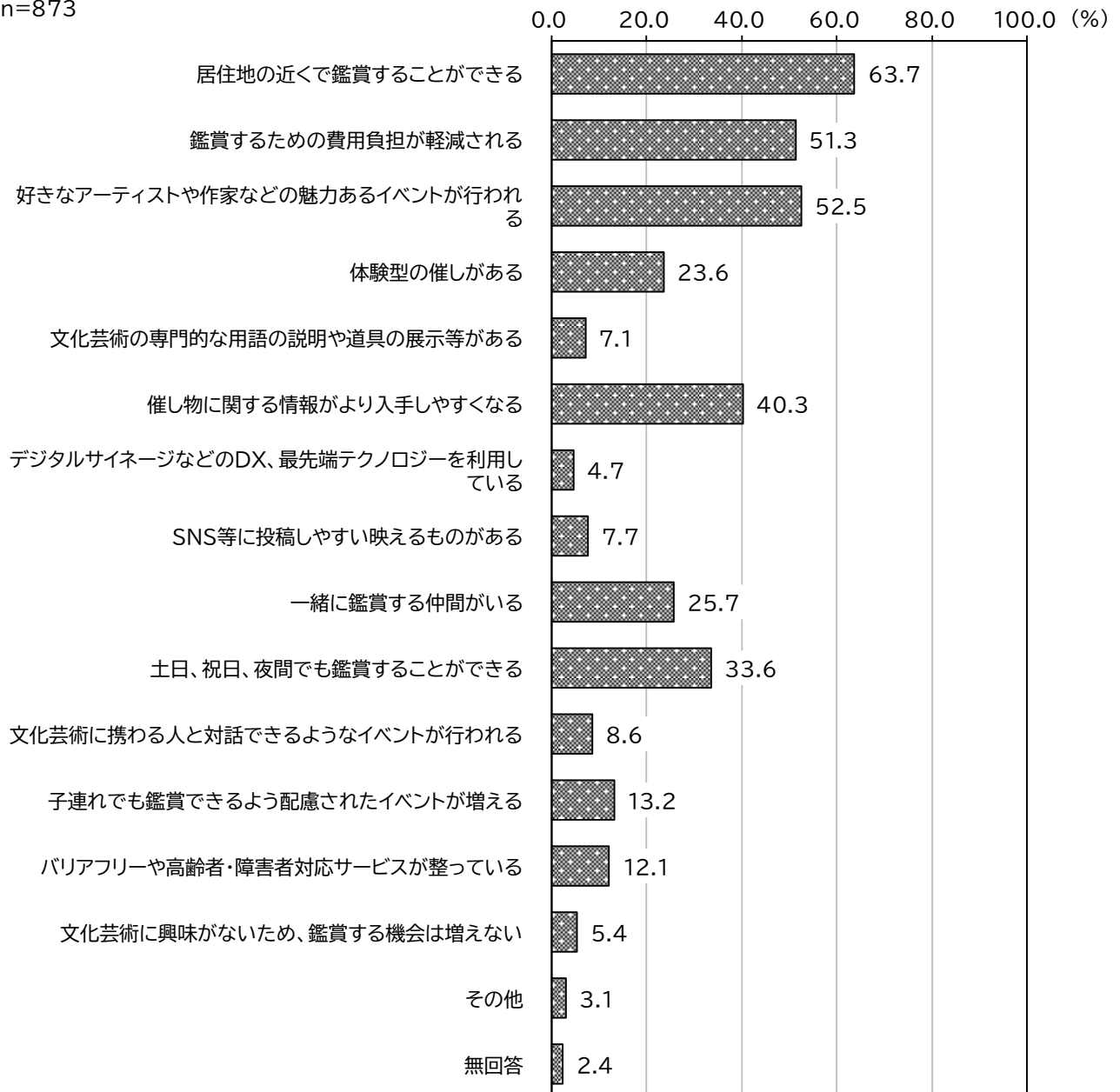
(%)

	n	子育て、 介護、仕事、学業 などで時間が なかったため	興味のある 催し物がな いたため	催し物の 情報が得 られない ため	催し物の 料金が 高いため	会場が遠 方であ ったため	チケット の入手方 法がわか らない・ 難しいた め	小さな子 どもを連 れて行け ないため	施設のバ リアフ リー対策 が不十分 のため	文化芸術 に関心が ないため	その他
全 体	100	24.0	24.0	16.0	13.0	13.0	6.0	0.0	2.0	36.0	16.0
18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	6	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0
30歳代	5	80.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	10	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
50歳代	17	23.5	35.3	17.6	23.5	11.8	11.8	0.0	5.9	41.2	11.8
60歳代	20	25.0	30.0	25.0	20.0	25.0	5.0	0.0	0.0	30.0	15.0
70歳以上	41	9.8	14.6	14.6	4.9	12.2	4.9	0.0	2.4	41.5	24.4

問 11：どうすれば文化芸術を鑑賞する機会が増えたり、鑑賞しやすくなったりと思いますか。（〇はいくつでも）

「居住地の近くで鑑賞することができる」が63.7%で最も多く、次いで「好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる」が52.5%、「鑑賞するための費用負担が軽減される」が51.3%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「居住地の近くで鑑賞することができる」が最も多く、次いで「好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる」が多くなっています。また、女性では「鑑賞するための費用負担が軽減される」(55.9%) も多くなっています。

(%)

	n	居住地の近くで鑑賞することができる	鑑賞するための費用負担が軽減される	好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる	体験型の催しがある	文化芸術の専門的な用語の説明や道具の展示等がある	催し物に関する情報がより入手しやすくなる	デジタルサイネージなどのDX、最先端テクノロジーを利用している	SNS等に投稿しやすい映像のものがある	一緒に鑑賞する仲間がいる	土日、祝日も鑑賞することができる	文化芸術に携わる人と対話できるようなイベントが行われる	子連れでも鑑賞できるよう配慮されたイベントが増える	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている
全 体	873	63.7	51.3	52.5	23.6	7.1	40.3	4.7	7.7	25.7	33.6	8.6	13.2	12.1
男	354	59.9	44.9	47.7	19.5	8.2	33.9	7.1	7.9	24.9	39.5	10.2	10.7	10.7
女	510	66.3	55.9	55.9	26.7	6.3	44.5	2.7	7.5	26.1	29.0	7.6	14.9	13.1

(%)

	n	文化芸術に興味がないため、鑑賞する機会が増えない	その他	無回答
全 体	873	5.4	3.1	2.4
男	354	7.9	3.4	2.0
女	510	3.5	2.9	2.7

■年齢による集計結果

30歳代以上で「居住地の近くで鑑賞することができる」が最も多くなっています。また、「好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる」は年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

(%)

	n	居住地の近くで鑑賞することができる	鑑賞するための費用負担が軽減される	好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる	体験型の催しがある	文化芸術の専門的な用語の説明や道具の展示等がある	催し物に関する情報がより入手しやすくなる	デジタルサイネージなどのDX、最先端テクノロジーを利用している	SNS等に投稿しやすい映像のものがある	一緒に鑑賞する仲間がいる	土日、祝日も鑑賞することができる	文化芸術に携わる人と対話できるようなイベントが行われる	子連れでも鑑賞できるよう配慮されたイベントが増える	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている
全 体	873	63.7	51.3	52.5	23.6	7.1	40.3	4.7	7.7	25.7	33.6	8.6	13.2	12.1
18～19歳	25	64.0	72.0	76.0	36.0	16.0	40.0	12.0	40.0	56.0	48.0	20.0	16.0	12.0
20歳代	136	56.6	50.7	61.8	33.8	8.8	38.2	8.1	20.6	35.3	52.9	6.6	14.7	6.6
30歳代	75	62.7	45.3	62.7	32.0	10.7	32.0	12.0	12.0	25.3	50.7	8.0	36.0	6.7
40歳代	119	74.8	58.8	61.3	28.6	8.4	37.8	5.9	4.2	19.3	47.1	10.9	26.9	10.1
50歳代	143	62.2	53.8	56.6	25.2	6.3	44.1	2.8	7.0	24.5	39.9	9.8	9.8	16.1
60歳代	124	64.5	54.8	53.2	20.2	4.0	43.5	3.2	3.2	21.0	23.4	10.5	5.6	14.5
70歳以上	249	63.5	44.6	35.3	12.9	5.6	41.4	1.2	0.4	23.3	11.2	6.0	4.4	14.5

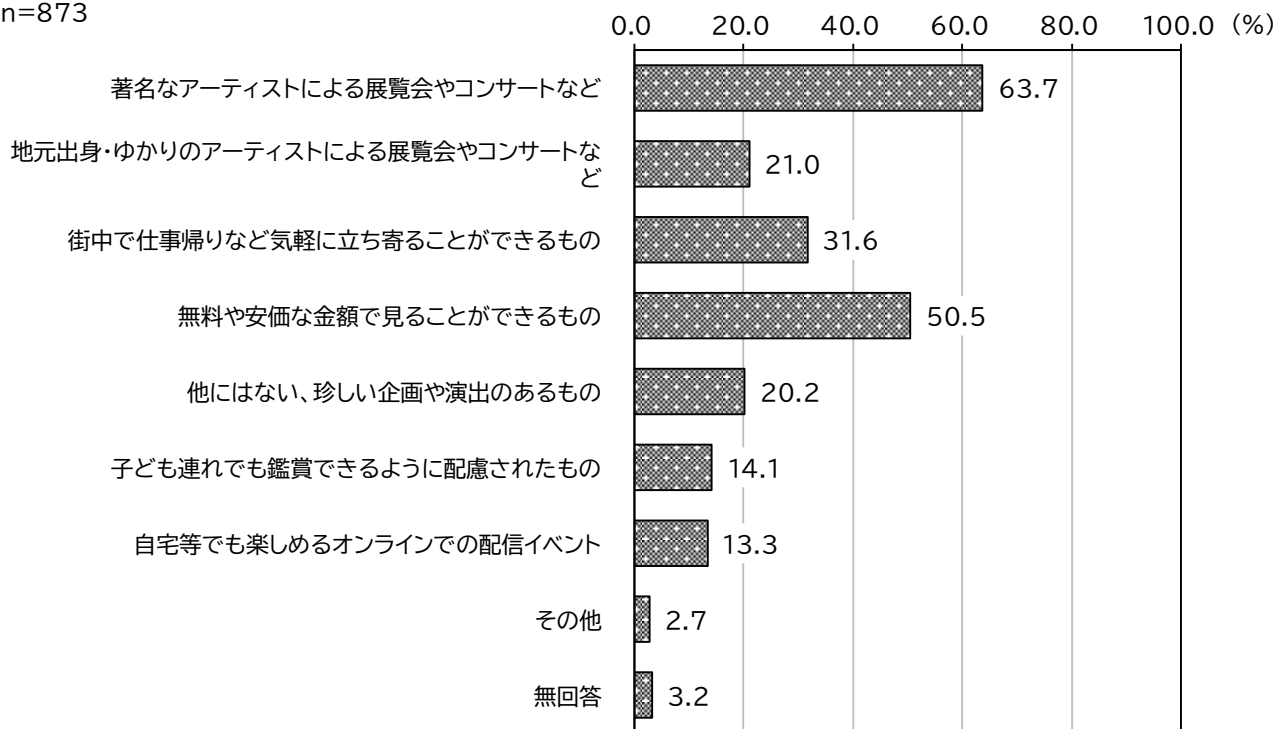
(%)

	n	文化芸術に興味がないため、鑑賞する機会が増えない	その他	無回答
全 体	873	5.4	3.1	2.4
18～19歳	25	0.0	0.0	0.0
20歳代	136	1.5	2.9	1.5
30歳代	75	5.3	2.7	0.0
40歳代	119	2.5	3.4	0.8
50歳代	143	4.9	4.2	0.7
60歳代	124	4.8	3.2	1.6
70歳以上	249	10.0	2.8	6.0

問 12：今後、市内でどのようなものを鑑賞したいと思いますか。次の中から選んでください。（〇はいくつでも）

「著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど」が63.7%で最も多く、次いで「無料や安価な金額で見ることができるもの」が50.5%、「街中で仕事帰りなど気軽に立ち寄ることができるもの」が31.6%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど」が最も多く、次いで「無料や安価な金額で見ることができるもの」が多くなっています。

(%)

	n	著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど	地元出身・ゆかりのアーティストによる展覧会やコンサートなど	街中で仕事帰りなど気軽に立ち寄ることができるもの	無料や安価な金額で見ることができるもの	他にはない、珍しい企画や演出のあるもの	子ども連れでも鑑賞できるように配慮されたもの	自宅等でも楽しめるオンラインでの配信イベント	その他	無回答
全 体	873	63.7	21.0	31.6	50.5	20.2	14.1	13.3	2.7	3.2
男	354	55.4	22.0	32.2	44.4	21.5	13.0	13.6	3.7	3.7
女	510	69.2	19.8	30.6	54.7	19.0	15.1	13.1	2.2	2.9

■年齢による集計結果

60歳代までで「著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど」が最も多く、70歳以上では「無料や安価な金額で見ることができるもの」が最も多くなっています。

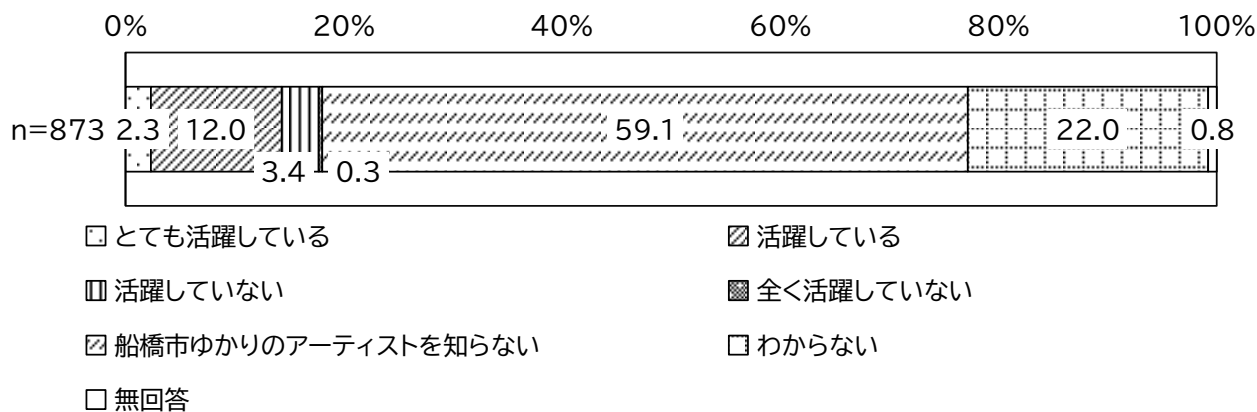
(%)

	n	著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど	地元出身・ゆかりのアーティストによる展覧会やコンサートなど	街中で仕事帰りなど気軽に立ち寄ることができるもの	無料や安価な金額で見ることができるもの	他にはない、珍しい企画や演出のあるもの	子ども連れでも鑑賞できるように配慮されたもの	自宅等でも楽しめるオンラインでの配信イベント	その他	無回答
全 体	873	63.7	21.0	31.6	50.5	20.2	14.1	13.3	2.7	3.2
18～19歳	25	80.0	28.0	24.0	48.0	36.0	16.0	8.0	0.0	0.0
20歳代	136	65.4	19.1	40.4	50.0	25.0	14.7	12.5	1.5	0.0
30歳代	75	62.7	12.0	45.3	48.0	21.3	38.7	14.7	1.3	0.0
40歳代	119	72.3	22.7	37.8	47.1	27.7	31.9	15.1	0.8	0.0
50歳代	143	68.5	25.9	35.7	46.2	23.1	10.5	16.1	3.5	0.7
60歳代	124	67.7	25.0	29.0	50.8	16.9	4.0	16.9	1.6	2.4
70歳以上	249	53.0	18.5	18.9	56.2	11.6	4.8	9.6	5.2	9.6

問 13：船橋市にゆかりのあるアーティストについて、活躍されていると思いますか。

(○は1つ)

「船橋市ゆかりのアーティストを知らない」が59.1%で最も多く、次いで「わからない」が22.0%、「活躍している」が12.0%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「船橋市ゆかりのアーティストを知らない」が最も多くなっています。

(%)

	n	とても活躍している	活躍している	活躍していない	全く活躍していない	船橋市ゆかりのアーティストを知らない	わからない	無回答
全 体	873	2.3	12.0	3.4	0.3	59.1	22.0	0.8
男	354	2.8	10.5	3.4	0.8	61.0	20.3	1.1
女	510	2.0	12.5	3.5	0.0	58.2	23.1	0.6

■年齢による集計結果

いずれの年代も「船橋市ゆかりのアーティストを知らない」が最も多くなっています。

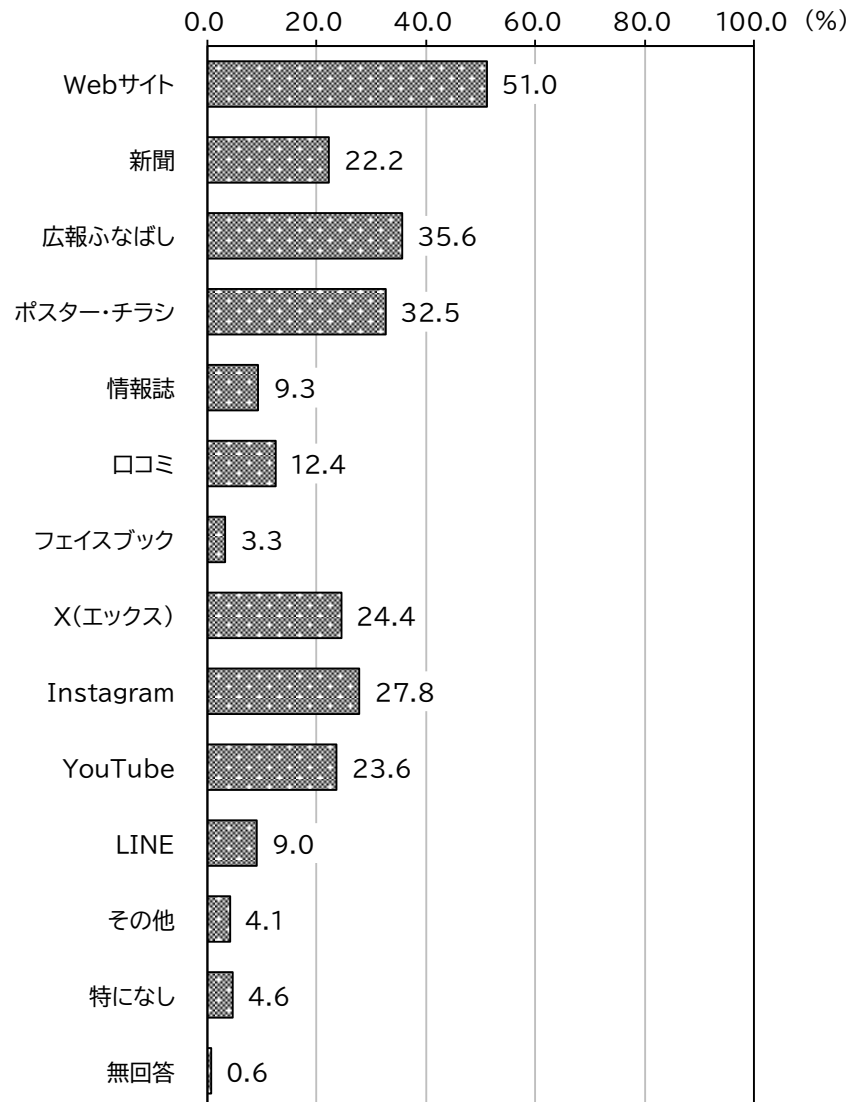
(%)

	n	とても活躍している	活躍している	活躍していない	全く活躍していない	船橋市ゆかりのアーティストを知らない	わからない	無回答
全 体	873	2.3	12.0	3.4	0.3	59.1	22.0	0.8
18～19歳	25	4.0	8.0	12.0	0.0	64.0	8.0	4.0
20歳代	136	2.2	13.2	2.2	0.0	64.7	17.6	0.0
30歳代	75	2.7	12.0	1.3	0.0	73.3	10.7	0.0
40歳代	119	3.4	10.1	4.2	0.8	65.5	16.0	0.0
50歳代	143	2.8	17.5	4.9	1.4	51.0	22.4	0.0
60歳代	124	2.4	12.9	2.4	0.0	52.4	29.0	0.8
70歳以上	249	1.2	9.2	3.2	0.0	56.2	28.1	2.0

問 14：鑑賞する際に情報をどんな媒体により入手されることが多いですか。次の中から選んでください。（〇はいくつでも）

「Web サイト」が 51.0%で最も多く、次いで「広報ふなばし」が 35.6%、「ポスター・チラシ」が 32.5%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「Web サイト」が最も多く、次いで「広報ふなばし」が多くなっています。

(%)

	n	Web サイト	新聞	広報ふなばし	ポスター・チラシ	情報誌	口コミ	フェイスブック	X (エックス)	Instagram	YouTube	LINE	その他	特になし	無回答
全 体	873	51.0	22.2	35.6	32.5	9.3	12.4	3.3	24.4	27.8	23.6	9.0	4.1	4.6	0.6
男	354	52.5	24.0	32.5	25.1	8.8	9.0	4.0	22.6	22.0	29.1	6.2	3.4	6.8	0.8
女	510	49.8	20.6	38.0	37.1	9.4	14.5	2.7	25.1	31.6	19.6	11.0	4.5	3.1	0.4

■年齢による集計結果

20 歳代までで「X (エックス)」や「Instagram」が多く、年齢が上がるごとに少なくなる傾向にあります。70 歳以上では「広報ふなばし」が最も多く、年齢が下がるごとに少なくなる傾向にあります。

(%)

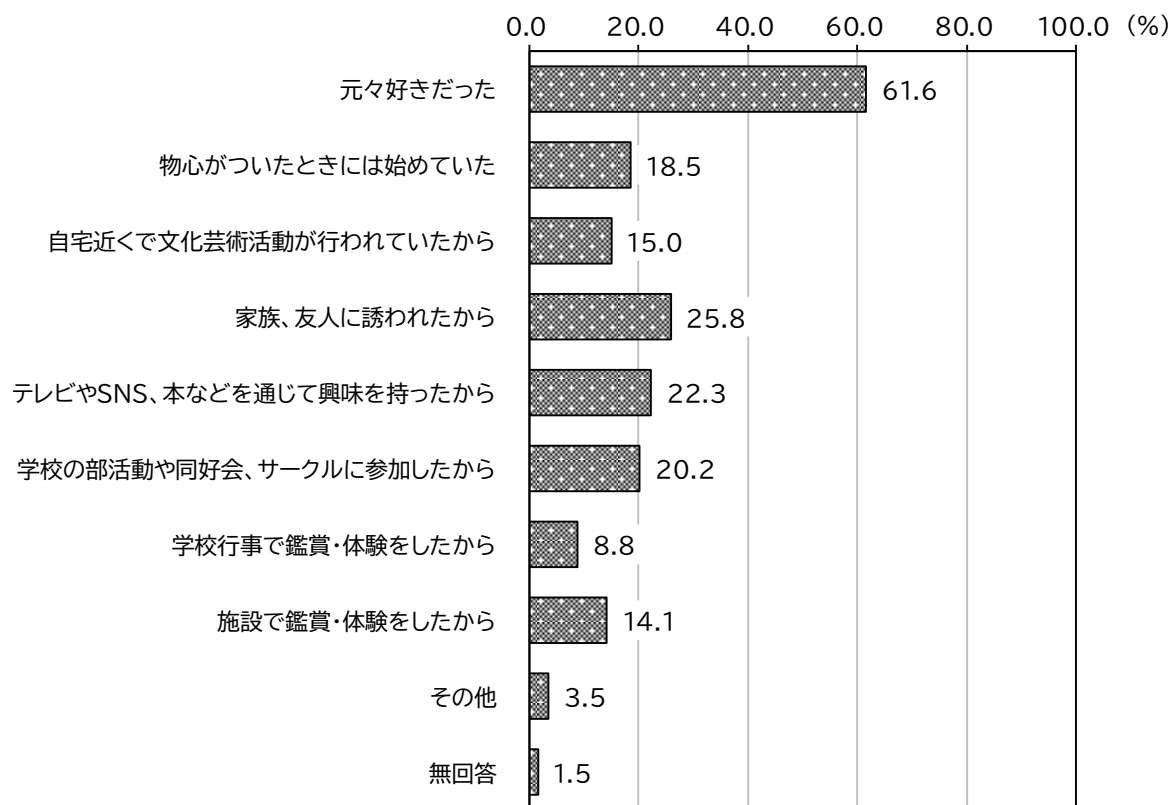
	n	Web サイト	新聞	広報ふなばし	ポスター・チラシ	情報誌	口コミ	フェイスブック	X (エックス)	Instagram	YouTube	LINE	その他	特になし	無回答
全 体	873	51.0	22.2	35.6	32.5	9.3	12.4	3.3	24.4	27.8	23.6	9.0	4.1	4.6	0.6
18～19歳	25	44.0	8.0	12.0	16.0	4.0	12.0	0.0	56.0	76.0	36.0	0.0	8.0	0.0	0.0
20歳代	136	58.8	4.4	11.0	22.8	0.7	6.6	3.7	64.0	62.5	44.1	5.9	2.9	2.9	0.0
30歳代	75	56.0	2.7	17.3	24.0	2.7	12.0	5.3	44.0	45.3	32.0	12.0	6.7	2.7	0.0
40歳代	119	73.9	5.9	30.3	34.5	6.7	13.4	3.4	26.9	38.7	28.6	16.0	0.8	0.0	0.0
50歳代	143	72.0	19.6	29.4	37.1	14.0	16.1	3.5	18.2	25.9	21.0	13.3	7.0	2.8	0.0
60歳代	124	55.6	26.6	34.7	34.7	16.9	8.9	6.5	10.5	15.3	21.0	15.3	6.5	8.1	0.0
70歳以上	249	20.5	45.8	63.9	37.3	11.2	14.5	1.2	3.2	1.2	8.8	2.0	2.4	8.0	2.0

(4) 文化活動について

問 15 (1) : 問 8 で「②活動の 1 ～23」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。文化芸術活動を始めたきっかけはなんですか。(○はいくつでも)

「元々好きだった」が 61.6%で最も多く、次いで「家族、友人に誘われたから」が 25.8%、「テレビや SNS、本などを通じて興味を持ったから」が 22.3%となっています。

n=341



■性別による集計結果

男女ともに「元々好きだった」が最も多く、次いで「家族、友人に誘われたから」が多くなっています。

(%)

	n	元々好き だった	物心がつ いたとき には始め ていた	自宅近く で文化芸 術活動が 行われて いたから	家族、友 人に誘わ れたから	テレビや SNS、 本などを 通じて興 味を持っ たから	学校の部 活動や同 好会、 サークル に参加し たから	学校行事 で鑑賞・ 体験をし たから	施設で鑑 賞・体験 をしたか ら	その他	無回答
全 体	341	61.6	18.5	15.0	25.8	22.3	20.2	8.8	14.1	3.5	1.5
男	133	61.7	13.5	11.3	25.6	24.1	15.0	5.3	12.8	3.8	1.5
女	204	61.3	21.1	17.6	26.0	21.1	23.5	11.3	14.7	3.4	1.0

■年齢による集計結果

いずれの年代も「元々好きだった」が最も多くなっています。

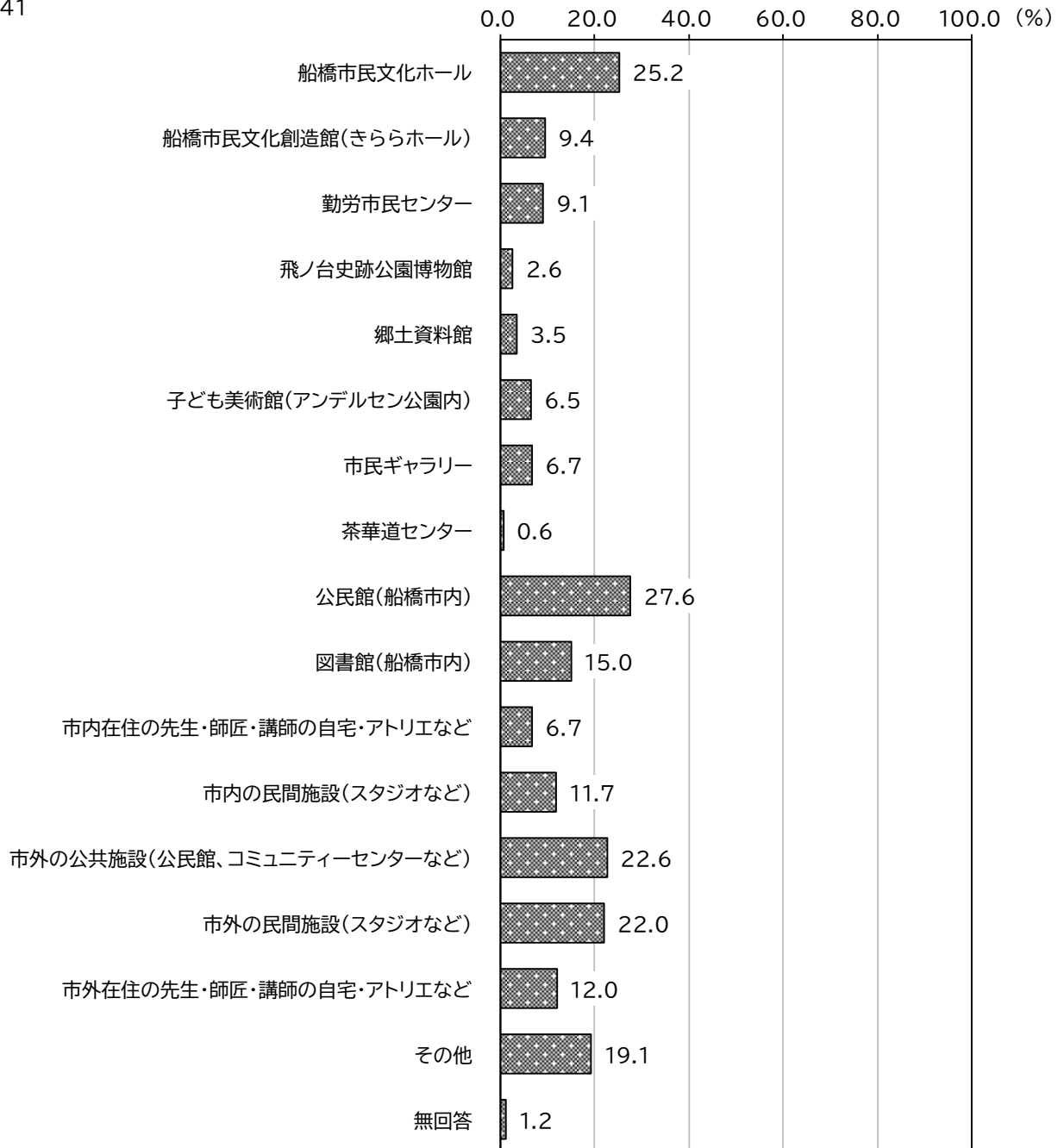
(%)

	n	元々好き だった	物心がつ いたとき には始め ていた	自宅近く で文化芸 術活動が 行われて いたから	家族、友 人に誘わ れたから	テレビや SNS、 本などを 通じて興 味を持っ たから	学校の部 活動や同 好会、 サークル に参加し たから	学校行事 で鑑賞・ 体験をし たから	施設で鑑 賞・体験 をしたか ら	その他	無回答
全 体	341	61.6	18.5	15.0	25.8	22.3	20.2	8.8	14.1	3.5	1.5
18～19歳	14	42.9	21.4	14.3	28.6	35.7	28.6	7.1	14.3	7.1	0.0
20歳代	66	60.6	36.4	3.0	22.7	25.8	28.8	12.1	10.6	3.0	0.0
30歳代	34	64.7	17.6	20.6	29.4	8.8	23.5	14.7	8.8	2.9	0.0
40歳代	51	56.9	17.6	3.9	23.5	23.5	21.6	5.9	9.8	3.9	2.0
50歳代	44	56.8	20.5	13.6	31.8	40.9	13.6	11.4	15.9	0.0	2.3
60歳代	43	58.1	14.0	9.3	20.9	18.6	18.6	7.0	14.0	4.7	2.3
70歳以上	87	72.4	6.9	32.2	27.6	14.9	13.8	5.7	20.7	3.4	1.1

問 15 (2) : 問 8 で「②活動の 1 ～23」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。文化芸術活動をするために使用した施設はどちらですか。(○はいくつでも)

「公民館(船橋市内)」が 27.6%で最も多く、次いで「船橋市民文化ホール」が 25.2%、「市外の公共施設(公民館、コミュニティーセンターなど)」が 22.6%となっています。

n=341



■性別による集計結果

男女ともに「公民館（船橋市内）」が最も多く、次いで「船橋市民文化ホール」が多くなっています。

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きらホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館（船橋市内）	図書館（船橋市内）	市内在住の先生・講師の自宅・アトリエなど	市内の民間施設（スタジオなど）	市外の公共施設（公民館、コミュニティセンターなど）
全 体	341	25.2	9.4	9.1	2.6	3.5	6.5	6.7	0.6	27.6	15.0	6.7	11.7	22.6
男	133	21.8	5.3	3.8	3.8	3.8	7.5	5.3	0.0	24.8	15.0	3.8	14.3	21.1
女	204	27.5	11.8	12.3	2.0	3.4	5.9	7.8	1.0	28.9	15.2	8.8	9.3	23.5

	n	市外の民間施設（スタジオなど）	市外在住の先生・講師の自宅・アトリエなど	その他	無回答
全 体	341	22.0	12.0	19.1	1.2
男	133	18.0	9.8	21.8	2.3
女	204	24.0	13.2	17.2	0.5

■年齢による集計結果

70 歳以上で「公民館（船橋市内）」（51.7%）が最も多く、全体より 24.1 ポイント高くなっています。また、60 歳代以下で「市外の公共施設（公民館、コミュニティセンターなど）」が多くなっています。

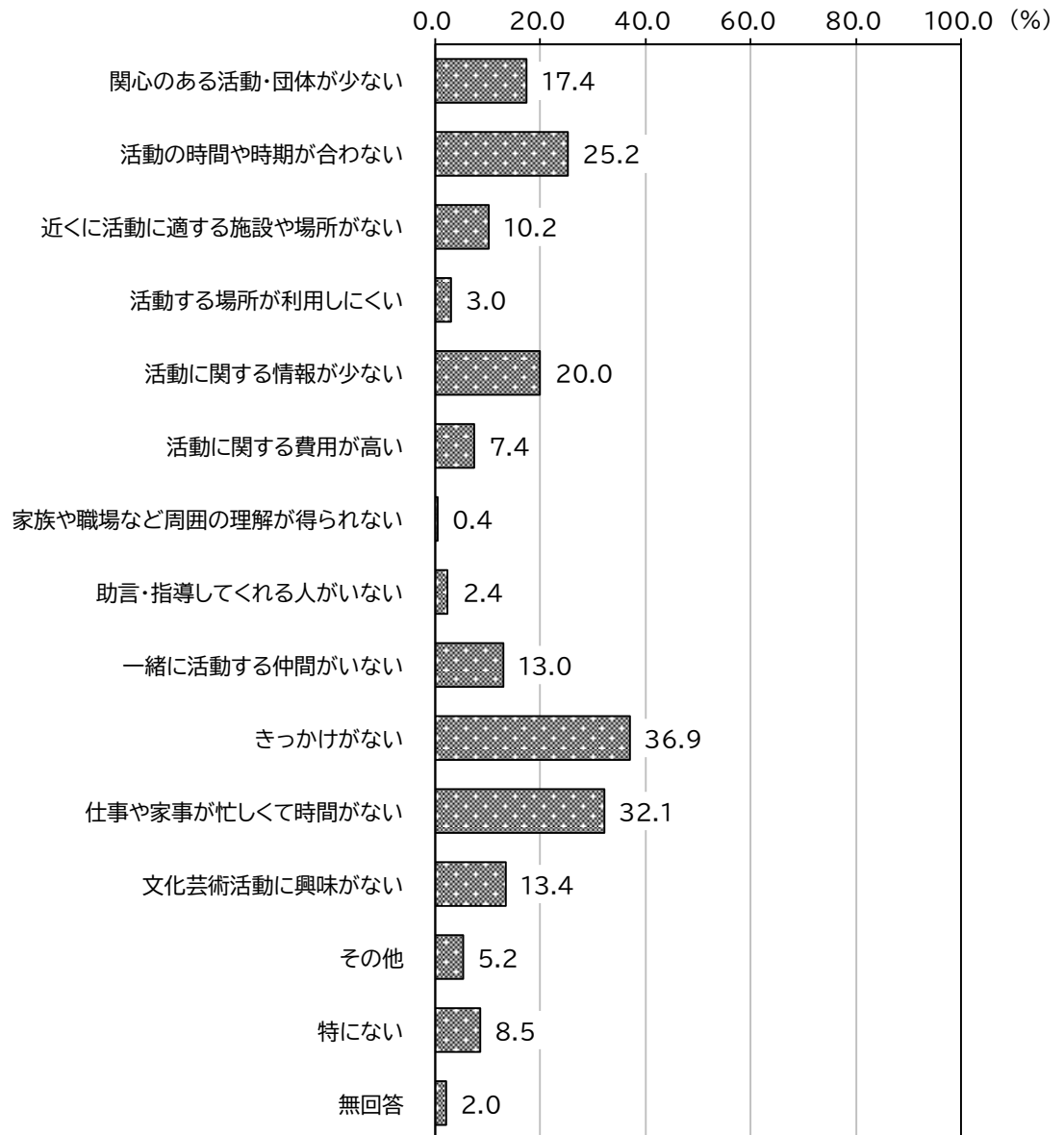
	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きらホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館（船橋市内）	図書館（船橋市内）	市内在住の先生・講師の自宅・アトリエなど	市内の民間施設（スタジオなど）	市外の公共施設（公民館、コミュニティセンターなど）
全 体	341	25.2	9.4	9.1	2.6	3.5	6.5	6.7	0.6	27.6	15.0	6.7	11.7	22.6
18～19歳	14	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1
20歳代	66	24.2	7.6	1.5	4.5	3.0	6.1	0.0	0.0	18.2	19.7	1.5	6.1	19.7
30歳代	34	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	8.8	17.6	11.8	5.9	20.6
40歳代	51	19.6	3.9	5.9	2.0	0.0	9.8	2.0	0.0	19.6	17.6	2.0	11.8	29.4
50歳代	44	20.5	9.1	9.1	2.3	2.3	9.1	9.1	0.0	20.5	20.5	18.2	15.9	22.7
60歳代	43	27.9	9.3	7.0	4.7	4.7	2.3	7.0	0.0	25.6	16.3	2.3	11.6	20.9
70歳以上	87	36.8	18.4	21.8	2.3	6.9	5.7	17.2	2.3	51.7	6.9	8.0	14.9	25.3

	n	市外の民間施設（スタジオなど）	市外在住の先生・講師の自宅・アトリエなど	その他	無回答
全 体	341	22.0	12.0	19.1	1.2
18～19歳	14	35.7	0.0	21.4	0.0
20歳代	66	27.3	9.1	24.2	1.5
30歳代	34	23.5	17.6	29.4	0.0
40歳代	51	29.4	19.6	19.6	2.0
50歳代	44	25.0	13.6	11.4	2.3
60歳代	43	14.0	18.6	16.3	2.3
70歳以上	87	13.8	5.7	14.9	0.0

問 16：問 8 で「②活動の 24. ②活動していない」を選んだ方にお聞きします。文化芸術活動をしていない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

「きっかけがない」が 36.9%で最も多く、次いで「仕事や家事が忙しくて時間がない」が 32.1%、「活動の時間や時期が合わない」が 25.2%となっています。

n=461



■性別による集計結果

男女ともに「きっかけがない」が最も多く、次いで「仕事や家事が忙しくて時間がない」が多くなっています。

(%)

	n	関心のある活動・団体が少ない	活動の時間や時期が合わない	近くに活動に適する施設や場所がない	活動する場所が利用しにくい	活動に関する情報が少ない	活動に関する費用が高い	家族や職場など周囲の理解が得られない	助言・指導してくる人がいない	一緒に活動する仲間がいない	きっかけがない	仕事や家事が忙しくて時間がない	文化芸術活動に興味がない	その他	特になし	無回答
全 体	461	17.4	25.2	10.2	3.0	20.0	7.4	0.4	2.4	13.0	36.9	32.1	13.4	5.2	8.5	2.0
男	181	19.9	19.9	11.0	1.1	22.7	6.6	0.6	4.4	12.7	33.7	23.2	22.7	6.1	9.4	1.7
女	275	16.0	28.7	9.8	4.4	18.2	7.6	0.4	1.1	13.1	38.5	38.2	7.6	4.7	7.6	2.2

■年齢による集計結果

いずれの年代も「きっかけがない」が多くなっています。また、30 歳代、40 歳代では「仕事や家事が忙しくて時間がない」が最も多くなっています。

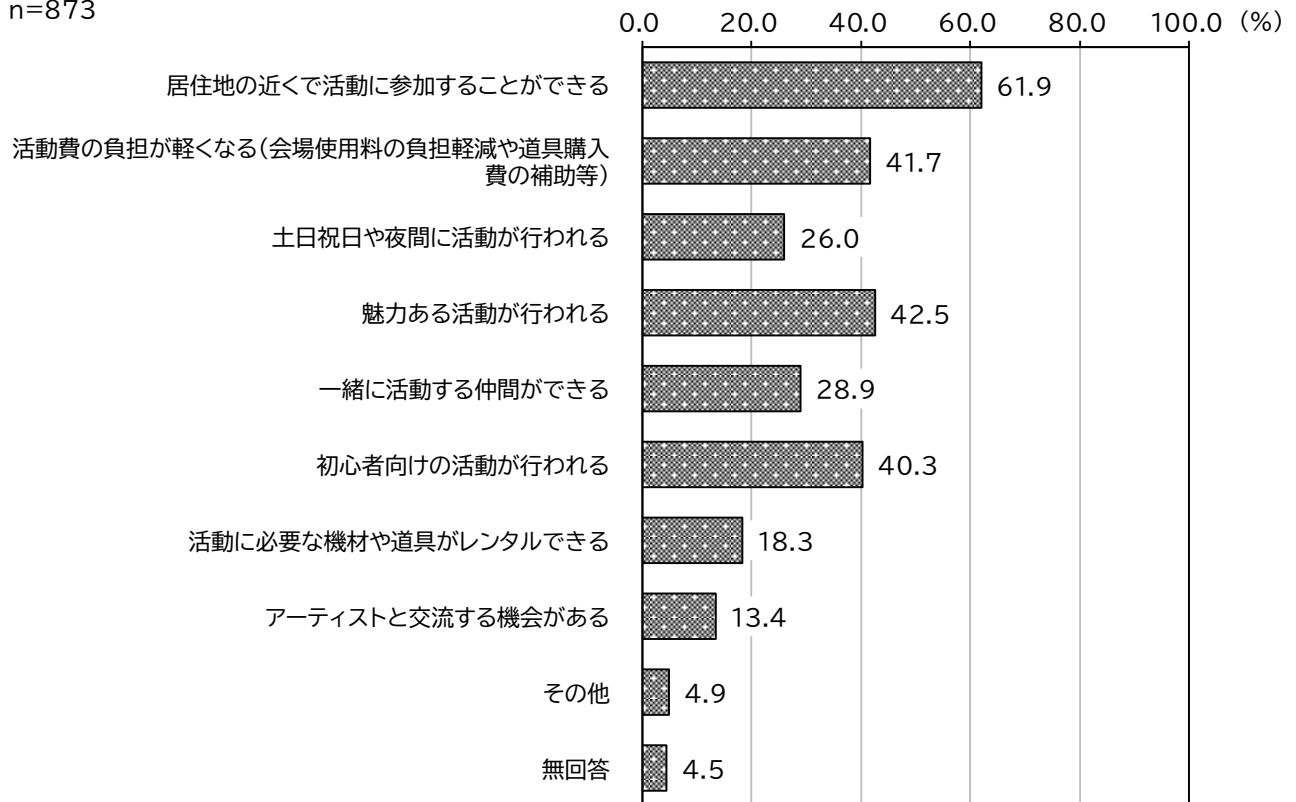
(%)

	n	関心のある活動・団体が少ない	活動の時間や時期が合わない	近くに活動に適する施設や場所がない	活動する場所が利用しにくい	活動に関する情報が少ない	活動に関する費用が高い	家族や職場など周囲の理解が得られない	助言・指導してくる人がいない	一緒に活動する仲間がいない	きっかけがない	仕事や家事が忙しくて時間がない	文化芸術活動に興味がない	その他	特になし	無回答
全 体	461	17.4	25.2	10.2	3.0	20.0	7.4	0.4	2.4	13.0	36.9	32.1	13.4	5.2	8.5	2.0
18～19歳	9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	55.6	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0
20歳代	66	12.1	31.8	7.6	3.0	12.1	6.1	1.5	3.0	18.2	37.9	33.3	21.2	4.5	3.0	1.5
30歳代	37	13.5	10.8	18.9	2.7	16.2	2.7	2.7	0.0	10.8	37.8	40.5	8.1	2.7	10.8	0.0
40歳代	64	15.6	32.8	10.9	1.6	18.8	9.4	0.0	4.7	17.2	37.5	59.4	14.1	3.1	3.1	1.6
50歳代	91	23.1	29.7	12.1	6.6	23.1	11.0	0.0	2.2	9.9	41.8	26.4	11.0	4.4	6.6	0.0
60歳代	76	21.1	31.6	10.5	1.3	25.0	10.5	0.0	1.3	10.5	42.1	38.2	14.5	5.3	5.3	0.0
70歳以上	118	16.1	15.3	7.6	2.5	22.0	3.4	0.0	1.7	11.0	27.1	13.6	11.9	7.6	17.8	5.9

問 17：文化芸術活動に参加しやすくするためにはどのようにすればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「居住地の近くで活動に参加することができる」が61.9%で最も多く、次いで「魅力ある活動が行われる」が42.5%、「活動費の負担が軽くなる（会場使用料の負担軽減や道具購入費の補助等）」が41.7%、「初心者向けの活動が行われる」が40.3%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「居住地の近くで活動に参加することができる」が最も多く、次いで「魅力ある活動が行われる」が多くなっています。また、女性では「活動費の負担が軽くなる（会場使用料の負担軽減や道具購入費の補助等）」も高くなっています。

(%)

	n	居住地の 近くで活 動に参加 すること ができる	活動費の 負担が軽 くなる (会場使 用料の負 担軽減や 道具購入 費の補助 等)	土日祝日 や夜間に 活動が行 われる	魅力ある 活動が行 われる	一緒に活 動する仲 間ができ る	初心者向 けの活動 が行われ る	活動に必 要な機材 や道具が レンタル できる	アーティ ストと交 流する機 会がある	その他	無回答
全 体	873	61.9	41.7	26.0	42.5	28.9	40.3	18.3	13.4	4.9	4.5
男	354	59.6	37.3	30.8	39.5	30.5	36.2	18.1	14.1	5.1	5.1
女	510	63.3	44.5	22.7	44.5	27.5	42.7	18.6	12.9	4.7	4.1

■年齢による集計結果

いずれの年代も「居住地の近くで活動に参加することができる」が最も多くなっています。また、「活動費の負担が軽くなる（会場使用料の負担軽減や道具購入費の補助等）」は年齢が下がるごとに割合が高くなり、20歳代以下で50%を超えています。

(%)

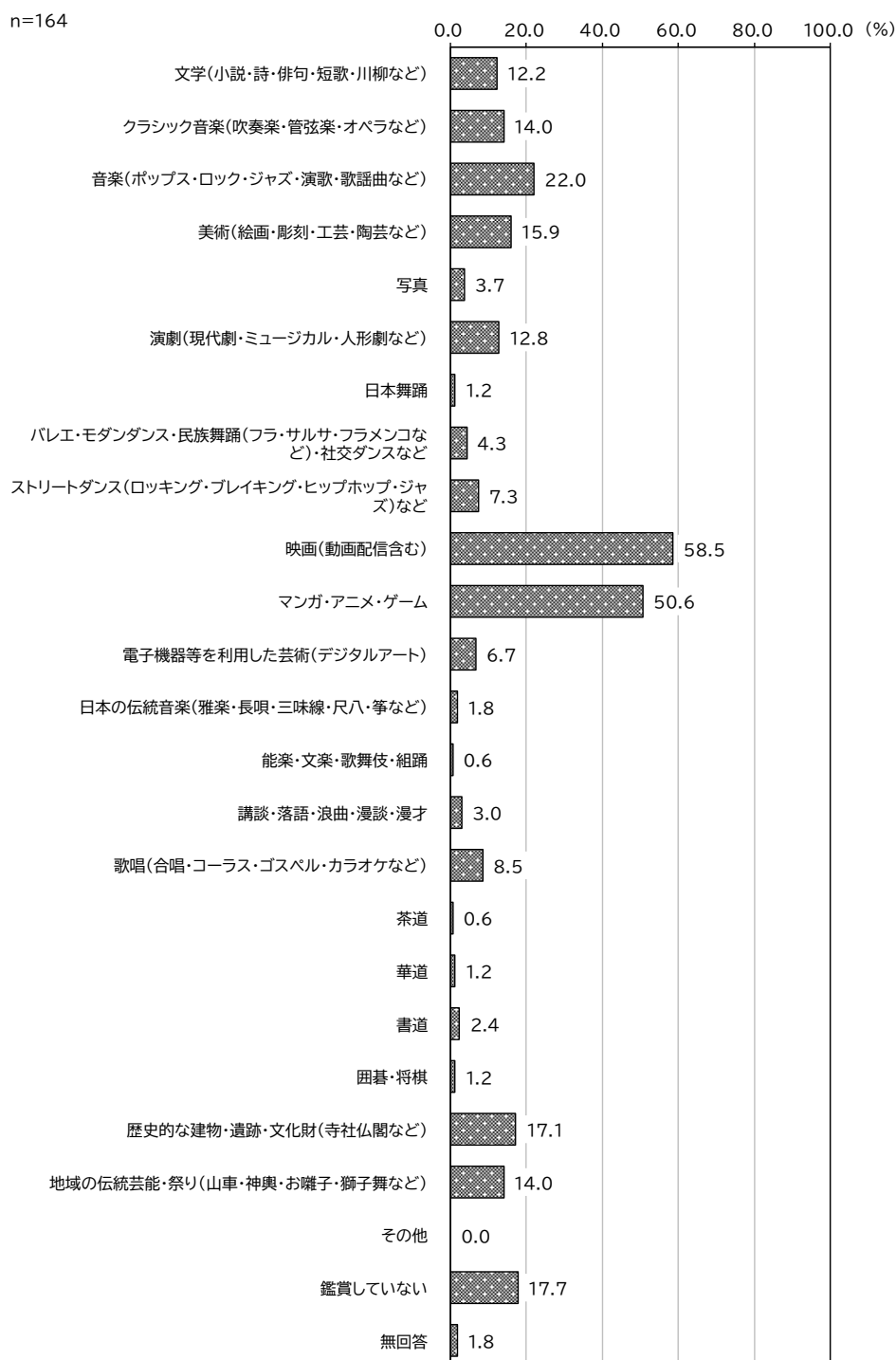
	n	居住地の 近くで活 動に参加 すること ができる	活動費の 負担が軽 くなる (会場使 用料の負 担軽減や 道具購入 費の補助 等)	土日祝日 や夜間に 活動が行 われる	魅力ある 活動が行 われる	一緒に活 動する仲 間ができ る	初心者向 けの活動 が行われ る	活動に必 要な機材 や道具が レンタル できる	アーティ ストと交 流する機 会がある	その他	無回答
全 体	873	61.9	41.7	26.0	42.5	28.9	40.3	18.3	13.4	4.9	4.5
18～19歳	25	64.0	56.0	36.0	52.0	56.0	48.0	40.0	36.0	0.0	0.0
20歳代	136	59.6	52.9	38.2	44.1	37.5	50.0	26.5	16.2	1.5	0.0
30歳代	75	56.0	45.3	33.3	36.0	24.0	50.7	14.7	13.3	6.7	1.3
40歳代	119	73.9	40.3	36.1	46.2	33.6	42.0	28.6	12.6	2.5	1.7
50歳代	143	65.0	44.8	35.7	50.3	27.3	35.7	18.2	16.1	3.5	0.0
60歳代	124	60.5	34.7	18.5	47.6	21.8	42.7	15.3	16.9	8.1	1.6
70歳以上	249	57.4	35.3	9.6	33.7	24.9	32.1	9.6	6.8	7.2	13.7

(5) 子ども、障害のある方の文化芸術活動について

問 18：問 6 で「1 ～ 4」を選んだ方（高校生以下のお子さんと同居する方）にお聞きします。

①同居する高校生以下のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、過去 1 年間で鑑賞した文化芸術はどれですか。

鑑賞率（「過去 1 年間は、鑑賞していない」と「無回答」を除いた割合）は 80.5%となっています。鑑賞した文化芸術の内容は、「映画（動画配信含む）」が 58.5%で最も多く、次いで「マンガ・アニメ・ゲーム」が 50.6%、「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」が 22.0%となっています。



②過去1年間、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動（演奏・創作などの表現活動、習い事、祭りや体験活動への参加）をしていますか。（それぞれ〇はいくつでも）

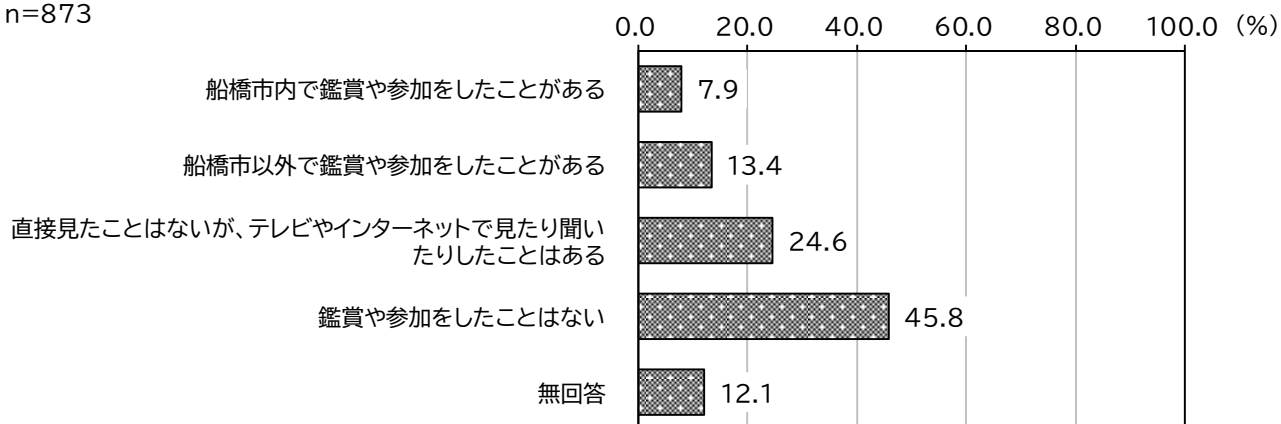
活動率（「文化芸術活動をしていない」と「無回答」を除いた割合）は39.6%となっています。活動した文化芸術の内容は、「文化芸術活動をしていない」が49.4%で最も多くなっています。活動している内容では、「マンガ・アニメ・ゲーム」が9.8%で最も多く、次いで「クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）」が8.5%、「美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）」が7.3%となっています。



問 19：障害のある方の美術作品、音楽、演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまでに鑑賞や参加などをしたことはありますか。（○はいくつでも）

「鑑賞や参加をしたことはない」が45.8%で最も多く、次いで「直接見たことはないが、テレビやインターネットで見たり聞いたりしたことはある」が24.6%、「船橋市以外で鑑賞や参加をしたことがある」が13.4%、「船橋市内で鑑賞や参加をしたことがある」が7.9%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「鑑賞や参加をしたことはない」が最も多く、次いで「直接見たことはないが、テレビやインターネットで見たり聞いたりしたことはある」が多くなっています。

(%)

	n	船橋市内 で鑑賞や 参加をし たことが ある	船橋市以 外で鑑賞 や参加を したことが ある	直接見た ことはない が、テレビ やインター ネットで見 たり聞いたり したことは ある	鑑賞や参 加をしたこ とはない	無回答
全 体	873	7.9	13.4	24.6	45.8	12.1
男	354	7.6	10.2	16.7	54.0	14.7
女	510	8.2	15.7	29.8	40.6	10.2

■年齢による集計結果

いずれの年代にも「鑑賞や参加をしたことはない」が最も多く、次いで「直接見たことはないが、テレビやインターネットで見たり聞いたりしたことはある」が多くなっています。

(%)

	n	船橋市内 で鑑賞や 参加をし たことが ある	船橋市以 外で鑑賞 や参加を したことが ある	直接見た ことはない が、テレビ やインター ネットで見 たり聞いたり したことは ある	鑑賞や参 加をしたこ とはない	無回答
全 体	873	7.9	13.4	24.6	45.8	12.1
18～19歳	25	4.0	12.0	32.0	52.0	0.0
20歳代	136	8.1	12.5	26.5	49.3	5.9
30歳代	75	5.3	12.0	22.7	58.7	2.7
40歳代	119	7.6	15.1	19.3	55.5	8.4
50歳代	143	12.6	12.6	23.8	44.8	9.8
60歳代	124	10.5	12.9	28.2	41.9	9.7
70歳以上	249	5.2	14.5	24.9	37.8	23.3

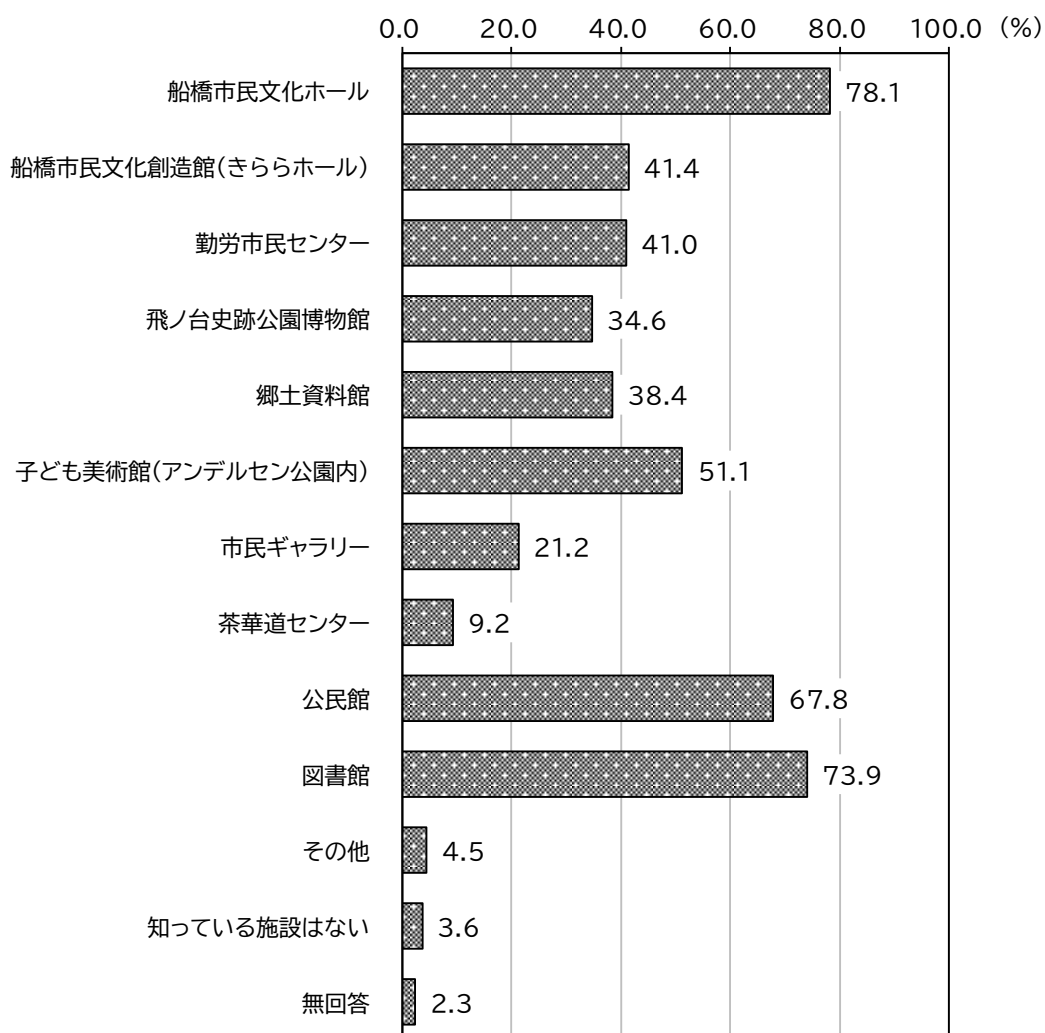
（６）文化施設や文化イベントについて

問 20：下記の船橋市内の文化芸術施設の中で、①ご存じの施設、②今までで訪れたことのある施設、③過去１年間で訪れたことのある施設について、それぞれお答えください。（それぞれ〇はいくつでも）

①ご存じの施設

「船橋市民文化ホール」が 78.1%で最も多く、次いで「図書館」が 73.9%、「公民館」が 67.8%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「船橋市民文化ホール」が最も多く、次いで「図書館」が多くなっています。

(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他	知っている施設はない	無回答
全 体	873	78.1	41.4	41.0	34.6	38.4	51.1	21.2	9.2	67.8	73.9	4.5	3.6	2.3
男	354	72.9	32.8	32.2	29.9	38.1	44.1	16.9	8.5	63.0	68.4	3.7	4.0	2.5
女	510	81.8	47.3	46.9	37.6	38.4	55.9	24.1	9.2	71.0	77.6	4.9	3.1	2.0

■年齢による集計結果

40 歳代以下では「図書館」が最も多く、50 歳代以上では「船橋市民文化ホール」が最も多くなっています。

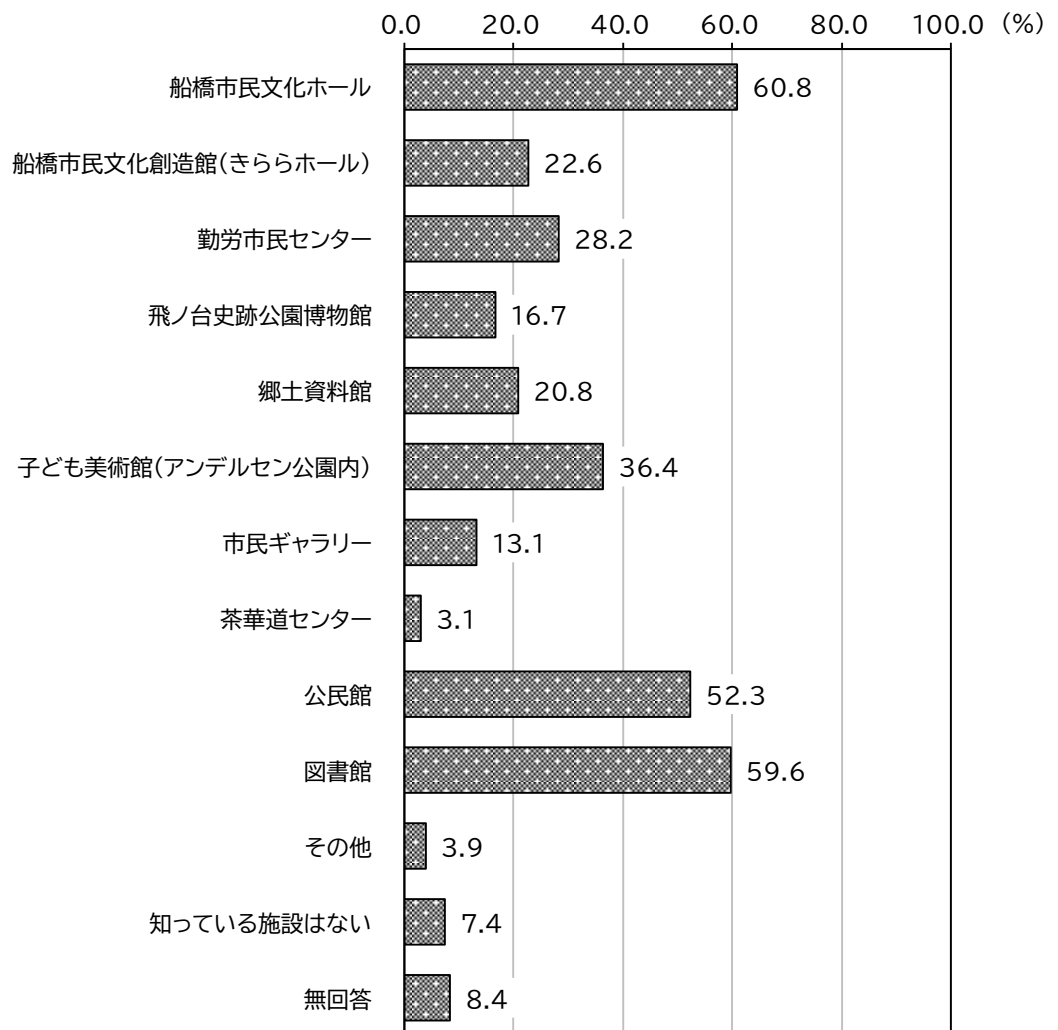
(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他	知っている施設はない	無回答
全 体	873	78.1	41.4	41.0	34.6	38.4	51.1	21.2	9.2	67.8	73.9	4.5	3.6	2.3
18～19歳	25	60.0	24.0	28.0	44.0	28.0	72.0	16.0	12.0	72.0	80.0	8.0	8.0	4.0
20歳代	136	64.7	30.1	25.7	35.3	36.8	58.1	16.9	6.6	62.5	73.5	2.9	8.8	1.5
30歳代	75	61.3	28.0	24.0	21.3	26.7	46.7	8.0	5.3	58.7	70.7	5.3	4.0	0.0
40歳代	119	78.2	37.8	36.1	37.0	37.8	60.5	16.0	10.1	70.6	79.0	2.5	2.5	0.8
50歳代	143	84.6	44.1	42.0	42.7	44.8	55.2	21.0	8.4	69.9	78.3	7.0	2.1	0.7
60歳代	124	89.5	48.4	47.6	37.9	42.7	51.6	29.0	14.5	71.0	78.2	7.3	2.4	2.4
70歳以上	249	83.1	50.2	54.6	30.1	38.2	39.8	26.5	8.8	69.1	67.5	2.8	2.0	4.4

②今までで訪れたことのある施設

「船橋市民文化ホール」が60.8%で最も多く、次いで「図書館」が59.6%、「公民館」が52.3%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「船橋市民文化ホール」が最も多く、次いで「図書館」が多くなっています。

(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他	知っている施設はない	無回答
全 体	873	60.8	22.6	28.2	16.7	20.8	36.4	13.1	3.1	52.3	59.6	3.9	7.4	8.4
男	354	53.1	17.8	18.6	15.5	20.6	29.7	11.0	3.1	46.9	52.3	3.4	9.6	10.7
女	510	66.1	25.9	34.3	17.6	20.8	40.8	14.5	2.9	55.9	64.5	4.1	5.9	6.7

■年齢による集計結果

40 歳代以下では「図書館」が最も多く、50 歳代以上では「船橋市民文化ホール」が最も多くなっています。

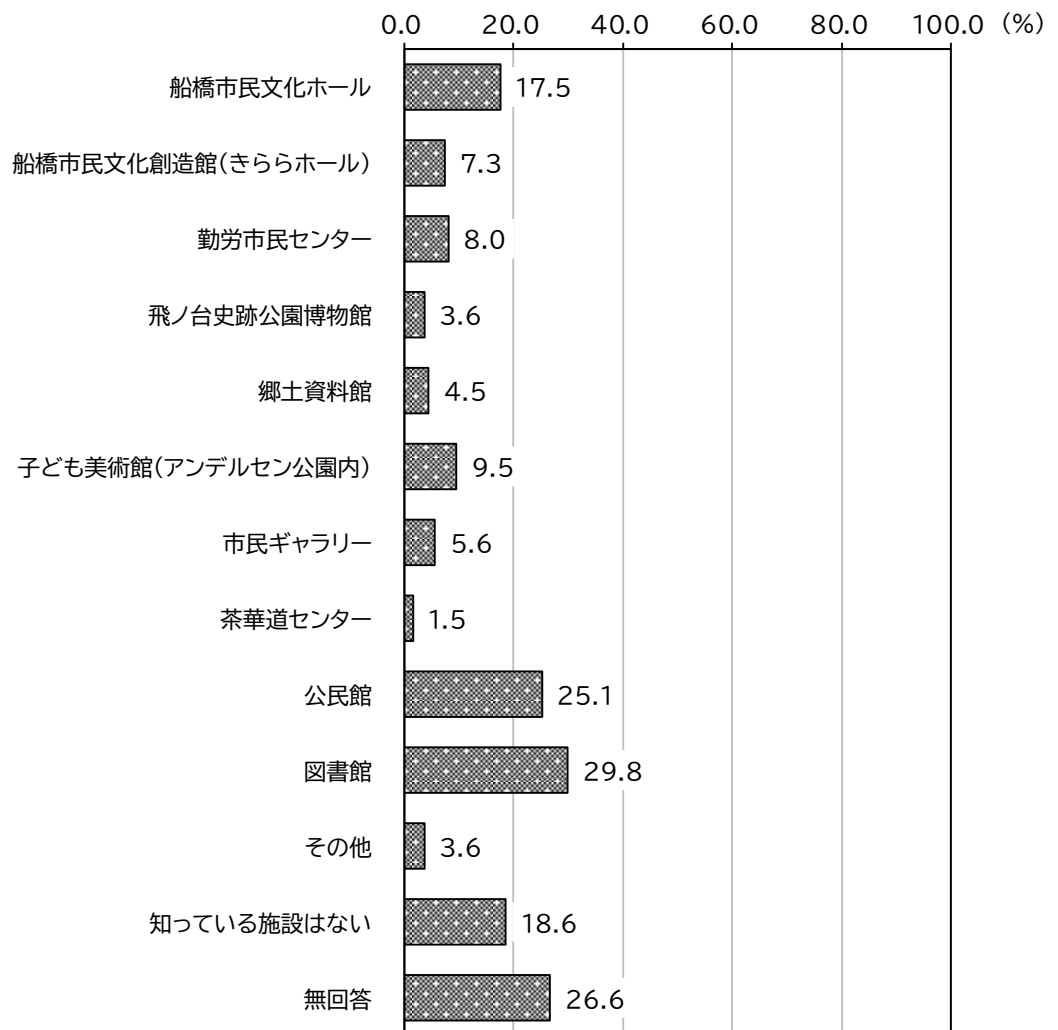
(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他	知っている施設はない	無回答
全 体	873	60.8	22.6	28.2	16.7	20.8	36.4	13.1	3.1	52.3	59.6	3.9	7.4	8.4
18～19歳	25	44.0	8.0	8.0	32.0	8.0	60.0	4.0	0.0	56.0	68.0	4.0	8.0	4.0
20歳代	136	51.5	16.9	15.4	23.5	24.3	40.4	8.1	2.2	44.9	58.8	2.9	17.6	5.9
30歳代	75	32.0	13.3	20.0	10.7	9.3	25.3	2.7	2.7	37.3	50.7	5.3	16.0	6.7
40歳代	119	59.7	21.0	27.7	15.1	17.6	47.9	8.4	4.2	56.3	66.4	0.8	7.6	2.5
50歳代	143	66.4	23.1	28.0	16.8	22.4	39.9	10.5	2.1	52.4	61.5	7.0	5.6	7.0
60歳代	124	69.4	23.4	30.6	16.9	22.6	39.5	18.5	4.8	53.2	58.9	5.6	4.0	10.5
70歳以上	249	69.5	30.1	39.0	14.1	23.3	26.5	20.5	3.2	58.2	57.8	2.8	2.0	12.9

③過去１年間で訪れたことのある施設

「図書館」が29.8%で最も多く、次いで「公民館」が25.1%、「船橋市民文化ホール」が17.5%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「図書館」が最も多くなっています。また、男性では「知っている施設はない」も多くなっています。

(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他	知っている施設はない	無回答
全 体	873	17.5	7.3	8.0	3.6	4.5	9.5	5.6	1.5	25.1	29.8	3.6	18.6	26.6
男	354	12.1	4.0	4.5	4.0	4.8	7.9	5.4	2.3	23.2	24.9	2.8	23.4	29.9
女	510	21.0	9.6	10.2	3.1	3.9	10.4	5.7	0.8	26.3	33.1	3.9	14.9	24.3

■年齢による集計結果

いずれの年代も「図書館」が多くなっています。70歳以上で「公民館」が最も多く、年齢が下がるごとに割合が低くなっています。また、30歳代以下で「知っている施設はない」が高くなっています。

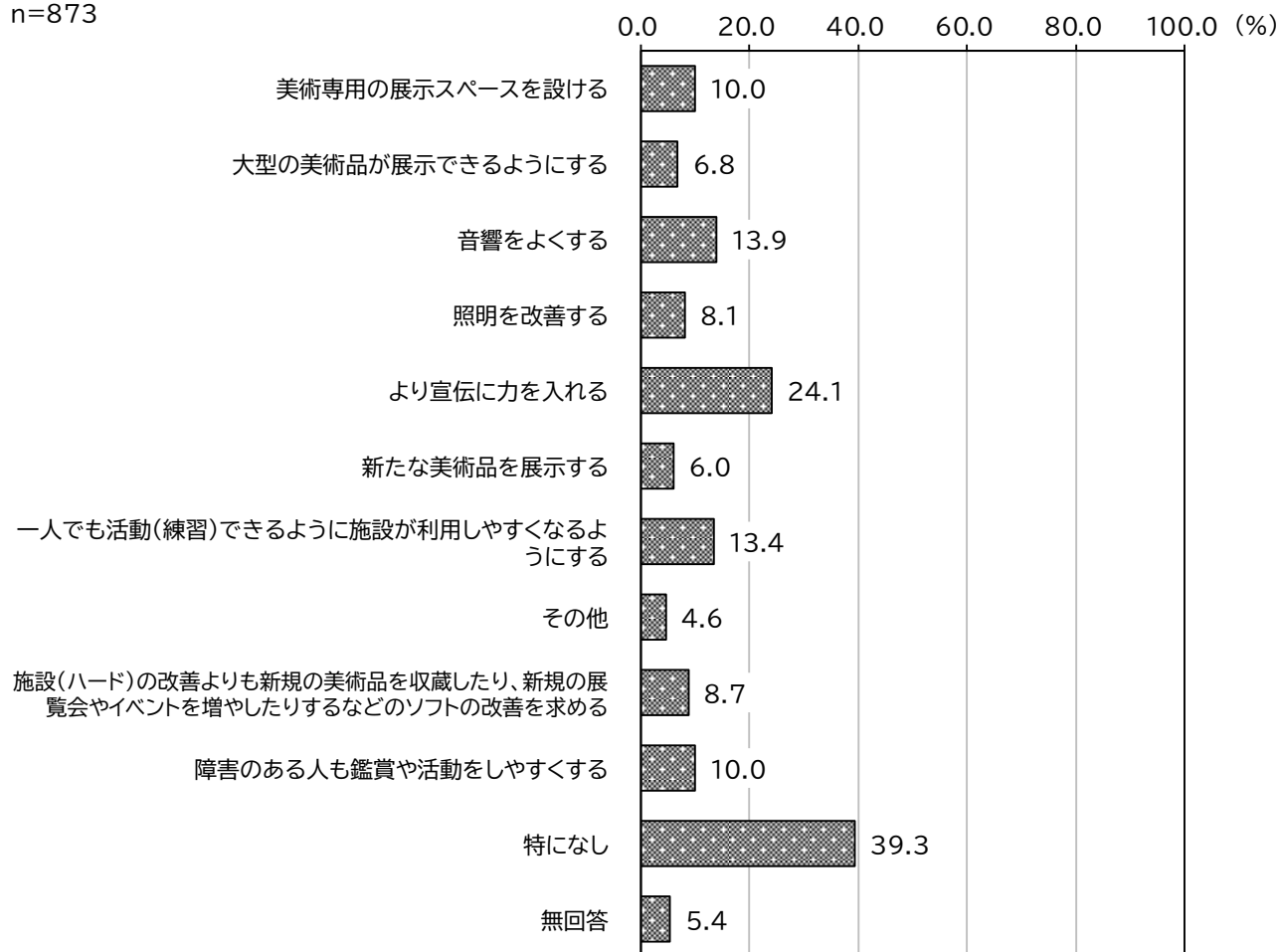
(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他	知っている施設はない	無回答
全 体	873	17.5	7.3	8.0	3.6	4.5	9.5	5.6	1.5	25.1	29.8	3.6	18.6	26.6
18～19歳	25	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	12.0	20.0	4.0	52.0	8.0
20歳代	136	10.3	5.1	2.9	4.4	4.4	7.4	2.2	1.5	14.7	29.4	2.2	34.6	16.2
30歳代	75	13.3	8.0	8.0	6.7	4.0	14.7	2.7	2.7	21.3	29.3	5.3	34.7	13.3
40歳代	119	26.9	7.6	10.9	4.2	2.5	20.2	5.0	2.5	26.9	36.1	0.8	26.1	12.6
50歳代	143	11.9	6.3	7.7	2.8	5.6	5.6	4.2	0.7	16.8	25.9	6.3	15.4	32.9
60歳代	124	18.5	4.8	7.3	3.2	2.4	6.5	6.5	1.6	27.4	29.0	5.6	11.3	27.4
70歳以上	249	22.5	10.8	10.4	2.8	6.4	7.6	9.6	1.2	36.1	30.9	2.4	3.6	40.2

問 21：船橋市内の文化芸術施設で改善してほしいものはありますか。（〇はいくつでも）

「特になし」が 39.3%で最も多くなっています。改善してほしいものの中では、「より宣伝に力を入れる」が 24.1%で最も多く、次いで「音響をよくする」が 13.9%、「一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする」が 13.4%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「特になし」が最も多くなっています。改善してほしいものの中では、「より宣伝に力を入れる」が多くなっています。

(%)

	n	美術専用の展示スペースを設ける	大型の美術品が展示できるようにする	音響をよくなる	照明を改善する	より宣伝に力を入れる	新たな美術品を展示する	一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする	その他	施設（ハード）の改善よりも新規の美術品を収蔵したり、新規の展覧会やイベントを増やしたりするなどのソフトの改善を求める	障害のある人も鑑賞や活動をしやすくなる	特になし	無回答
全 体	873	10.0	6.8	13.9	8.1	24.1	6.0	13.4	4.6	8.7	10.0	39.3	5.4
男	354	9.6	6.5	9.6	5.4	26.6	5.9	13.0	3.4	7.3	9.0	41.0	5.6
女	510	10.0	6.9	16.3	9.8	22.2	5.7	13.7	5.5	9.6	10.4	38.6	5.1

■年齢による集計結果

20歳代以上では「特になし」が最も多くなっていますが、18～19歳では「より宣伝に力を入れる」が最も多くなっています。また、18～19歳は「新たな美術品を展示する」も多くなっています。

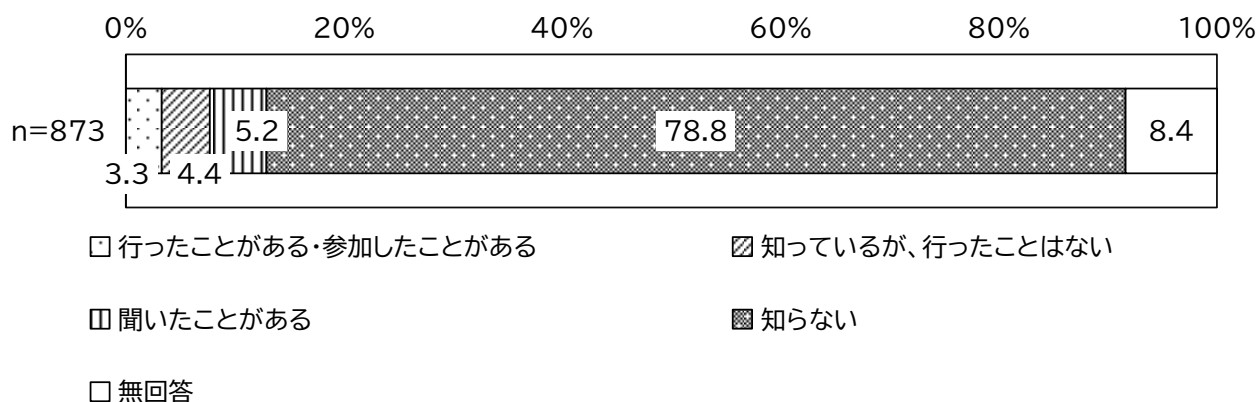
(%)

	n	美術専用の展示スペースを設ける	大型の美術品が展示できるようにする	音響をよくなる	照明を改善する	より宣伝に力を入れる	新たな美術品を展示する	一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする	その他	施設（ハード）の改善よりも新規の美術品を収蔵したり、新規の展覧会やイベントを増やしたりするなどのソフトの改善を求める	障害のある人も鑑賞や活動をしやすくなる	特になし	無回答
全 体	873	10.0	6.8	13.9	8.1	24.1	6.0	13.4	4.6	8.7	10.0	39.3	5.4
18～19歳	25	20.0	20.0	16.0	20.0	36.0	32.0	16.0	4.0	16.0	4.0	28.0	0.0
20歳代	136	8.1	10.3	12.5	9.6	20.6	8.1	14.0	4.4	8.8	4.4	42.6	2.9
30歳代	75	9.3	8.0	14.7	4.0	18.7	2.7	16.0	2.7	5.3	4.0	50.7	1.3
40歳代	119	9.2	5.9	14.3	9.2	20.2	5.0	11.8	9.2	7.6	12.6	39.5	2.5
50歳代	143	8.4	5.6	14.7	9.1	29.4	3.5	16.8	4.9	9.8	11.2	37.8	2.1
60歳代	124	11.3	4.0	15.3	9.7	30.6	4.0	11.3	4.0	13.7	11.3	35.5	3.2
70歳以上	249	10.8	5.6	12.9	5.6	22.1	6.0	12.0	3.2	6.4	12.9	38.2	12.0

問 22：下記のイベントについて知っていますか。（各イベントに○は1つ）

船橋市所蔵作品展

「知らない」が78.8%で最も多く、次いで「聞いたことがある」が5.2%、「知っているが、行ったことはない」が4.4%、「行ったことがある・参加したことがある」が3.3%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「知らない」が最も多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	3.3	4.4	5.2	78.8	8.4
男	354	3.1	5.4	4.8	79.7	7.1
女	510	3.5	3.7	4.9	78.6	9.2

■年齢による集計結果

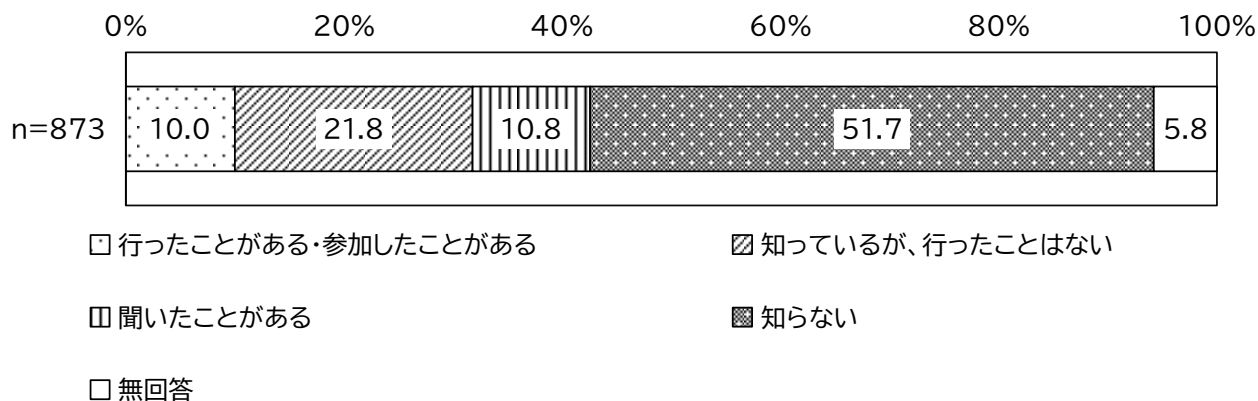
いずれの年代も「知らない」が最も多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	3.3	4.4	5.2	78.8	8.4
18～19歳	25	0.0	12.0	12.0	76.0	0.0
20歳代	136	2.2	2.2	5.1	86.8	3.7
30歳代	75	0.0	4.0	1.3	92.0	2.7
40歳代	119	0.8	2.5	2.5	91.6	2.5
50歳代	143	3.5	2.8	6.3	83.9	3.5
60歳代	124	4.0	6.5	5.6	78.2	5.6
70歳以上	249	6.0	5.6	6.0	62.2	20.1

音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭

「知らない」が51.7%で最も多く、次いで「知っているが、行ったことはない」が21.8%、「聞いたことがある」が10.8%、「行ったことがある・参加したことがある」が10.0%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「知らない」が最も多くなっています。また、「知っているが、行ったことはない」も多くなっています。

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	10.0	21.8	10.8	51.7	5.8
男	354	7.3	15.3	8.5	63.3	5.6
女	510	11.6	26.1	12.2	44.3	5.9

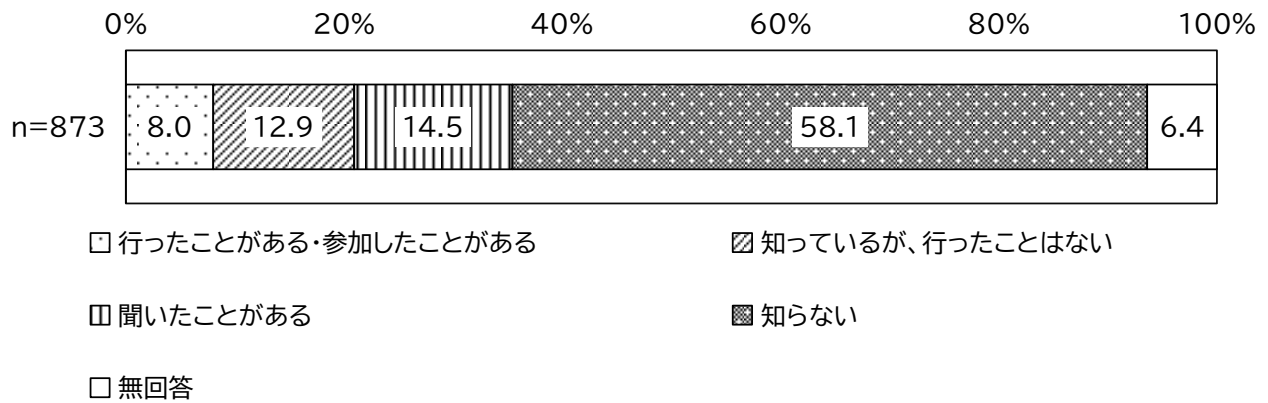
■年齢による集計結果

いずれの年代も「知らない」が最も多くなっています。また、30歳代以外で「知っているが、行ったことはない」も多くなっており、50歳代以上で20%を超えています。

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	10.0	21.8	10.8	51.7	5.8
18～19歳	25	16.0	16.0	4.0	64.0	0.0
20歳代	136	12.5	18.4	9.6	56.6	2.9
30歳代	75	9.3	5.3	6.7	77.3	1.3
40歳代	119	8.4	16.8	9.2	63.0	2.5
50歳代	143	8.4	28.0	12.6	49.0	2.1
60歳代	124	9.7	29.8	8.1	50.0	2.4
70歳以上	249	10.0	24.1	14.1	37.3	14.5

地域ふれあいコンサート（公民館）

「知らない」が58.1%で最も多く、次いで「聞いたことがある」が14.5%、「知っているが、行ったことはない」が12.9%、「行ったことがある・参加したことがある」が8.0%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「知らない」が最も多くなっています。また、「聞いたことがある」も多くなっています。

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	8.0	12.9	14.5	58.1	6.4
男	354	4.0	9.9	13.0	66.7	6.5
女	510	11.0	14.7	15.7	52.4	6.3

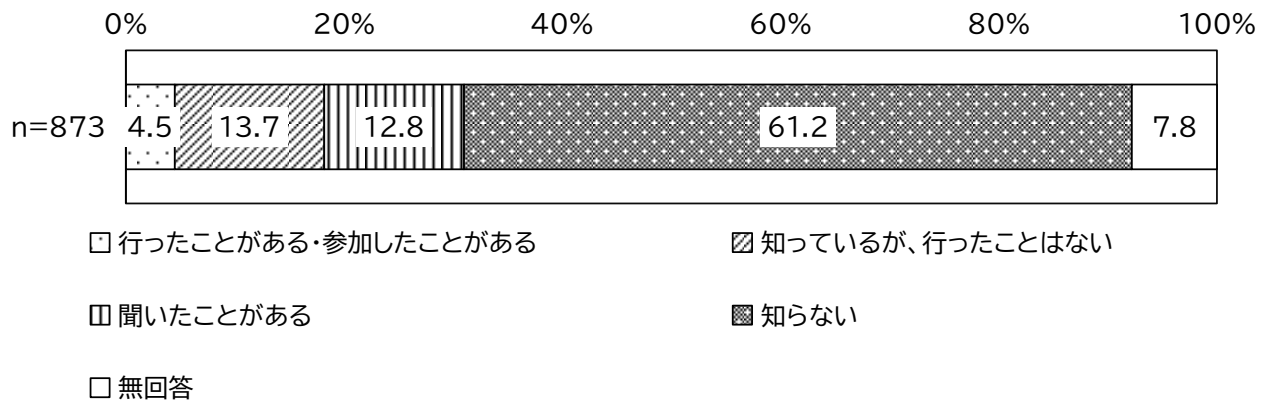
■年齢による集計結果

いずれの年代も「知らない」が最も多くなっています。また、「聞いたことがある」も多くなっており、18～19歳で24.0%となっています。

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	8.0	12.9	14.5	58.1	6.4
18～19歳	25	0.0	8.0	24.0	68.0	0.0
20歳代	136	5.1	8.1	13.2	69.9	3.7
30歳代	75	1.3	8.0	17.3	70.7	2.7
40歳代	119	4.2	10.1	15.1	68.9	1.7
50歳代	143	4.2	15.4	14.7	62.2	3.5
60歳代	124	10.5	16.9	18.5	52.4	1.6
70歳以上	249	15.3	15.7	10.8	42.6	15.7

ふなばしミュージックストリート

「知らない」が61.2%で最も多く、次いで「知っているが、行ったことはない」が13.7%、「聞いたことがある」が12.8%、「行ったことがある・参加したことがある」が4.5%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「知らない」が最も多くなっています。また、女性では「知っているが、行ったことはない」(17.1%) も多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	4.5	13.7	12.8	61.2	7.8
男	354	4.8	9.0	10.7	68.4	7.1
女	510	4.3	17.1	13.9	56.5	8.2

■年齢による集計結果

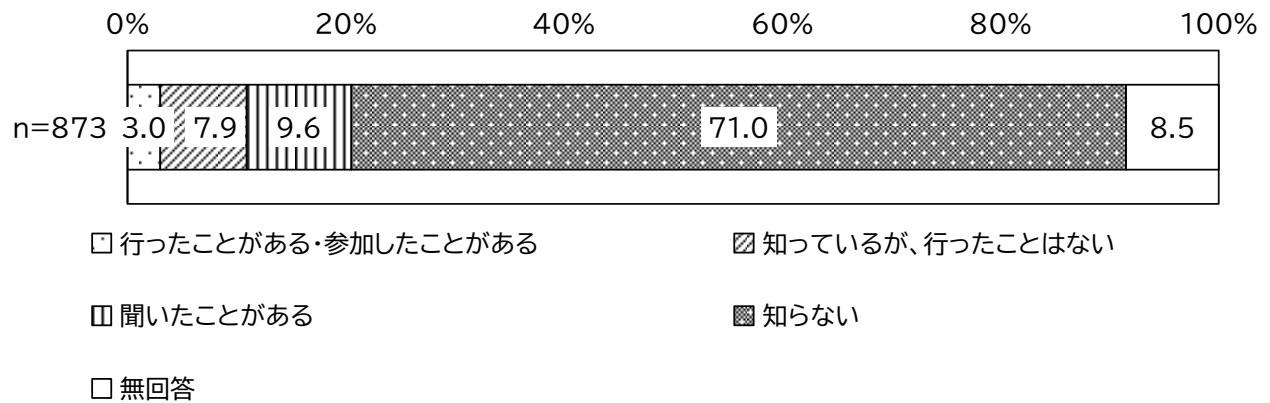
いずれの年代も「知らない」が最も多くなっています。60歳代では「知っているが、行ったことはない」は22.6%と多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	4.5	13.7	12.8	61.2	7.8
18～19歳	25	0.0	4.0	12.0	84.0	0.0
20歳代	136	4.4	10.3	11.0	70.6	3.7
30歳代	75	2.7	2.7	10.7	81.3	2.7
40歳代	119	5.0	11.8	14.3	67.2	1.7
50歳代	143	4.9	16.8	16.8	59.4	2.1
60歳代	124	4.0	22.6	8.9	59.7	4.8
70歳以上	249	5.2	14.9	13.7	46.6	19.7

まちかど音楽ステージ

「知らない」が71.0%で最も多く、次いで「聞いたことがある」が9.6%、「知っているが、行ったことはない」が7.9%、「行ったことがある・参加したことがある」が3.0%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「知らない」が最も多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	3.0	7.9	9.6	71.0	8.5
男	354	2.8	6.2	10.7	73.7	6.5
女	510	3.1	9.0	8.6	69.4	9.8

■年齢による集計結果

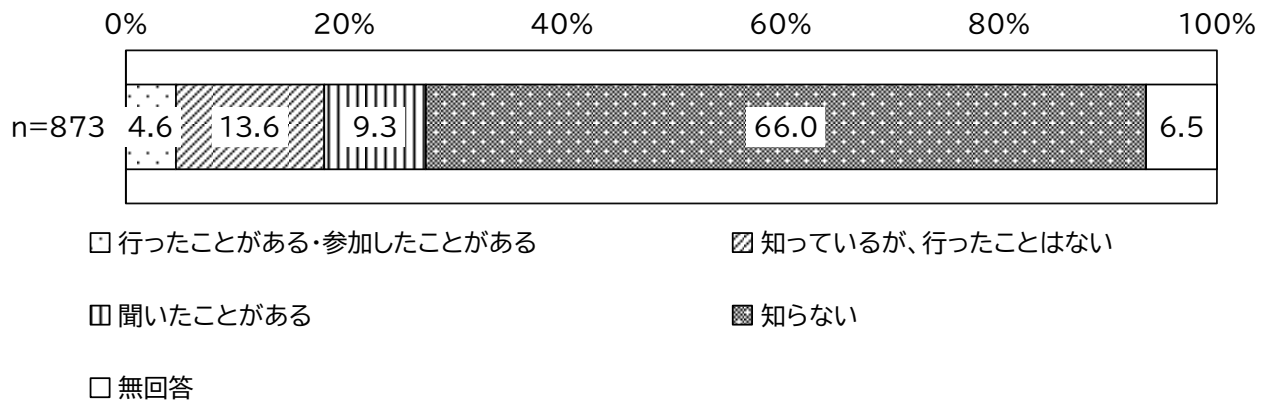
いずれの年代も「知らない」が最も多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	3.0	7.9	9.6	71.0	8.5
18～19歳	25	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	136	2.2	5.9	7.4	82.4	2.2
30歳代	75	2.7	1.3	8.0	85.3	2.7
40歳代	119	2.5	6.7	9.2	79.0	2.5
50歳代	143	2.1	7.0	11.2	76.2	3.5
60歳代	124	2.4	13.7	14.5	63.7	5.6
70歳以上	249	4.8	10.0	9.2	54.6	21.3

船橋市役所ロビーコンサート

「知らない」が66.0%で最も多く、次いで「知っているが、行ったことはない」が13.6%、「聞いたことがある」が9.3%、「行ったことがある・参加したことがある」が4.6%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「知らない」が最も多くなっています。また、女性では「知っているが、行ったことはない」(16.5%) も多くなっています。

(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	4.6	13.6	9.3	66.0	6.5
男	354	3.1	9.0	8.2	74.3	5.4
女	510	5.7	16.5	10.0	60.6	7.3

■年齢による集計結果

いずれの年代も「知らない」が最も多くなっています。また、「知っているが、行ったことはない」は年齢が上がるごとに多くなる傾向にあり、70歳以上で22.9%となっています。

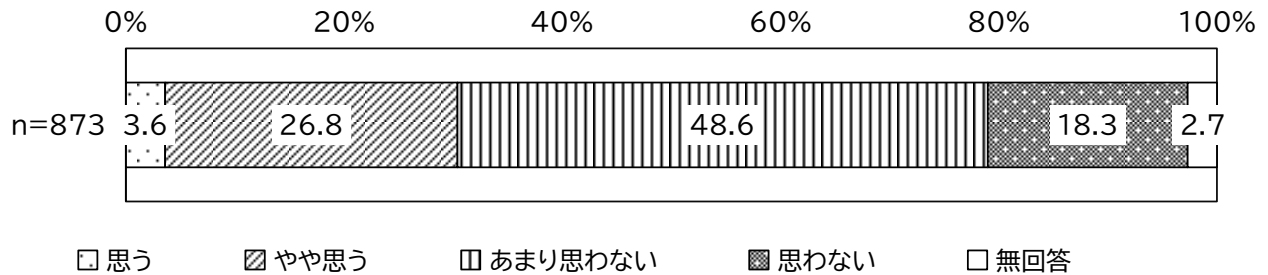
(%)

	n	行ったことがある・参加したことがある	知っているが、行ったことはない	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	873	4.6	13.6	9.3	66.0	6.5
18～19歳	25	0.0	0.0	4.0	96.0	0.0
20歳代	136	0.0	7.4	5.1	83.8	3.7
30歳代	75	1.3	4.0	5.3	88.0	1.3
40歳代	119	0.8	6.7	6.7	83.2	2.5
50歳代	143	4.2	14.0	11.2	67.1	3.5
60歳代	124	8.9	16.9	13.7	55.6	4.8
70歳以上	249	8.4	22.9	10.8	43.4	14.5

(7) 地域の文化に関するイメージについて

問 23 (1)：あなたは船橋市を「市民の文化活動や市の文化事業に対する取組が盛んなまち」だと思いますか。(○は1つ)

「あまり思わない」(48.6%)と「思わない」(18.3%)を合わせた『思わない』が66.9%、「やや思う」(26.8%)と「思う」(3.6%)を合わせた『思う』が30.4%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに『思わない』が多くなっています。

(%)

	n	思う	やや思う	あまり思 わない	思わない	無回答
全 体	873	3.6	26.8	48.6	18.3	2.7
男	354	4.0	24.9	47.5	20.1	3.7
女	510	3.3	27.6	49.6	17.3	2.2

■年齢による集計結果

いずれの年代も『思わない』が多くなっています。また、『思う』では、18～19歳が40.0%、20歳代が37.5%と他の年代よりやや高くなっています。

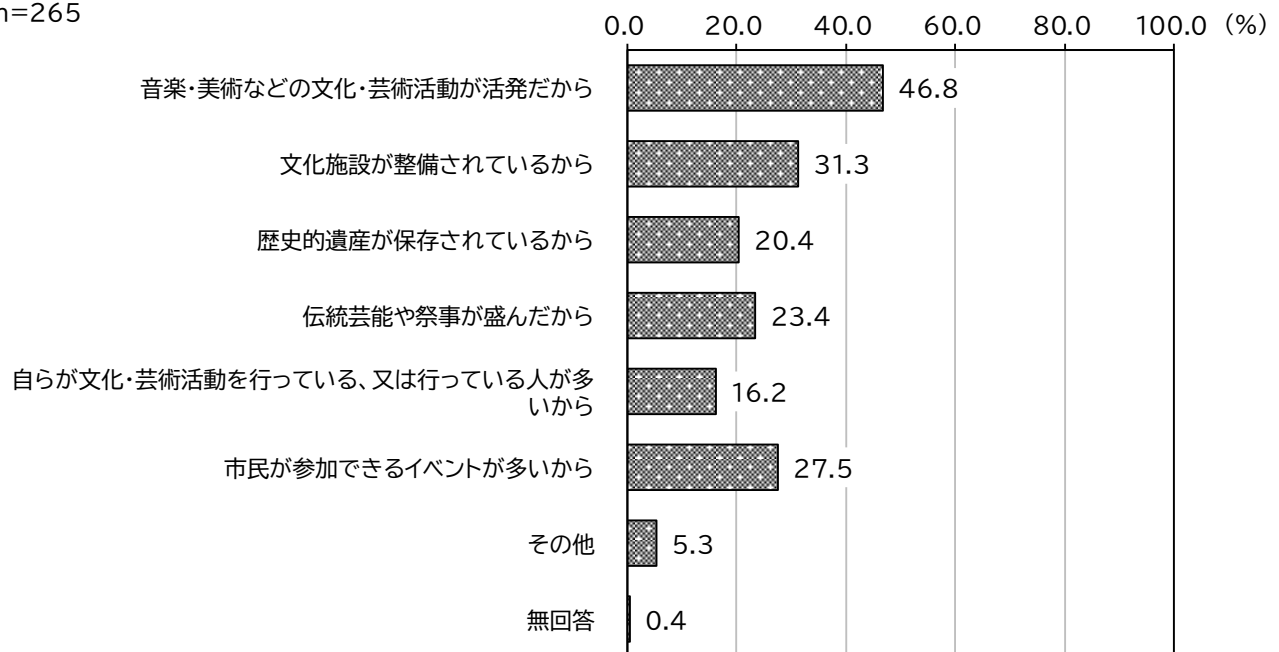
(%)

	n	思う	やや思う	あまり思 わない	思わない	無回答
全 体	873	3.6	26.8	48.6	18.3	2.7
18～19歳	25	8.0	32.0	56.0	4.0	0.0
20歳代	136	2.9	34.6	47.1	14.0	1.5
30歳代	75	2.7	20.0	60.0	16.0	1.3
40歳代	119	2.5	24.4	47.9	23.5	1.7
50歳代	143	1.4	21.7	53.8	23.1	0.0
60歳代	124	2.4	31.5	40.3	23.4	2.4
70歳以上	249	6.0	25.7	46.6	15.3	6.4

問 23（２）：問 23（１）で「１．思う」「２．やや思う」を選んだ方にお聞きします。
その理由としてあてはまるものを、次の中から３つまで選んでください。

「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから」が 46.8%で最も多く、次いで「文化施設が整備されているから」が 31.3%、「市民が参加できるイベントが多いから」が 27.5%となっています。

n=265



■性別による集計結果

男女ともに「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから」が最も多く、次いで「文化施設が整備されているから」が多くなっています。

(%)

	n	音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから	文化施設が整備されているから	歴史的遺産が保存されているから	伝統芸能や祭事が盛んだから	自らが文化・芸術活動を行っている、又は行っている人が多いから	市民が参加できるイベントが多いから	その他	無回答
全 体	265	46.8	31.3	20.4	23.4	16.2	27.5	5.3	0.4
男	102	44.1	30.4	21.6	28.4	17.6	23.5	7.8	0.0
女	158	48.7	32.3	20.3	19.0	15.2	30.4	3.8	0.6

■年齢による集計結果

多くの年代で、「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから」や「文化施設が整備されているから」が多くなっています。また、40歳代以下で「市民が参加できるイベントが多いから」も多くなっています。

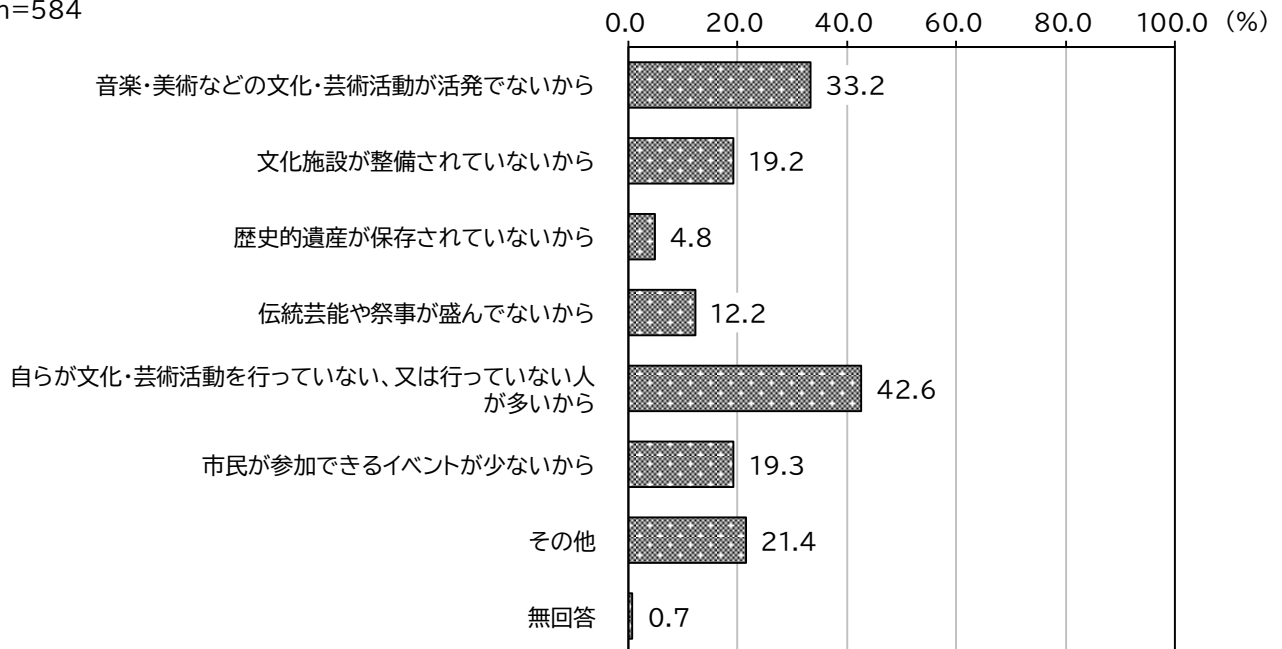
(%)

	n	音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから	文化施設が整備されているから	歴史的遺産が保存されているから	伝統芸能や祭事が盛んだから	自らが文化・芸術活動を行っている、又は行っている人が多いから	市民が参加できるイベントが多いから	その他	無回答
全 体	265	46.8	31.3	20.4	23.4	16.2	27.5	5.3	0.4
18～19歳	10	20.0	60.0	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	0.0
20歳代	51	43.1	25.5	13.7	15.7	15.7	29.4	13.7	0.0
30歳代	17	29.4	29.4	23.5	23.5	29.4	35.3	0.0	0.0
40歳代	32	40.6	25.0	21.9	18.8	15.6	25.0	15.6	0.0
50歳代	33	60.6	27.3	9.1	21.2	27.3	24.2	0.0	0.0
60歳代	42	52.4	23.8	26.2	28.6	9.5	19.0	0.0	0.0
70歳以上	79	50.6	40.5	24.1	29.1	12.7	31.6	1.3	1.3

問 23（3）：問 23（1）で「3. あまり思わない」「4. 思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由としてあてはまるものを、次の中から3つまで選んでください。

「自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから」が42.6%で最も多く、次いで「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから」が33.2%、「その他」が21.4%となっています。

n=584



■性別による集計結果

男女ともに「自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから」が最も多く、次いで「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから」が多くなっています。

(%)

	n	音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから	文化施設が整備されていないから	歴史的遺産が保存されていないから	伝統芸能や祭事が盛んでないから	自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから	市民が参加できるイベントが少ないから	その他	無回答
全 体	584	33.2	19.2	4.8	12.2	42.6	19.3	21.4	0.7
男	239	32.6	16.3	5.0	13.4	42.7	21.8	21.8	0.8
女	341	33.7	20.8	4.7	11.4	42.5	17.9	20.8	0.6

■年齢による集計結果

いずれの年代も「自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから」や「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから」が多くなっています。

(%)

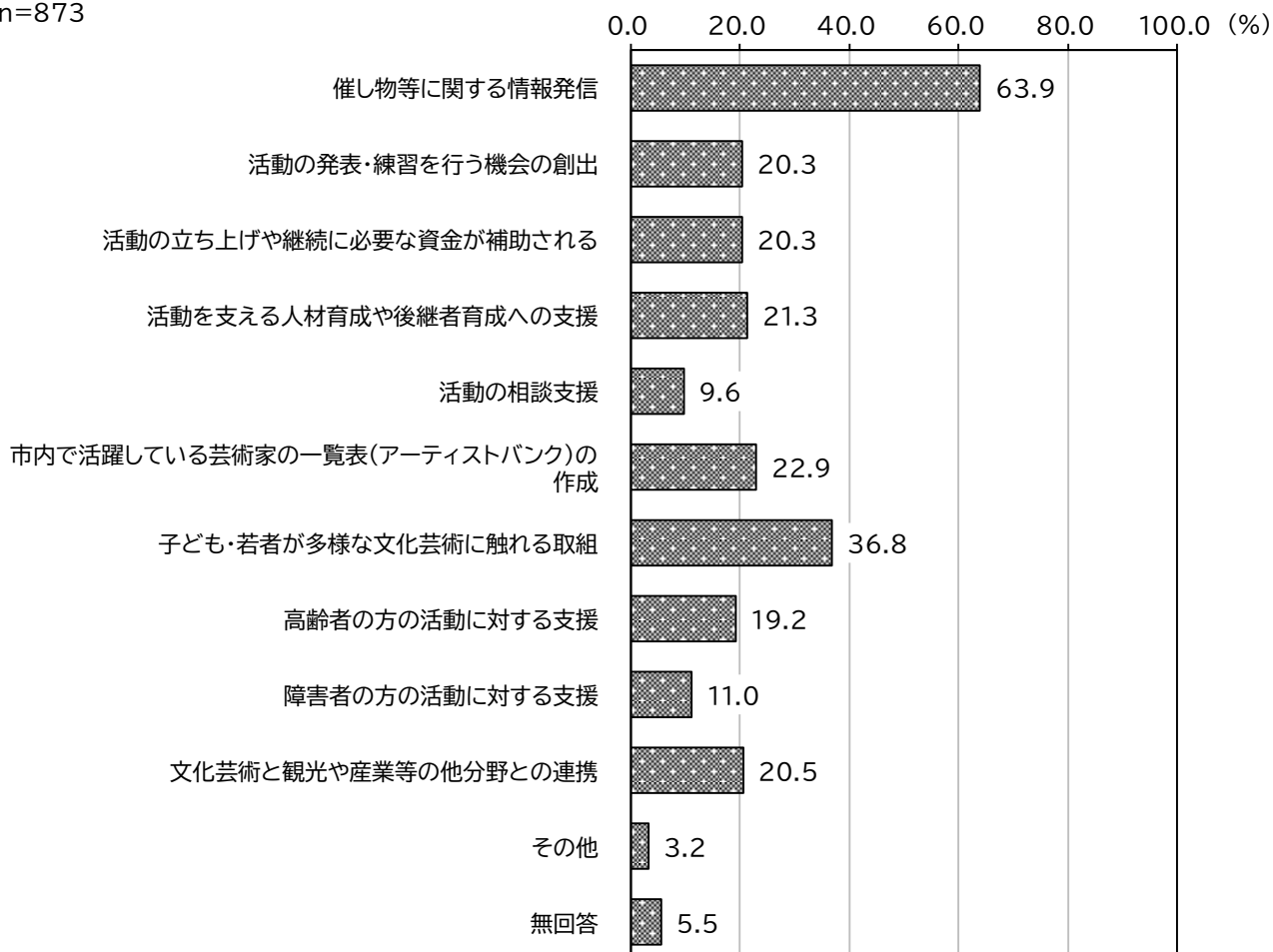
	n	音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから	文化施設が整備されていないから	歴史的遺産が保存されていないから	伝統芸能や祭事が盛んでないから	自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから	市民が参加できるイベントが少ないから	その他	無回答
全 体	584	33.2	19.2	4.8	12.2	42.6	19.3	21.4	0.7
18～19歳	15	60.0	13.3	6.7	26.7	40.0	20.0	6.7	0.0
20歳代	83	31.3	14.5	4.8	13.3	39.8	13.3	28.9	0.0
30歳代	57	28.1	12.3	5.3	5.3	36.8	17.5	33.3	0.0
40歳代	85	25.9	10.6	3.5	8.2	42.4	17.6	29.4	1.2
50歳代	110	29.1	17.3	3.6	11.8	44.5	17.3	22.7	0.0
60歳代	79	41.8	24.1	5.1	8.9	50.6	21.5	17.7	0.0
70歳以上	154	36.4	27.9	5.8	16.9	41.6	24.7	11.0	1.9

（８）文化振興について

問 24：文化芸術を鑑賞したり、活動したりするために、あると良いと思う市の支援等がありますか。（〇はいくつでも）

「催し物等に関する情報発信」が63.9%で最も多く、次いで「子ども・若者が多様な文化芸術に触れる取組」が36.8%、「市内で活躍している芸術家の一覧表（アーティストバンク）の作成」が22.9%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「催し物等に関する情報発信」が最も多く、次いで「子ども・若者が多様な文化芸術に触れる取組」が多くなっています。

(%)

	n	催し物等に関する情報発信	活動の発表・練習を行う機会の創出	活動の立ち上げや継続に必要な資金が補助される	活動を支える人材育成や後継者育成への支援	活動の相談支援	市内で活躍している芸術家の一覧表（アーティストバンク）の作成	子ども・若者が多様な文化芸術に触れる取組	高齢者の方の活動に対する支援	障害者の方の活動に対する支援	文化芸術と観光や産業等との連携	その他	無回答
全 体	873	63.9	20.3	20.3	21.3	9.6	22.9	36.8	19.2	11.0	20.5	3.2	5.5
男	354	63.8	20.3	21.2	20.6	12.4	21.8	33.9	20.3	12.7	20.1	3.7	5.6
女	510	63.9	20.0	19.4	21.2	7.6	23.7	38.6	18.6	9.4	20.8	2.7	5.5

■年齢による集計結果

20 歳代以上で「催し物等に関する情報発信」が最も多くなっています。また、70 歳以上では「高齢者の方の活動に対する支援」が多くなっています。

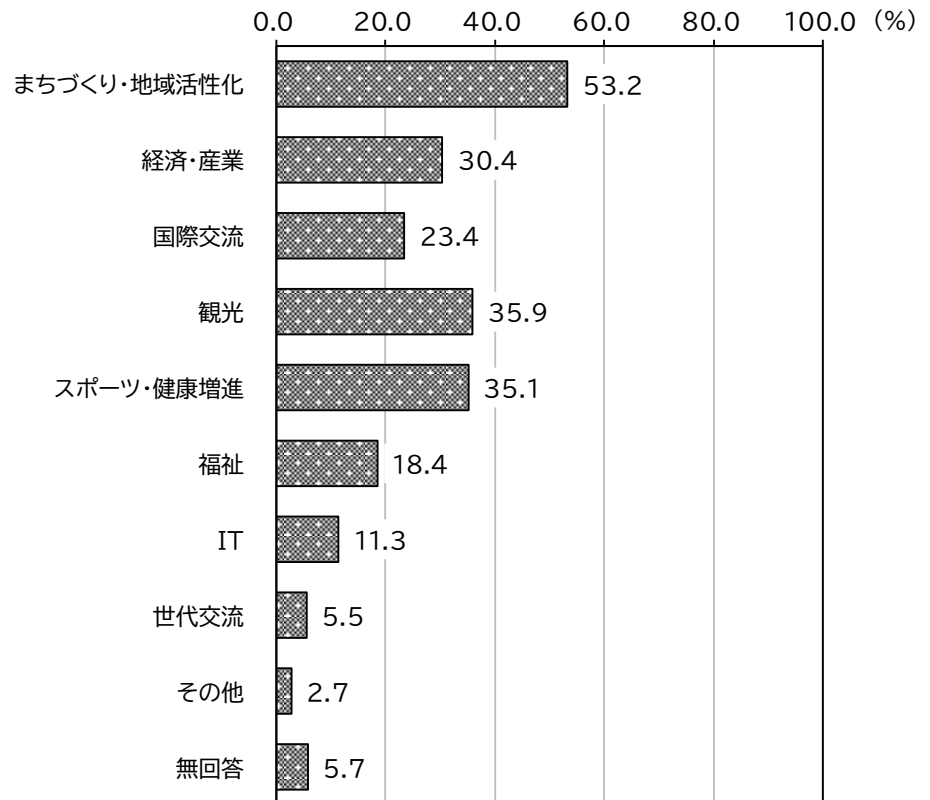
(%)

	n	催し物等に関する情報発信	活動の発表・練習を行う機会の創出	活動の立ち上げや継続に必要な資金が補助される	活動を支える人材育成や後継者育成への支援	活動の相談支援	市内で活躍している芸術家の一覧表（アーティストバンク）の作成	子ども・若者が多様な文化芸術に触れる取組	高齢者の方の活動に対する支援	障害者の方の活動に対する支援	文化芸術と観光や産業等との連携	その他	無回答
全 体	873	63.9	20.3	20.3	21.3	9.6	22.9	36.8	19.2	11.0	20.5	3.2	5.5
18～19歳	25	44.0	32.0	32.0	24.0	16.0	28.0	56.0	12.0	12.0	28.0	0.0	0.0
20歳代	136	64.0	25.7	25.0	22.1	7.4	17.6	50.0	5.9	8.1	23.5	0.7	1.5
30歳代	75	62.7	20.0	25.3	17.3	8.0	16.0	53.3	6.7	6.7	17.3	2.7	0.0
40歳代	119	73.1	25.2	21.8	18.5	9.2	25.2	46.2	12.6	10.1	16.0	3.4	1.7
50歳代	143	68.5	23.1	18.2	20.3	12.6	28.7	32.2	17.5	11.9	24.5	4.9	1.4
60歳代	124	69.4	17.7	16.9	22.6	11.3	24.2	33.1	25.8	13.7	25.8	4.0	3.2
70歳以上	249	57.0	13.3	16.9	22.9	8.4	22.5	22.9	32.1	12.0	16.5	3.6	15.3

問 25：次の分野で文化芸術を活かした方がよいと感じるものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

「まちづくり・地域活性化」が53.2%で最も多く、次いで「観光」が35.9%、「スポーツ・健康増進」が35.1%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「まちづくり・地域活性化」が最も多く、次いで「観光」が多くなっています。
(%)

	n	まちづくり・地域活性化 (例：ビルの公開空地を芸術創造の場として活用、祭りとのコラボレーション)	経済・産業 (例：企業のイベントと芸術祭のコラボ)	国際交流 (例：食を含む異文化体験・各国の民族楽器の紹介)	観光 (例：寺社仏閣をめぐるスタンプラリー、文化芸術の発進・交流拠点の創出)	スポーツ・健康増進 (例：スポーツイベントとのコラボ、健康・医療をテーマにした展覧会)	福祉 (例：児童、高齢者、障害者等の福祉施設へのアーティスト派遣)	I T (例：大型ビジョンでの作品紹介の演出)	世代交流 (例：世代を超えた美術に対する意見交換)	その他	無回答
全 体	873	53.2	30.4	23.4	35.9	35.1	18.4	11.3	5.5	2.7	5.7
男	354	53.1	28.2	20.3	36.4	34.5	15.8	13.3	7.9	4.0	5.9
女	510	53.1	31.4	25.5	35.7	35.5	20.4	9.8	3.9	2.0	5.5

■年齢による集計結果

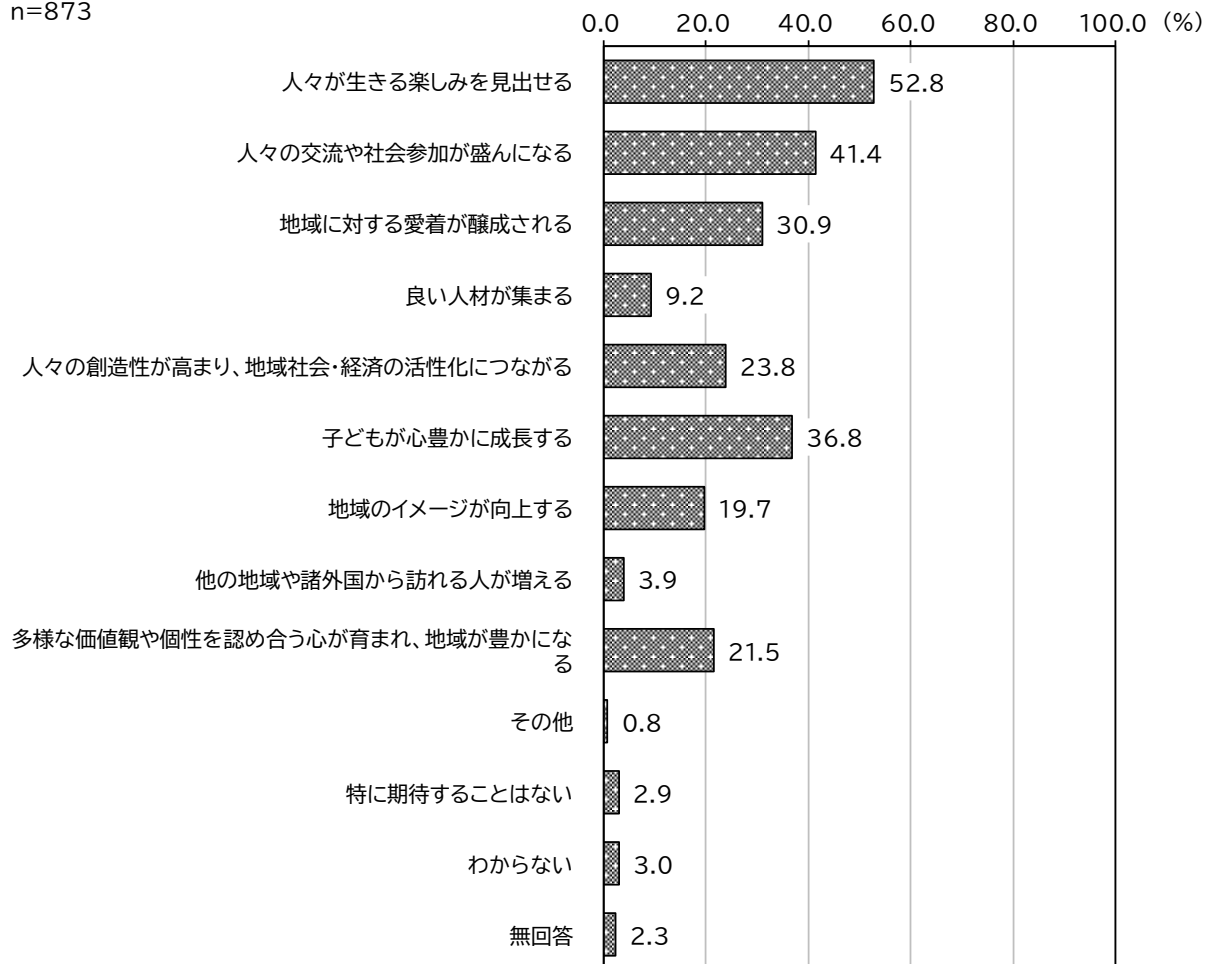
20 歳代以上で「まちづくり・地域活性化」が最も多くなっています。「観光」が18～19 歳で最も多く、20 歳代、30 歳代、60 歳代でも2 番目に多くなっています。また、40 歳代、50 歳代、70 歳以上で「スポーツ・健康増進」が2 番目に多くなっています。

	n	まちづくり・地域活性化 (例：ビルの公開空地を芸術創造の場として活用、祭りとのコラボレーション)	経済・産業 (例：企業のイベントと芸術祭のコラボ)	国際交流 (例：食を含む異文化体験・各国の民族楽器の紹介)	観光 (例：寺社仏閣をめぐるスタンプラリー、文化芸術の発進・交流拠点の創出)	スポーツ・健康増進 (例：スポーツイベントとのコラボ、健康・医療をテーマにした展覧会)	福祉 (例：児童、高齢者、障害者等の福祉施設へのアーティスト派遣)	I T (例：大型ビジョンでの作品紹介の演出)	世代交流 (例：世代を超えた美術に対する意見交換)	その他	無回答
全 体	873	53.2	30.4	23.4	35.9	35.1	18.4	11.3	5.5	2.7	5.7
18～19歳	25	52.0	32.0	36.0	68.0	16.0	20.0	20.0	8.0	0.0	0.0
20歳代	136	58.8	35.3	26.5	45.6	22.8	16.9	20.6	5.1	0.0	1.5
30歳代	75	57.3	28.0	24.0	42.7	41.3	16.0	16.0	8.0	4.0	0.0
40歳代	119	58.0	39.5	30.3	35.3	47.1	16.0	12.6	3.4	3.4	0.8
50歳代	143	49.7	33.6	23.8	37.8	38.5	14.0	11.2	4.2	4.9	2.8
60歳代	124	58.9	33.9	25.0	37.9	34.7	21.0	9.7	5.6	1.6	2.4
70歳以上	249	46.2	20.5	15.7	23.3	34.5	22.5	4.4	6.4	3.2	15.7

問 26：文化・芸術の振興を図ることにより、社会や地域にもたらされる効果としてあなたが期待するものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

「人々が生きる楽しみを見出せる」が52.8%で最も多く、次いで「人々の交流や社会参加が盛んになる」が41.4%、「子どもが心豊かに成長する」が36.8%となっています。

n=873



■性別による集計結果

男女ともに「人々が生きる楽しみを見出せる」が最も多く、次いで「人々の交流や社会参加が盛んになる」が多くなっています。

(%)

	n	人々が生きる楽しみを見出せる	人々の交流や社会参加が盛んになる	地域に対する愛着が醸成される	良い人材が集まる	人々の創造性が高まり、地域社会・経済の活性化につながる	子どもが心豊かに成長する	地域のイメージが向上する	他の地域や諸外国から訪れる人が増える	多様な価値観や個性を認め合う心が育まれ、地域が豊かになる	その他	特に期待することはない	わからない	無回答
全 体	873	52.8	41.4	30.9	9.2	23.8	36.8	19.7	3.9	21.5	0.8	2.9	3.0	2.3
男	354	47.2	41.8	33.9	11.3	19.8	36.4	20.1	5.1	20.6	1.4	3.1	3.4	2.8
女	510	56.7	40.8	29.4	7.8	26.7	36.7	19.2	2.9	22.4	0.4	2.7	2.7	1.8

■年齢による集計結果

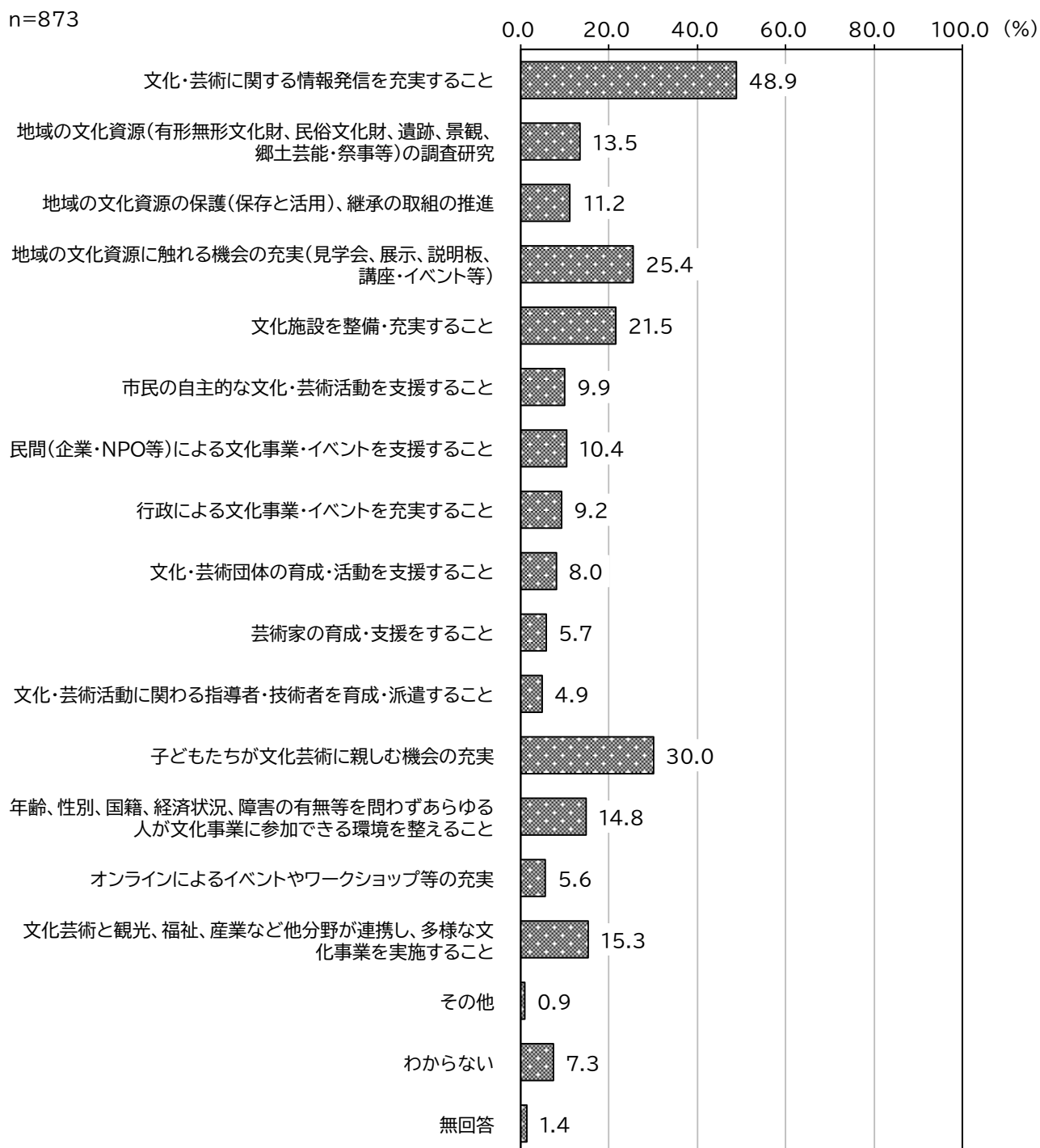
いずれの年代も「人々が生きる楽しみを見出せる」が多くなっています。また、40 歳代以下で「子どもが心豊かに成長する」が多く、とくに 30 歳代で 54.7%と最も多くなっています。

(%)

	n	人々が生きる楽しみを見出せる	人々の交流や社会参加が盛んになる	地域に対する愛着が醸成される	良い人材が集まる	人々の創造性が高まり、地域社会・経済の活性化につながる	子どもが心豊かに成長する	地域のイメージが向上する	他の地域や諸外国から訪れる人が増える	多様な価値観や個性を認め合う心が育まれ、地域が豊かになる	その他	特に期待することはない	わからない	無回答
全 体	873	52.8	41.4	30.9	9.2	23.8	36.8	19.7	3.9	21.5	0.8	2.9	3.0	2.3
18～19歳	25	60.0	60.0	28.0	12.0	20.0	48.0	4.0	8.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	136	44.9	41.2	25.7	14.7	24.3	41.9	23.5	7.4	17.6	0.7	2.9	1.5	1.5
30歳代	75	52.0	28.0	30.7	8.0	33.3	54.7	24.0	2.7	21.3	0.0	0.0	2.7	0.0
40歳代	119	54.6	42.9	36.1	12.6	22.7	47.9	21.8	3.4	20.2	2.5	1.7	0.0	0.8
50歳代	143	46.2	44.1	36.4	13.3	18.9	34.3	25.2	7.0	16.8	1.4	3.5	2.1	0.0
60歳代	124	58.1	45.2	36.3	5.6	26.6	23.4	17.7	1.6	23.4	0.0	4.8	4.0	2.4
70歳以上	249	57.0	39.8	25.7	4.0	23.3	30.1	14.9	1.6	26.9	0.4	3.2	5.6	5.2

問 27：船橋市の文化振興のために、今後力を入れていくべき取組はどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

「文化・芸術に関する情報発信を充実すること」が48.9%で最も多く、次いで「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が30.0%、「地域の文化資源に触れる機会の充実（見学会、展示、説明板、講座・イベント等）」が25.4%となっています。



■性別による集計結果

男女ともに「文化・芸術に関する情報発信を充実すること」が最も多くなっています。また、女性で「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が多くなっています。

(%)

	n	文化・芸術に関する情報発信を充実すること	地域の文化資源（有形無形文化財、民俗文化財、遺跡、景観、郷土芸能等）の調査研究	地域の文化資源の保護（保存と活用）、継承の取組の推進	地域の文化資源に触れる機会の充実（見学会、展示、説明会、講座・イベント等）	文化施設を整備・充実すること	市民の自主的な文化・芸術活動を支援すること	民間（企業・NPO等）による文化事業・イベントを支援すること	行政による文化事業・イベントを実施すること	文化・芸術団体の育成・活動を支援すること	芸術家の育成・支援すること	文化・芸術活動に関わる指導者・技術者を育成・派遣すること	子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実	年齢、性別、国籍、経済状況、障害の有無等を問わずあらゆる人が文化事業に参加できる環境を整えること
全 体	873	48.9	13.5	11.2	25.4	21.5	9.9	10.4	9.2	8.0	5.7	4.9	30.0	14.8
男	354	52.3	15.3	10.7	27.1	18.4	10.2	9.0	10.7	8.5	5.4	5.1	24.6	13.8
女	510	46.9	12.2	11.8	23.9	23.5	9.4	11.2	8.0	7.8	5.9	4.9	33.7	15.5

(%)

	n	オンラインによるイベントやワークショップ等の充実	文化芸術と観光、福祉、産業など他分野が連携し、多様な文化事業を実施すること	その他	わからない	無回答
全 体	164	5.6	15.3	0.9	7.3	1.4
男	60	6.5	12.4	1.7	7.6	1.4
女	104	5.1	17.5	0.4	7.1	1.4

■年齢による集計結果

いずれの年代も「文化・芸術に関する情報発信を充実すること」が多くなっています。また、20歳代～40歳代で「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」が多くなっており、特に30歳代で48.0%と最も多くなっています。

	n	文化・芸術に関する情報発信を充実すること	地域の文化資源（有形無形文化財、民俗文化財、遺跡、景観、郷土芸能・祭事等）の調査研究	地域の文化資源の保護（保存と活用）、継承の取組の推進	地域の文化資源に触れる機会の充実（見学会、展示、説明会、講座・イベント等）	文化施設を整備・充実すること	市民の自主的な文化・芸術活動を支援すること	民間（企業・NPO等）による文化事業・イベントを支援すること	行政による文化事業・イベントを充実すること	文化・芸術団体の育成・活動の支援すること	芸術家の育成・支援すること	文化・芸術活動に指導者・技術者を育成・派遣すること	子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実	(%) 年齢、性別、国籍、経済状況、障害の有無等を問わずあらゆる人が文化事業に参加できる環境を整えること
全 体	873	48.9	13.5	11.2	25.4	21.5	9.9	10.4	9.2	8.0	5.7	4.9	30.0	14.8
18～19歳	25	48.0	28.0	16.0	28.0	12.0	16.0	12.0	4.0	0.0	12.0	4.0	24.0	0.0
20歳代	136	50.0	11.0	16.9	25.0	20.6	7.4	11.8	7.4	10.3	6.6	4.4	32.4	11.8
30歳代	75	45.3	10.7	10.7	17.3	9.3	9.3	8.0	9.3	6.7	6.7	2.7	48.0	14.7
40歳代	119	53.8	9.2	9.2	21.8	24.4	11.8	10.9	7.6	4.2	12.6	5.0	43.7	15.1
50歳代	143	53.1	14.0	12.6	22.4	21.7	9.8	16.1	11.2	5.6	5.6	3.5	21.7	15.4
60歳代	124	53.2	12.1	7.3	30.6	22.6	9.7	8.9	7.3	10.5	1.6	8.1	18.5	16.9
70歳以上	249	42.6	16.9	9.6	28.9	24.1	10.0	7.2	10.8	10.0	3.2	5.2	28.1	16.5

	n	オンラインによるイベントやワークショップ等の充実	文化芸術と観光、福祉、産業など他分野が連携し、多様な文化事業を実施すること	その他	わからない	無回答
全 体	873	5.6	15.3	0.9	7.3	1.4
18～19歳	25	8.0	8.0	0.0	8.0	0.0
20歳代	136	7.4	14.7	0.7	5.1	0.7
30歳代	75	8.0	14.7	0.0	12.0	0.0
40歳代	119	5.0	16.0	2.5	2.5	0.0
50歳代	143	7.7	16.8	2.1	7.0	0.0
60歳代	124	6.5	23.4	0.0	8.1	0.8
70歳以上	249	2.4	11.6	0.4	9.2	4.0

(9) 自由記述

問 28：文化振興に関するあなたの考えやアイディア、提案などを自由にお書きください。

■情報発信について

性別	年齢	意見
男性	18～19 歳	もっと船橋の文化施設を宣伝した方がいいと思う
女性	18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと素人が1人でも練習できる場所を作る ・入れるのかわからない外観はやめて欲しい ・文化遺産の説明が短文でもあったら良い ・同じ趣味を共有できる安全な人と連絡できるサイトなどが欲しい ・イベントを大々的に告知したり(駅にポスターなど)、わかさ生活のような活動(YouTube)をしたりしてフォロワーを増やしてもっと告知を見てもらえるようにすべき
男性	20 歳代	音楽に力をいれているのが感じられるため、新しい音楽を取り入れさらなる向上を目指すことと、歴史的なものが多数あるのでその情報の発信や保存にもっと塚らを入れると面白そう。
男性	20 歳代	ふなっしーを公認キャラにして、船橋を発信していけば良いと思います
男性	20 歳代	駅や広場など、公共の場所を利用して、近隣の学生たちの写真や絵の展示会を行う。 SNS で船橋市在住の人に向け、広告が表示されるようにする。
男性	20 歳代	SNS などでの発信
男性	20 歳代	改めて考えると船橋市内でのイベントについてよく知らないなと感じました。船橋駅や津田沼駅、ららぽーと、商業施設などで何気なく知る機会があると良いなと思います。
女性	20 歳代	情報発信にぜひ、力を入れて下さい。
女性	20 歳代	ふなっしー活用
女性	20 歳代	宣伝と、資金の確保が大事だと思う。なので、宣伝については、SNS や広報紙での情報発信、チラシの配架など。資金の確保には、国や県などから支援してもらえ活動資金の申請や、イベントやグッズ販売で資金の足しにしたり、お金になる機会を逃さない。
女性	20 歳代	船橋市で行われている文化的活動について自分を含め市民の認知度が低いと感じる。 発信の方法を変える、または工夫すると良いと考えます。
男性	30 歳代	今まで文化芸術振興に興味はなかったが、子供が産まれてからは触れ合うようにしたいと考えている。 しかし情報のキャッチアップができておらず、 ・能動的に情報をとりにいきたいと思わない ・そもそも情報発信が少ないのかもしれない が理由と思われる。
男性	30 歳代	イベントなどについての情報をあまり目にする機会が少ないため必然的に情報が入ってくるようになればもっと興味を持つ人が増えると思います。
その他	30 歳代	バスケやラグビーと同じように、駅前で文化的なイベントのPR もしてもらえると嬉しい。 また隣の習志野市のように駅近くに大きな本屋や予備校、大学があるとアカデミックな雰囲気も出てくるかもしれない。 西船橋駅も居酒屋が多いが一方で塾も多い。なので、大手予備校を誘致したり、いつか駅ビルを増築して文化的イベントを定期的開催したりすれば、元々県で一番の利用者数なので大いに盛り上がるのではないかと、つい考えてしまう。 自分自身クリエイターなので、個人的には参考資料(書籍、画集など)や仕事道具(文具、デジタル機器など)が市内で手に入りやすくなるだけでも、大変ありがたい。
男性	40 歳代	どんなイベントを行っているか、市内にどんな文化財などがあるか、普段仕事をしていると殆ど情報が入って来ないので、何も知らないに等しいです。 毎日通る駅などにポスターなどあれば気づき易いと感じます。(地域の祭り情報などはそれで気づくので)
男性	40 歳代	興味があっても、触れる機会を知らない人が多いと思うので、情報発信を積極的に行なってほしい。

性別	年齢	意見
男性	40 歳代	①船橋のアーティストや著名人をもっと積極的にアピールする。(今は、ふなっしーに頼りすぎ?) ②他の市の良いところを積極的に学んだりコラボイベントしたりする。 ③笑いヨガを船橋市の健康体操として取り入れる。
女性	40 歳代	LaLa arena TOKYO-BAY が開業し、千葉ジェッツも話題になっていて良いと思う。SNS だけでなく、SNS をやっていない人々もどうしたら情報が届くのか、せっかく良い施設が開業したのに情報が入ってこない。もったいないと思います。
女性	40 歳代	京成線を使つての広告展開(ラッピング広告) 万博もラッピング広告を見て見たい気持ちが高まったから。定点的な広告よりも、Big イベント感があって良い。イベント内容とのバランス、予算もふまえて...
女性	40 歳代	イベントや講座等の情報をもっと広く発信してほしい。(駅やスーパーにポスターを貼るなど) 例えば、元々興味のあるものは自分から情報を得られるが、元々興味はなかったが、チラシを見て興味が湧いて参加してみようという気持ちになることがあるから。また、たまたま公民館の掲示板等をみて、おっ!と思って期限が過ぎている事があるから。
女性	40 歳代	生まれた時からずっと船橋市在住です。実家では新聞をとっていたので船橋広報をいつも楽しみにしていました。 結婚し新聞をとっていない為、1 年程は申込みをして届くようにしていましたが、継続するには再度申込みが必要だったため、面倒で継続しませんでした。 公民館やスーパーに置いてあるのは知っていますがその為にわざわざ行く時間はありませし、ネットで何度か見ましたが、私には紙の方が見やすいです。 残念ながら文化に限らず船橋市の情報が分かりません。 知り、興味を持ち、接することが気軽にできるといいなと思います。
女性	40 歳代	TikTok や Instagram などの SNS を活用
女性	40 歳代	①Web アプリ開発によるアーティストとユーザの相互干渉 ②高齢者と子供の交流の場を作る ③親の子育て教室の中で、文化活動を取り入れ、親と子が一緒に活動できる場を作り、家族を街が見守り、街が一体となって子育てをできるような「長屋」と「プライバシー」を両立させる仕組みを、文化活動の観点から実施する ④おひとり様が楽しめる仕組みを導入する
女性	40 歳代	SNS をうまく利用してほしい。
男性	50 歳代	チラシ 広報誌、SNS 等様々な方法で文化振興に関する宣伝を充実させ、文化振興活動ができる為に必要な建物、物資、組織作り等を整備した後、できるだけ多くの人が気軽に参加するような活動を目指していくと思います。(ただ部分的には特定の人達を指導者等にする為に、スペシャリストにしていく事も必要と思いますが) しかしその事で過剰に予算を使い、税金をそれにまわしてしまう事は避けるべきでしょう。
男性	50 歳代	まずは知ってもらうことが必要、sns の有効活用
男性	50 歳代	人集めるのも知らしめるのも、興味のある人はそもそも自分から動き出して調べるし、各広報誌や情報誌に変わるアプリも有ると思われるが観てる人ばかりでは無いのでもっと人の集まる所では分かりやすい目立つ大型ビジョン等で案内した方が良くと思う。行政や市民団体主催だと載せやすいと思われるので高く無ければ電車内広告でも可と。食べる物は直ぐ広まるので飲食とのコラボも。
女性	50 歳代	これからは SNS などを通じて、情報発信の強化が不可欠だと思います。
女性	50 歳代	文化的なものに興味はあるのですが、情報が少なく感じます。イベントの周知が足りないので、ポスター等、歩いて目につくような場所への告知、スーパー等の買い物時にでも目につけばいいのではと思います。
女性	50 歳代	船橋市は音楽祭などあって文化振興に尽力されていると思います。コンサートなど空席になりそうなものは前もって無料の抽選席を設ける、ホールの会員制をつくり会報誌でイベントを知らせる等 情報を自分で見に行かなくても届くなどの発信が必要だと思います。
女性	50 歳代	私は主に観劇を趣味にしているので、他の文化についてはわかりませんが、もっとアピールすることが必要ではないかと思います。 せっかく市の出身の俳優を呼んで公演をしてもその事自体市民には認知されていません。私が知ったのも本人の SNS からでした。 他にも作家など著名人はたくさんいると思います。もっとメディアも利用してアピールをした方が知名度が上がる→市を訪れる人も増える→税収も増える→文化振興の予算も増える になるのでは?(短絡的ですがすみません) 映画やふなっしーのチャンスも活かさないと思います

性別	年齢	意見
男性	60 歳代	情報提供を増やしてほしい。
男性	60 歳代	転入者も参加しやすいイベントの PR。 多くの人が興味を持つように、インスタグラムや X 等を活用して発信。
女性	60 歳代	船橋市の歴史、特色（観光・名物等）について 興味ひく様な hp 上のご紹介を望みます
女性	60 歳代	情報が欲しいと思う人は自ら得ようとしますが、そもそも興味の無い人には何も届きません。 日常の暮らしの中で目にする機会、知る機会があれば興味を持つ人も増えると思います。多くの人が利用する駅構内、ショッピングモール、病院等を利用するなどを増やしてみるなどどうでしょう？そのようなイベントが無いわけではないけれど、ありきたりなものが多いので、もっと目玉になるような質の高いイベントを増やすと良いのではないのでしょうか。
男性	70 歳以上	クラシック音楽（管弦楽団）の鑑賞に特に興味があります。 コンサートがいつ、どこで行われているかの情報を多くの媒体で発信して欲しい。
男性	70 歳以上	できるだけ SNS などを利用して、文化振興に莫大なコストをかけないで欲しい。
女性	70 歳以上	博物館、郷土資料館、図書館の情報が少ないような気がします。もっと宣伝してもいいのでは？
女性	70 歳以上	船橋はスポーツがさかんのイメージです。市民文化会館のような単独でのホールが少ないと思います。駅前のキララホールでやることを発信してほしいと思います。
女性	70 歳以上	私は千葉県生まれ育ちました 地図をみて、一番西側の中山から今は一番東側の北習志野です 中心から離れていると情報が届きにくいかと実感しています
女性	70 歳以上	文化芸術との出会いが少なく何から情報を得たら良いのかわからないので体験参加する機会が少なく身近なものに感じられないのだと思った。
女性	70 歳以上	なかなか、公民館とかに行く機会が無く、又、市の広報とかを読まないで情報を入手するのが、難しいです。 現在の状況に満足しているので、、お役に立てずすみません。

■鑑賞・体験・参加の機会の充実

性別	年齢	意見
女性	18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと素人が 1 人でも練習できる場所を作る ・入れるのかわからない外観はやめて欲しい ・文化遺産の説明が短文でもあると良い ・同じ趣味を共有できる安全な人と連絡できるサイトなどが欲しい ・イベントを大々的に告知したり(駅にポスターなど)、わかさ生活のような活動 (YouTube) をしたりしてフォロワーを増やしてもっと告知を見てもらえるようにすべき
男性	20 歳代	身近に文化や芸術に親しめるといいと思う。ハードルを低くして、参加できるイベントがあるといいと思う。
男性	20 歳代	最近ジャズちょっと好きなので、ジャズ系の何かがあると嬉しいです メタルバンドは一生好きなので、国内外のメタルバンドを市のホールに呼んでください
女性	20 歳代	小学生の時、体育館で行われた落語鑑賞があったお陰で、伝統文化への興味を持ちました。家族や近隣住民も楽しめる同じような機会があるといいなと思います。
女性	20 歳代	自分は普段平日は東京に働きに出てしまっているため、平日に催されるイベントや文化活動には参加できない。 オンラインで楽しめるものや土日以外に出でまでして行ってみようと思う求心力のあるコンテンツが望ましい。 市町村、都道府県を超えた連携で、周遊できる文化イベントがあったら面白そう
女性	20 歳代	気軽に参加できるイベントなどの情報へのアクセスをよくした方が良かったと思った。 市のホームページや町での掲示をもっと分かりやすく目につくようにしてほしい。
男性	30 歳代	仙台に在住していた頃、ジャズフェスティバルに参加したことがあります。あいったイベントが船橋にもあるといいと思います。
女性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・有名なオーケストラや、ソリストに来てもらう。船橋は交通が便利なので。 ・図書館の充実
女性	30 歳代	昔、仙台市に住んでいたのだが、とても音楽や、イベント活動等、市全体を上げてのイベントが多かった気がする。参考にさせていただけたらうれしい。

性別	年齢	意見
男性	40 歳代	関口恵美さんのアーティスト・イン・スクール作品展に行きました。あのような取り組みがもっと増えると良いと思います。
男性	40 歳代	ときわ荘のようなものを市で用意し、マンガ家の卵を誘致。船橋市にまちを舞台とした作品を世に出す。
男性	40 歳代	漫画家を目指す妻がいます TAMA コミのようなイベントが船橋にもあると良いと思います
女性	40 歳代	文化系のイベントは内輪感があって、初心者は気軽に参加しにくいので、敷居が低いイベントをやっていただけるとありがたいです。
女性	40 歳代	興味をひくイベントがあれば積極的に参加したい
女性	40 歳代	かなり私的になりますが、奥華子さんのコンサートを定期的に船橋で見たい
女性	40 歳代	だいたいイベントは広報等で終わってから知るか、出かけて偶然出会う。市民参加もよいが、本物に触れることも大事。
女性	40 歳代	①Web アプリ開発によるアーティストとユーザの相互干渉 ②高齢者と子供の交流の場を作る ③親の子育て教室の中で、文化活動を取り入れ、親と子が一緒に活動できる場を作り、家族を街が見守り、街が一体となって子育てをできるような「長屋」と「プライバシー」を両立させる仕組みを、文化活動の観点から実施する ④おひとり様を楽しめる仕組みを導入する
女性	40 歳代	年齢性別などを問わず、また 1 人でも芸術に対するハードルも低く参加出来るようなイベントがあれば参加したいと
男性	50 歳代	お祭りやフェスティバル、花火大会、盆踊りなど、毎年楽しみにする様なことが少ないと思っています。 コロナ禍で中止していたイベントを復活させて欲しい。 あとずっと船橋のために頑張っているふなっしーを公式にして欲しいです。
男性	50 歳代	活動、鑑賞の初心者だけが気軽に参加できるイベントを定期的に実施する。
女性	50 歳代	・地域で体験すること（鑑賞と芸術活動参加）と、都心に出て体験することは分けて考えた方がよい。いい意味でも悪い意味でも東京にでやすい地域である。 ・その上で、子供が地域で体験できる場をふやすことは、大切だと思います（安価に）→子育て世代はお金がない！！
女性	50 歳代	ワークショップ等 気軽に体験できるチャンスが欲しい。
女性	50 歳代	初心者でも参加しやすい文化、芸術のイベント等があれば、そこから新たな興味がわくかもしれません。趣味があれば、老後も生きる楽しみになるかもしれません。
女性	50 歳代	絵画などの美術展を定期的に開催して欲しい。
女性	50 歳代	年齢制限やジェンダーの差別区別なく、様々な市民が、初心者でも気軽に参加できるプロ講師（音楽家、芸術家、文学者、芸能人等）による安価な参加費でエントリー出来るワークショップや、3 回ぐらいの参加で作品を 1 つ作る（奏でる）等のライトなミニ講座を開催して欲しいと思う。
女性	50 歳代	個展・表現できるブースが少ない。色々な芸術家が、住んでいるのに…勿体ないと、思うことがあります。
女性	50 歳代	認知度を広めるために街頭イベントとか良いと思う。何かやってるのかな？と今度は足を運んでみようと思うかもしれない。知らない、興味がないものは自分から知ろうとは思わないので
男性	60 歳代	教養を涵養出来る機会を増やす。
女性	60 歳代	身近に参加できる機会があると嬉しいです。
女性	60 歳代	市川市文化会館には、宝塚歌劇団や有名アーティストなどが来て公演やコンサートをしています。船橋にもそういう施設やイベントがあるといいなと思います。
女性	60 歳代	ワークショップ等の体験型なしてみたいデス
女性	60 歳代	気軽に参加できる催しものの企画と参加者数を増やす
女性	60 歳代	若い層への認知？ 学校を巻き込んだ活動 会社員でも参加できる活動
男性	70 歳以上	気軽に参加できるイベントが多くあると良いと思います。
女性	70 歳以上	病気であまり遠くへ出かけられないので船橋市内で行うイベントへ参加したい。
女性	70 歳以上	文化ホールの建て替え！恥ずかしい程、古いです。美術館がないのも残念です。公園、ひなん場所等も考えてほしいです。
女性	70 歳以上	近くにカルチャーセンターがあって、講習生がいろいろな物を作っています。年に一度くらい、各地の手芸教室や音楽教室などが一堂に集まって、発表会（学園祭みたいに）をしたら、楽しいのではないかと思います。
女性	70 歳以上	一人で行動する元気が、気持ちも萎えてきました。出来れば、ワクワクするものと、又、巡り合いたいものです。

性別	年齢	意見
女性	70 歳以上	福祉施設へのアーティスト派遣はそこで生活している人達に活力が生まれると思うので、ぜひ、やってほしいと思います。
女性	70 歳以上	市民文化ホールでもっと演劇やコンサートなどやってほしい
女性	70 歳以上	市民大学を充実させて卒業生に活躍の場を作って欲しい あまりにもボランティア精神に頼りすぎていて、活動費を支払って欲しい。せめて交通費だけでも

■子ども・若者が文化芸術に親しむ機会の充実

性別	年齢	意見
男性	18～19 歳	周りの友人はみんな都内の大学へ通い、都内で遊び、スマホやタブレットで動画や音楽ゲームをする。そのため市内でいくら体験型イベントをやっても、小中学生の子供とその親以外の人は家でスマホいじるか都内で遊ぶかになってしまふ。船橋について知っていることといえば、駅で市内のイベントポスターを目にするくらい。より若者が船橋市に留まるように小中学生のうちから市内の図書館やホールや資料館に行く機会をつくったり、忙しい人向けに駅などに展示スペースを設けて欲しい。
女性	18～19 歳	公民館などで活動する若者向けの団体があるとよい。地域の公民館で活動する団体に興味はあるが、子ども向けか高齢者向けが多く、若者が参加し辛い。
女性	18～19 歳	学校に月 1 で芸術を全校で学ぶ機会を作る（専門家に出張してもらうなど）
男性	20 歳代	家族と文化芸術に関連する施設やイベントに参加した記憶があまりないので、学校や幼稚園・保育園などとの連携をとって校外学習や遠足などで文化芸術と関わるイベント等に参加できるような取組や施設の維持などが成されると良いと思います。
男性	20 歳代	高根台には子供が増えてきているように感じるので、子供向けに色々なイベントを催してもらえると嬉しいなと思います。
男性	20 歳代	子どもたちが楽しめる、芸術文化と触れ合う機会を増やしてほしいです。
男性	20 歳代	子供が芸術に触れる機会がそこまで多くなく、現在はかなり家庭で芸術に触れさせているかが子供と芸術の関わりを大部分を占めていると思う。芸術鑑賞会などは行われているが、いきなりプロレベルのものを見せられてもハードルは高く、継続的な興味には繋がりにくい。小中高の芸術関係を学習する時間にもっと芸術を手頃に学べて、簡単に体験できる機会が増えるといいなと思う。特に美術の時間は作業が多く、鑑賞等に関わる時間が少なかったように思える。ただ、そこに興味を持つかは本人の自由なため、押し付けるような形で紹介しないことが大切だと思う。
女性	20 歳代	幼稚園入園前の子供達が楽しめるようなイベントを行ってほしい。小学生や幼稚園にイベントの割引券やチラシを配布し、各家庭に配る。
女性	20 歳代	アーティストや声優など若者が興味のあるイベントをやってほしい。
女性	20 歳代	子どもがたくさんの文化に安価で触れられる機会を気軽に作ってほしいです
男性	30 歳代	小さな子どもでも見たり触れたりできる身近なイベントがあれば今後参加していきたいです。
女性	30 歳代	子どもと一緒に参加できるライブ
女性	30 歳代	若手アーティストに対する活動支援金を増やしていただけたらと願っています。特に、コンペ型の仕組みで 10 名程度に給付を行い、期間終了後に成果発表としての展示や発表の場を設けることで、芸術家と市民（鑑賞者）との新たなつながりが生まれ、文化振興だけでなく地域の経済活動にも良い循環が生まれると考えます。制作活動への直接的な支援は、次世代の文化担い手を育てるうえで非常に有効だと思います。
女性	40 歳代	小、中による本の蔵書を増やすこと、図書館の本の蔵書をしてもらいたい。また場所の拡大、もしくはタブレットでの本が読めるといいです。（学校の貸し出し品）
女性	40 歳代	シフト勤務かつ子どもたちに充てる時間も多く、土日や日中イベントほぼ参加できず。 今の子どもたちはとても忙しく、学校行事に取り入れることで興味のきっかけにはなると思う。 私自身は広報を読むが、子どもたちは知らない。学校でも読めるように掲示するのもありだと思う
女性	40 歳代	①Web アプリ開発によるアーティストとユーザの相互干涉 ②高齢者と子供の交流の場を作る ③親の子育て教室の中で、文化活動を取り入れ、親と子が一緒に活動できる場を作り、家族を街が見守り、街が一体となって子育てをできるような「長屋」と「プライバシー」を両立させる仕組みを、文化活動の観点から実施する ④おひとり様が楽しめる仕組みを導入する

性別	年齢	意見
女性	50 歳代	・地域で体験すること（鑑賞と芸術活動参加）と、都心に出て体験することは分けて考えた方が良さ。いい意味でも悪い意味でも東京にでやすい地域である。 ・その上で、子供が地域で体験できる場をふやすことは、大切だと思います（安価に）→子育て世代はお金がない！！
女性	50 歳代	ばか面づくり、おどりを小学校、中学校の授業にしてほしい。辻切のヘビを作る体験等を見学ホームでやってほしいです。本田通りに町会1つに神社があるみたいなのでスタンプラリーなどで遊びながら学べる感じにしてほしいです。
女性	50 歳代	昔はオペラ鑑賞をしていましたが、手持ちの機器で簡単に鑑賞できる為、本物を体験する機会が無くなっています。特に子供達には本物を体験させる事が重要ではないでしょうか。 アンケートは少し答え辛かったです。どういふ事？と回答に迷う箇所ありました。 近隣市の活動を参考にすることもありではないかと思ひます
女性	50 歳代	どの分野の文化芸術であれ、子どもの内から触れる機会を多く設けることが必要だと思います。経済格差に関係なく機会が与えられるよう、学校行事の一環として例えば地域の伝統芸能に参加する、子どもにも理解できるミュージカルや展覧会を鑑賞するなど。またEテレで放送されている『No Art, No Life』のような障害者によるアート展も面白いと思ひます。
男性	60 歳代	学校での鑑賞教室を含め子ども達が文化芸術にふれる機会がたくさんあると良いと思ひます。子どもの頃の体験は大人になつても続くと思ひ、結果文化芸術に興味のある人たちが増えると思ひます。時間はかかりますが。
女性	60 歳代	子供達には文化・芸術活動に関する指導者・技行う者が必要である。
女性	60 歳代	若い層への認知？ 学校を巻き込んでの活動 会社員でも参加できる活動
男性	70 歳以上	若者を支援する、若者がいきいき活動できる 施設つ、スポーツ施設の充実
男性	70 歳以上	次世代を担う子どもたちに、さらに、よき文化に触れる機会を構築していくことが、これからの課題だと思ふ。そのためにも、それに携わる活動が、より発展するよう、市からの援助が欲しい。素晴らしい作家さんなどの講師をお呼びしたくても、公民館等の発表の機会や資金が問題となり、折角の活動も不発になっている現状です。
女性	70 歳以上	子供達が人生を生きていくために、文化芸術に興味を持ち続けられる物を見つけて、生活できる幸福を持ち続けて欲しいと思ひます。

■施設・交通の整備

性別	年齢	意見
男性	18～19 歳	まちの人がもっとスポーツに触れることができるよう、バスケットのコートやスケートボードのパークを開放してほしいと思つた。基本的に沿岸部に多く、内陸部には見られなくて少し残念に思つた。（騒音時の問題はあつたのはわかっているが…。）
女性	20 歳代	船橋市の端の地域に住んでいるので、なかなか参加をすることができません。施設への交通整備等も必要なのかなと思ひました。
	20 歳代	まずは交通手段が面倒。駅近な場所にホールがあれば市内外からの人々が集まりやすいのでは…
女性	30 歳代	船橋市民文化ホールや勤労市民会館など、市民が文化芸術活動を発表する文化施設をこれからも維持して頂けると嬉しいでう。
その他	30 歳代	バスケットやラグビーと同じように、駅前で文化的なイベントのPR もしてもらえると嬉しい。 また隣の習志野市のように駅近くに大きな本屋や予備校、大学があるとアカデミックな雰囲気も出てくるかもしれない。 西船橋駅も居酒屋が多いが一方で塾も多い。なので、大手予備校を誘致したり、いつか駅ビルを増築して文化的イベントを定期的に開催したりすれば、元々県で一番の利用者数なので大いに盛り上がるのではないかと、つい考えてしまう。 自分自身クリエイターなので、個人的には参考資料（書籍、画集など）や仕事道具（文具、デジタル機器など）が市内で手に入りやすくなるだけでも、大変ありがたい。
男性	40 歳代	参加したいが子供がすぐ飽きてしまうので、その点で参加を断念することがある。IKEA の子供預かりみたいなのがあると助かる

性別	年齢	意見
男性	40 歳代	船橋市は市役所や駅周辺だけではなく、今や多数の住民を抱えるその他のエリアの魅力強化、文化振興、インフラ強化に重点的に取り組むべきと考える。市内の多極化こそが他市に比べ貧弱な文化の振興に寄与するものと考えます。
女性	40 歳代	小さい子を気軽に安価で預けられる（小学校低学年や幼稚園年長くらい）の場所があれば、もう少し自分の興味のある事に出掛けられるかなと思います。
女性	40 歳代	近くの出張所や公民館などで市が経営するジムみたいな健康になれるような施設を作って、ついでに文化に興味わくようなきっかけをつくって生きる楽しみ、人とのふれあいを増やす
女性	50 歳代	ららアリーナは出来ましたが、中心部だけではなく、大型のイベント施設が出来ればいいかな？と思います。
男性	60 歳代	習志野市の立派な市民ホール並の市民文化ホール建設を願う。
男性	60 歳代	千葉県内初のドーム型イベントホール(マリンスターダム誘致) の設置 ※新駅、東葉高速
男性	60 歳代	地域のアクセスに問題がある。
男性	70 歳以上	例えば、音楽活動について言えば市内小中学校での課外活動（部活）の成果は極めて大きいと思う。これが市民活動にまで広がっている。船橋市にもそれに対応できる立派なホールがあると良いと思う。今の市民ホールでは…？！
男性	70 歳以上	船橋市民の一体感があまり感じられない。広い船橋の施設や文化を訪れるための交通機関の整備が必要、東西南北に移動しやすい小型バス等があると良い。
男性	70 歳以上	様々な活動を行う上で文化施設の充実が必要ですが、その為にも船橋市がまず行なうべきは道路整備です。渋滞ですべての事がロスしています。あらゆることの基本を充実させてください。せつに望みます。
女性	70 歳以上	年齢的にどんなに興味がある催しものでも近くでなければ参加はできないので残念に思います。
女性	70 歳以上	中核市、65 万都市にふさわしい、文化総合施設がない。関東の地方都市の方が充実している。市内 5 地区に分散する施設（医療機関含）に、自在に行くことのできる巡回バスを整備して、行きやすくしてほしい。 ※以前、市民文化ホールで「映画会」を開催。友人達と楽しみに利用していたが、上映機械老朽化でなくなってしまった。高齢者を中心に観客も多いことから、健康維持にも役立つ良い企画であった。すぐにも予算をつけて復活させてほしい。
女性	70 歳以上	他の自治体に負けない、コンサートホールや美術館、図書館、能楽堂などを計画的に建設して欲しい。
女性	70 歳以上	文化・芸術・イベントに参加したくても船橋の道路事情と駐車場が無い為、参加も支援もできない。障害者、高齢者だけでなく、何かやるには荷物があり車移動はかせない。役所の自己満足で色々計画する前に現実を考えて欲しい。
女性	70 歳以上	西武の跡地に新文化ホールが出来る事を楽しみにしていましたが、廃業になって非常に残念に思いました。東京の隣接地として駅からそのままホールへ音響抜群のホール等話題になる位のホールがほしいと思います。
女性	70 歳以上	船橋文化ホールの楽屋から舞台に行くのに階段を使用するのは高齢者には大変です。
女性	70 歳以上	美術館があると良いとナアと思います。子供から高齢者まで楽しめる企画展とか行われる様な大きめの美術館があると思います。音楽のいろんな企画はよく行われていると思います。
女性	70 歳以上	市民文化ホールを広い敷地でもっと大人数収容の新市民文化ホールを作り、旧の場所は 100 名、150 名くらいとか、小さいホールを幾つも作って、ピアノの発表会や色々なイベント、文化的なことの練習等に安く利用出来るようにしてもらえたら良いと思います。

■経済的な支援

性別	年齢	意見
男性	20 歳代	お金の支援！
男性	20 歳代	行政による資金援助の拡大、芸術で暮らしていける生活の保障 利益に繋がる販売や仕事作りの取組み
女性	20 歳代	文化振興を個人のポケットマネーだけで行うのは限界があるので、金銭的支援をしてほしい。
男性	40 歳代	お金がかからず自由参加型のものにしてほしい。 興味が出れば個々でお金かけたりすると思う。
女性	40 歳代	一部の声の大きな団体の優遇にならないように公平に予算配分をしてほしい。

性別	年齢	意見
男性	50 歳代	まずは経済。金銭、時間的に余裕が無ければ、文化、芸術は生まれない。若者、高齢者への働きかけに期待する。
女性	50 歳代	経済的に困窮している環境でも心豊かになれる芸術と触れ合える行政的な環境づくりが必要だと思う
女性	50 歳代	文化振興している民間企業にも積極的に支援して欲しい。 文化普及している法人だと公民館等が使い辛い事が度々あります。営利目的が少しでもあると予約が取れなかったりと。 法人が活動する為には会費を頂かないと活動が続きませんので、ルールが厳しく使えないのは不自由です。
男性	60 歳代	文化、スポーツなどが交流する親睦会に参加したことがあります。(賀詞新春交歓会) 異文化の事も聞けて交流が出来てとても良かった。家族や友人にも話せた。 しかし参加会費が高すぎる。参加費用の支援が欲しい
女性	60 歳代	仕事に日々追われる毎日の人々、生活費高騰(物価)など、生きていくのに必死です。そんな中でも無料で見れる文化、芸術作品があったらうれしいです！！
女性	70 歳以上	・コミュニケーションの場作りを積極的に進める。 ・支援の強化
女性	70 歳以上	市民大学を充実させて卒業生に活躍の場を作って欲しい あまりにもボランティア精神に頼りすぎていて、活動費を支払って欲しい。せめて交通費だけでも

■歴史的資産・既存施設等の有効活用

性別	年齢	意見
女性	18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと素人が1人でも練習できる場所を作る ・入れるのかわからない外観はやめて欲しい ・文化遺産の説明が短文でもあると良い ・同じ趣味を共有できる安全な人と連絡できるサイトなどが欲しい ・イベントを大々的に告知したり(駅にポスターなど)、わかさ生活のような活動(YouTube)をしたりしてフォロワーを増やしてもっと告知を見てもらえるようにすべき
男性	20 歳代	音楽に力をいれているのが感じられるため、新しい音楽を取り入れさらなる向上を目指すことと、歴史的なものが多数あるのでその情報の発信や保存にもっと塚らを入れると面白そう。
男性	20 歳代	駅や広場など、公共の場所を利用して、近隣の学生たちの写真や絵の展示会を行う。 SNS で船橋市在住の人に向け、広告が表示されるようにする。
女性	20 歳代	郷土資料館には、昨年大学の活動の資料(新京成の展示)を集めるのに大変お世話になりました。これからもあのような展示が行われるとありがたいなあと個人的に思います。
女性	40 歳代	商業施設や駅など人が集まる場所でも展示や発表できるとよいです。船橋市南部あたりからだとして市内のイベントはだいたい内陸に行かないといけないので、近くにも施設欲しいと思います。
女性	50 歳代	市民ホールの建て替え
女性	50 歳代	「活動」ではありませんが、大神宮下駅かららぽーとへの道にある「浜町広場」(京葉道路高架下)に昔使われていた漁の船や道具が保管されていることを偶然知りしました。雨風にさらされる状態で、せっかくの船橋の歴史を知る民俗文化財だと思うので保護をして多くの人の目に触れるようになるといいな、と感じています、乱筆で申し訳ありません！
女性	50 歳代	図書館をもっと拡充してほしい。
男性	60 歳代	浦安市のように昔(江戸時代・明治時代・昭和時代)の船橋の町を再現したスペース(タイムスリップする感じ)にて、イベント、催し物、物販、飲食をまとめて行う。(箱物はあきてくるので、数年に1回リニューアルする)
女性	60 歳代	文化資源など一度こわしてしまった物は、元どおりになりません。スクラップ&ビルドではなく、古いものを保存しつつ、整備・充実する事がよいと思う/高齢者は参加したくても、オンライン、ネットばかりにかたよると、消極的になります、ある程度アナログも残してほしい。
女性	70 歳以上	歴史的、且つ民族的な文化財を継承するシステムを行政も率先して取り組んで頂きたい

■文化芸術を通じた交流

性別	年齢	意見
女性	18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと素人が1人でも練習できる場所を作る ・入れるのかわからない外観はやめて欲しい ・文化遺産の説明が短文でもあったら良い ・同じ趣味を共有できる安全な人と連絡できるサイトなどが欲しい ・イベントを大々的に告知したり(駅にポスターなど)、わかさ生活のような活動(Youtube)をしたりしてフォロワーを増やしてもっと告知を見てもらえるようにすべき
男性	20 歳代	市内でカードクリエイターとして活動しています。子どもから大人までが芸術にふれる機会として公民館でカードの遊び場をこれまで3回開催しましたが、人があつまらないことが多いです。より市の広報で、市内で活動している人、団体の情報を集めて、公開してほしいと願っております。そのために公民館などで主催のイベントを考えるとときに、地元のアーティストを呼んでイベントをやると良いと思います。せっかく、アーティストがいても、市民と公の場で交流できなければ意味がありません。実績が必要なことも理解できますが、新しく出てくる人々により機会をつくってみてはいかがでしょうか。広い、開かれた交流の場を作ることを提案します。どうぞ、よろしくおねがいいたします。
男性	20 歳代	将棋などのボードゲームやポケモンカードなどのカードゲーム(室内ゲーム)で市民同士の交流を深められるようなイベントなら夏の暑さや冬の寒さ関係なく参加しやすいかなと思います。
女性	40 歳代	船橋の歴史と共に文化を知ることができる機会があればありがたいです。10年以上住んでいますが、マンション住まいで地域交流が少ないため、なかなか愛着がわきません。船橋を知って地元愛が増えたらいいなと思います。
女性	40 歳代	船橋市内の子どもが遊べる無料施設がない、古いので私や友人知人の多くは市川市や鎌ヶ谷市へ遊びに行っていることが多いです。市内で子育て世代の交流やイベント、遊び場の充実を希望します。
男性	70 歳以上	定年退職をした人材で、文化振興に寄与できる人のネットワークを構築し、意見交換の機会を設けて交流し、文化振興活動が生きがいとなる様進める。
女性	70 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの場作りを積極的に進める。 ・支援の強化

■その他

性別	年齢	意見
女性	18～19 歳	<p>Z世代向け「夜カルチャーマーケット」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：夜19時～23時に開かれるナイトマーケット。音楽、アート、映像、フード、ファッションが融合 ・ねらい：若者が「放課後」や「仕事帰り」に立ち寄れる非日常な文化空間を演出 ・特徴：DJブース・アートライブ・ネオン照明・写真映えスポットなど
男性	20 歳代	文化鑑賞は好きだが、仕事が忙しく行けそうにないのがほとんど。船橋市(千葉県)出身のアーティストなどがTVやネットで紹介されていると、嬉しく思う。
男性	20 歳代	船橋市に関して公共機関が多くあり、住みやすい街であると感じております。大型のショッピングモール(ららぽーとやイオン)もあり非常に良いのですが、[渋滞]が局所的に発生するイメージが強く、観光など市民以外わざわざ足を運ばないと考えられますので、道路の交通整備を進めていける良いと個人的には思うことがあります。
男性	20 歳代	地域ごとで、災害が起きたい際連携とれるように交流や防災訓練が必要だと思います。近所の方々とコミュニティの輪が欲しいです。
男性	30 歳代	イベントに限らず人々を繋げる地域密着型のマッチングアプリはどうでしょう。人々の繋がりがこそ文化だと考えました。ただ、人々が密に繋がるためトラブルの際の対応は考えなければいけませんね。
女性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・有名なオーケストラや、ソリストに来てもらう。船橋は交通が便利なので。 ・図書館の充実
男性	40 歳代	まつり
男性	40 歳代	船橋市は充実していると思います。引越ししてきて良かったです。
男性	40 歳代	<p>スポーツ(野球、サッカー、水泳、柔道、剣道など)教室をもっと増やしてほしい。</p> <p>※民間のスポーツクラブが高価なため。</p>

性別	年齢	意見
男性	40 歳代	将棋、チェス、囲碁等は、既存のオンラインゲームなどを活用するのが効率的(1 から市が準備する必要はない)
男性	40 歳代	①船橋のアーティストや著名人をもっと積極的にアピールする。(今は、ふなっしーに頼りすぎ?) ②他の市の良いところを積極的に学んだりコラボイベントしたりする。 ③笑いヨガを船橋市の健康体操として取り入れる。
女性	40 歳代	子どもができてから、ディズニーの英語のイベントやこどもチャレンジ、NHK の E テレのイベント、アンパンマンのイベントなどが市川では行われているが船橋では行われていないことが残念です。施設が小さいなどの問題なののでしょうか。船橋市も大きな都市なので開催されれば多くの方が参加されると思います。そういった団体の誘致もお願いしたいです。よろしくお願いします。
女性	40 歳代	障害者アートを見たり買ったりすることに関心があります。 障害者アートを見る機会がもっとあったら良いのにとおもいますが、中々目にしません。 市役所をはじめとする市の施設や駅など、たまに通りにかかる所に、展示などされていけば、鑑賞したりできます。 何度も目にすることで、障害者アートへの理解や関心が深まります。 障害者アートを沢山の人の目に入る所に展示するような事業を期待します。
女性	40 歳代	船橋だけでなく、東京、日本、世界を見ながら、今の時流の中で船橋がどうやって未来を描き、次世代にとってより良い街にしていけるべきか考えらべきだと思います。 地域の中でシニアや小中学生のための企画を生み出すことも大事ですが、その間のそんな人が都内にしか楽しみを見出せないようでは未来はないと思う。他の同じ大きさの郊外の都市はその都市の中で楽しめる事が徐々に充実しているが、そこと比較しても、なぜか船橋は変わらずできる事、質が 30-40 年経っても向上せず、文化・芸術だけでなく街としての未来が描けてないのではとずっと強く疑問に思う。 行政はそれの中だけでやるのではなく、地域や民間と一緒に船橋全体をもっと質高く、盛り上げられるように、いつか変わることがあれば嬉しいとは思っています。
女性	40 歳代	習志野文化ホールが近く、何度か音楽鑑賞に行きました。 市の中央部はいろいろな文化施設があるのだと思いますが、端の方だと、習志野市の方が盛んに見えます。 近隣の市と協業するのもよいのではないかと思います。
女性	40 歳代	若い人の意見もどんどん取り入れてほしい
男性	50 歳代	船橋といえば、“市立船橋高校”、イチフナとのタイアップでスポーツだけでなく、芸術家、アーティストの輩出を目指す。芸術コースを創る！！サッカーも今年は元気がありません。プレミアリーグ残れるのでしょうか。公立校で全国で戦えるのは市船だけです。このまま終わってしまうことのないように市からの支援が必要だと思います。昭和時代から培ってきたものを失うことのないようにして下さい。
男性	50 歳代	アイデア①陶器市の開催→候補地(神保町とか)理由:アンデルセン 公園の近くのため ② ①が無理なら益子や笠間の陶器市を船橋市に読んで、遠征してもらう。春と秋の時期(本家)の用を避けた時期で、こちらに出店してもらう。 (例) 冬とか…※夏は暑いので避けるべき。(年始、6 月とか、9 月とか、11 月とか)くらいかな?
男性	50 歳代	文化のイメージはほとんど無いですが、新しい物で人を呼び込むのはいいのかな？と
男性	50 歳代	商業都市の船橋市が将来も魅力ある街であるために文化振興はとっても重要だと思います。
男性	50 歳代	スポーツイベントをもっとやって欲しい。民間でない。
男性	50 歳代	個人的には興味が無いですが、頑張ってください。
男性	50 歳代	お祭りやフェスティバル、花火大会、盆踊りなど、毎年楽しみにする様なことが少ないと思っています。 コロナ禍で中止していたイベントを復活させて欲しい。 あとずっと船橋のために頑張っているふなっしーを公式にして欲しいです。
男性	50 歳代	文化振興に予算を使う必要を感じません。船橋駅の周辺をしっかりと計画と土地買収をして綺麗に整備し街作りをしていかないと汚い街になっていくばかりに感じています。

性別	年齢	意見
男性	50 歳代	ふなっしー【非公認】が出て全国的に船橋の知名度が飛躍的に上がったと感じている。 仕事や旅行で色々な都道府県に行くがふなっしーを知らない人はほぼいない状態。非公認キャラが受けたように思う。 今春、はじめてきららホールに行き、船橋をピーアールするというアイドルグループのライブを観た。非常に良かったと思う。非公認としつつも会場の提供などで影で支えること芸術文化の進行に繋がると思う。
女性	50 歳代	音楽のまち、ふなばしだったのですね。知らなかったなんて勿体ないことをしました。西船橋駅前の掲示板だけが、市のイベントとの唯一の接点でした。これからは市の HP もチェックするようにします。
女性	50 歳代	船橋市の都市は緑が少ない。人が集まる場所は緑が多く歩道などが整備された場所になるとまた行ってみたいと思う。そんな街づくりも文化振興になると思う。緑化に力を入れる街づくりを！！
女性	50 歳代	文化・芸術も結構ですが、予算が余っているのならもっと防災関係に力を入れて欲しいです。
女性	50 歳代	あまり文化振興に興味がありません。それならば医療などの方に力を入れてもらいたい。医療センターの胃カメラにちんせい剤を使う医療をするなど考えてもらいたい。医療が古い船橋は。文化振興するなら障害の子のしせつに行ってお金をするなど、やって欲しいです。招待するなど。障害の子にも文化振興させて下さい。
女性	50 歳代	インターネットを活用をより推進をして頂きたい。高齢者には申し訳ないですが、「これから」の世の中を生きていく若年層にフォーカスをあてるべきだと思います。後は、英語力の強化。海外旅行に行くと、今だに英語に対応できていない日本人を多く見かけますが、色んな意味で機会損失が大きいと感じます。公立校に数人はネイティブが、そのレベル並の教員を配置し、英語の授業に限らず、子供達に英語に触れる機会を提供して頂ければ幸いです。
女性	50 歳代	文化、芸術に触れたければ東京に行けば良いという考えがあります
女性	50 歳代	昔はオペラ鑑賞をしていましたが、手持ちの機器で簡単に鑑賞できる為、本物を体験する機会が無くなっています。特に子供達には本物を体験させる事が重要ではないでしょうか。 アンケートは少し答え辛かったです。どういう事？と回答に迷う箇所ありました。 近隣市の活動を参考にするのもありではないかと思います
女性	50 歳代	どの分野の文化芸術であれ、子どもの内から触れる機会を多く設けることが必要だと思います。経済格差に関係なく機会が与えられるよう、学校行事の一環として例えば地域の伝統芸能に参加する、子どもにも理解できるミュージカルや展覧会を鑑賞するなど。また E テレで放送されている『No Art, No Life』のような障害者によるアート展も面白いと思います。
男性	60 歳代	心の余裕や多様な活動を認める寛容な心を育むもの。生活する上で後回しにされがちですが、でも大事なものではないかと考えます。(お金もかかるので後回しにされがち)
男性	60 歳代	無理に環境を充実させることはない “つきつめたくなる人” は、すべて自分でやります。
男性	60 歳代	隣の市の市立習志野高校吹奏楽は球場とコラボなどして情報発信力がすごい。市立船橋高校は以前ほど全国的なスポーツ高校とは言えない状況となっている。どこかに有能な人材が集まらない魅力がない原因があるはず 文化においても同様と考えます
女性	60 歳代	外国の方々の転入に伴い、言葉の壁、ルール作りなど、改めて整備しなければ、お互いの交流がうまくいきません。お互いの国の文化を尊重し、交流し、話し合う場を作るべき。 マンション等の誘致、商業施設ばかりに力を入れず、安全で楽しい公共施設をもっとつくるべき。「常設の子ども食堂」も考えてほしい。現在の子どもの施設全体を見直し、統一し、もう少し体験（体験の少ない子が多い、“文化”、芸術に触れる機会をもっともっと増やしてほしい）、食（学校給食等利用して常設で。できれば 3 食提供が希望）を完備したものにしてほしい。
女性	60 歳代	船橋は、あまりにも文化的な催しが出来ない施設が古すぎる。もっともが、市民文化ホールだと思う。新設でホールを作りたい。落語家のまくらでいつもこの施設の話が出ます。(老朽化)
女性	60 歳代	文化振興の推進が船橋市民にどのような恩恵があるのかを明確にした上で進めて行くべきだと思います。

性別	年齢	意見
女性	60 歳代	毎日の買い物でも、誰とも話すことがなく終わる。人々に感動、楽しさを…の1ページ目に書いてあるのが文化なら、昔の商店街の様な感じが懐かしい。今は、文化に積極的にふれないと、文化ってなんだっけ？と思ってしまう。通勤族の我が家は、船橋が一番長い住いとなり、音楽が盛んな町。若い方が楽器を背負って歩いている姿を見かけます。「いいな」「余裕がある生活なんだろうなあ」「がんばって！！」と思います。これからも、文化振興頑張ってください。
女性	60 歳代	県外出身者からすると船橋は東京のベッタウンの色合いが強く感じます。船橋独自の個性ある文化的な街になればと思います。
女性	60 歳代	文化・芸術について、広く市民に興味を持ってもらうには、ゲームやアニメなどをまじえての事業を実施してはどうかと思います。
女性	60 歳代	活動を始めたいと思ったのですが、実際、どの施設でどの様な（サークル等をふくめ）活動があるのかわからず「勤労市民センター」等に行ってみたのですが、数種類のチラシのみでした。
女性	60 歳代	人々が心豊かに暮らせるように文化振興は必要不可欠だと感じている。 7 年上の年金受給者の夫と暮らしているが…多趣味好奇心の夫は楽しいし、頼もしい。 高齢者社会も誰もが楽しく暮らせるようになると、支える行政の負担も少ないと感じている。 健康でいるうちは積極的に参加できるような 在り方が船橋市内にあれば協力したいと考えている
男性	70 歳以上	例えば、ギターの弾き語りなどでお年寄りの集まる場所での活動（個人又は数名で実施）等実施する場合の申込み受付を市の窓口で取扱う等小さな活動の支援等実施出来ればボランティア活動もし易くなる。 （追記）生涯学習部でアルバイトできませんか？今後御相談出来ればありがたいですが…。
男性	70 歳以上	笑顔と相手のある、うなずきを産むどの活動にもあればいいですね。
男性	70 歳以上	中山の除夜の鐘の音（市外か？）
男性	70 歳以上	すみません。ずっと無関心で来ていましたので。
男性	70 歳以上	千葉市に住んでいた時祭りに参加した（若い時）
男性	70 歳以上	折角選んでもらったのですが！！提言です。設問の 8 が非常に理解出来ずスマホで回答したが前に進まなかったので書類で解答しました。内容の質問と※が合っていない。率直に云って非常に分かりづらい。アンケートはもっとシンプルにしてあれもこれもと詰め過ぎです。一考を提言しました。熱意と情熱は良く理解していますので、担当者の皆様も大変でしょうが、素晴らしい船橋市 65 万の住民の為に頑張ってくださいと思います。暑さ厳しき折皆様の御活躍を祈年申し上げます。 2025.7.17 記
男性	70 歳以上	国際的な交流。ex、社会人交換留学 1 ヶ月等。海外（アジア、欧米、アフリカ）人材との交流と、ホームステイの充実。国際都市「Funabashi」を！
男性	70 歳以上	秋田県潟上市の「潟上市公式 YouTube:まるごと！かたがみ情報局」をご参考までにご確認ください。
男性	70 歳以上	スポーツ文化とのコラボも模索して欲しい
女性	70 歳以上	大学の資源を活用すること。大学には多様な専門分野があり、専門家もいます。常設できる美術館の存在も欠かせません。
女性	70 歳以上	文化を大きく捉えるなら、現在住んでいる周辺には公園がなく、老人が憩い、子供達が学校以外で思いきり遊び、運動出来る環境が皆無。駅周辺が都会化されるだけで、芸術は育ちません。都市計画が貧弱すぎて、便利さだけの町になってゆくのが残念です。市の中心におられる方々の知性、識別力が先です。
女性	70 歳以上	今までは身体がうごけたから出かけられましたが、身体が大なり小なり故障があって出かけられなくなった
女性	70 歳以上	新船橋のイオンモールに映画館がほしかった。映画をみるにも都内や柏方面まで行く なぜ作らなかったのか聞いてみたいです 余談ですが街が整うと美的なものへの関心が増すように思います 電線の醜さにがっかりしてます いろいろ部署の方々が協力しあって文化的 美的な方向を目指してくださることを願っています
女性	70 歳以上	「目の見えない白鳥さんとアートを見に行く」川内有緒著は、美術鑑賞のアイデアにあふれた本だと思うので、ぜひ参考になさってみては？ 全盲の白鳥さんが撮った写真も、とてもおもしろいです。
女性	70 歳以上	船橋は全体的に皆やっていると思います。本当は〇は全部出来てるでしょう！有りがとう御ざいます。

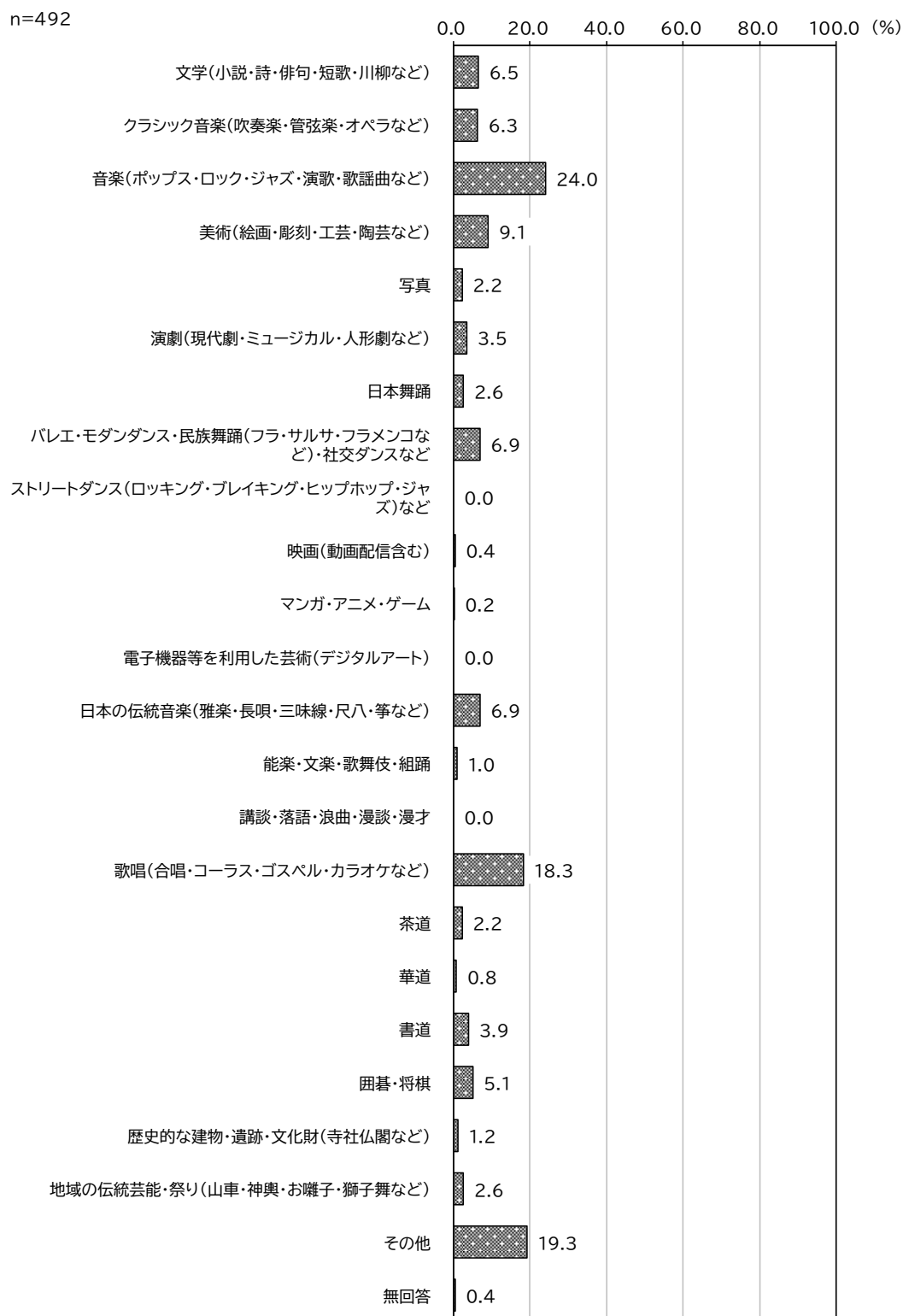
性別	年齢	意見
女性	70 歳以上	船橋市に美術館があるといいと思います。今は、世界的にウクライナ、ソ連など他にも戦争があったり、地震など、心をやんでいる人達に、人の心を癒していただける場所があるといいと思います。
女性	70 歳以上	14. オンラインに参加出来るように講習会を開いて欲しい
女性	70 歳以上	スポーツを週2～3回やってますが、少なめになりましたら、色々な鑑賞を楽しみたいと思っています。
女性	70 歳以上	船橋市が文化的だとは思わない。目指している方向が分からない。新たな美術品なんて全くのムダ。郵便料金も上がっているのにアンケートもムダなのではないでしょうか？
女性	70 歳以上	スポーツ施設は充実しているが、これはと思う文化施設はミニ施設ばかり。人を呼べるような美術館などが無い。医療センターは移転しないのでその場所に大きな文化施設を作ってほしい。

2 団体向け調査

問1 貴団体の活動分野について、あてはまるものをすべて選んでください。

(○はいくつでも)

「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」が24.0%で最も多く、次いで「歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）」が18.3%、「美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）」が9.1%となっています。



■会員数による集計結果

いずれの会員数でも、「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」など、音楽に関する活動が多くなっています。また、100人以上では「演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）」、「地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）」も多くなっています。

(%)

	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）
全 体	492	6.5	6.3	24.0	9.1	2.2	3.5	2.6	6.9	0.0	0.4	0.2	0.0
10人未満	197	7.6	5.6	25.9	11.2	2.0	4.1	4.6	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0
10～29人	232	6.0	4.7	21.6	8.2	2.2	1.3	0.4	9.9	0.0	0.9	0.0	0.0
30～49人	35	8.6	14.3	25.7	5.7	2.9	11.4	5.7	5.7	0.0	0.0	2.9	0.0
50～99人	17	0.0	23.5	35.3	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100人以上	11	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

	n	日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講談・落語・浪曲・漫談・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	無回答
全 体	492	6.9	1.0	0.0	18.3	2.2	0.8	3.9	5.1	1.2	2.6	19.3	0.4
10人未満	197	9.1	1.0	0.0	12.2	5.1	1.5	4.1	2.5	0.5	1.5	17.8	0.0
10～29人	232	4.7	0.9	0.0	24.6	0.0	0.0	4.3	7.8	1.3	2.6	19.4	0.9
30～49人	35	2.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	5.7	5.7	5.7	31.4	0.0
50～99人	17	11.8	5.9	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
100人以上	11	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0

■会員の年齢による集計結果

いずれの年代も、「音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）」など、音楽に関する活動が多くなっています。また、回答数は少ないものの、10代では「バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど」が多くなっています。

(%)

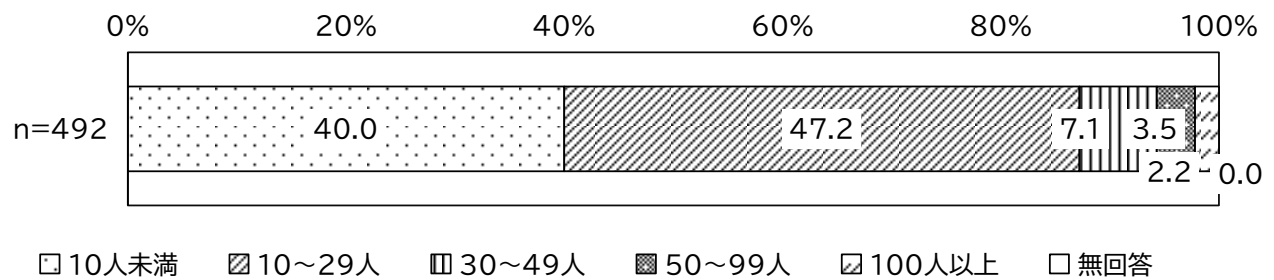
	n	文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	写真	演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	日本舞踊	バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	映画（動画配信含む）	マンガ・アニメ・ゲーム	電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）
全 体	492	6.5	6.3	24.0	9.1	2.2	3.5	2.6	6.9	0.0	0.4	0.2	0.0
10代	11	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	13	0.0	23.1	15.4	7.7	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	22	9.1	18.2	22.7	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	80	7.5	10.0	21.3	8.8	1.3	3.8	5.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	350	6.9	4.0	25.1	10.6	2.9	1.4	2.0	7.1	0.0	0.6	0.3	0.0

(%)

	n	日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）	能楽・文楽・歌舞伎・組踊	講談・落語・浪曲・漫談・漫才	歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	茶道	華道	書道	囲碁・将棋	歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	その他	無回答
全 体	492	6.9	1.0	0.0	18.3	2.2	0.8	3.9	5.1	1.2	2.6	19.3	0.4
10代	11	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
20代	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
30代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	13	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	46.2	0.0
50代	22	13.6	0.0	0.0	27.3	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
60代	80	1.3	1.3	0.0	25.0	3.8	2.5	5.0	0.0	0.0	2.5	17.5	1.3
70代	350	6.6	1.1	0.0	17.1	1.7	0.3	3.4	7.1	1.7	2.0	19.4	0.3

問2 貴団体の会員数を教えてください。(○は1つ)

「10～29人」が47.2%で最も多く、次いで「10人未満」が40.0%、「30～49人」が7.1%となっています。



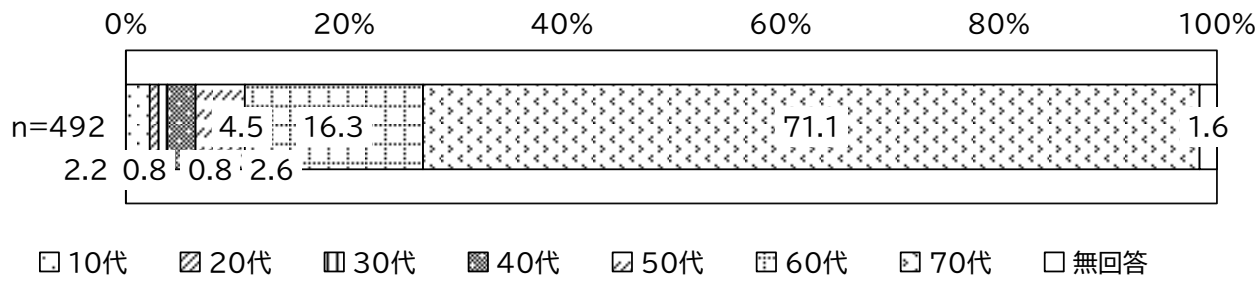
■会員の年齢による集計結果

いずれの年代も、「10～29人」が多くなっています。

	n	10人未満	10～29人	30～49人	50～99人	100人以上
全 体	492	40.0	47.2	7.1	3.5	2.2
10代	11	27.3	36.4	18.2	18.2	0.0
20代	4	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
30代	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
40代	13	7.7	30.8	38.5	15.4	7.7
50代	22	40.9	40.9	9.1	9.1	0.0
60代	80	40.0	42.5	8.8	3.8	5.0
70代	350	42.0	50.3	5.1	1.7	0.9

問3 貴団体の会員（加入者）の平均年齢についてお答えください。おおよそでもかまいません。

「70代」が71.1%で最も多く、次いで「60代」が16.3%、「50代」が4.5%となっています。



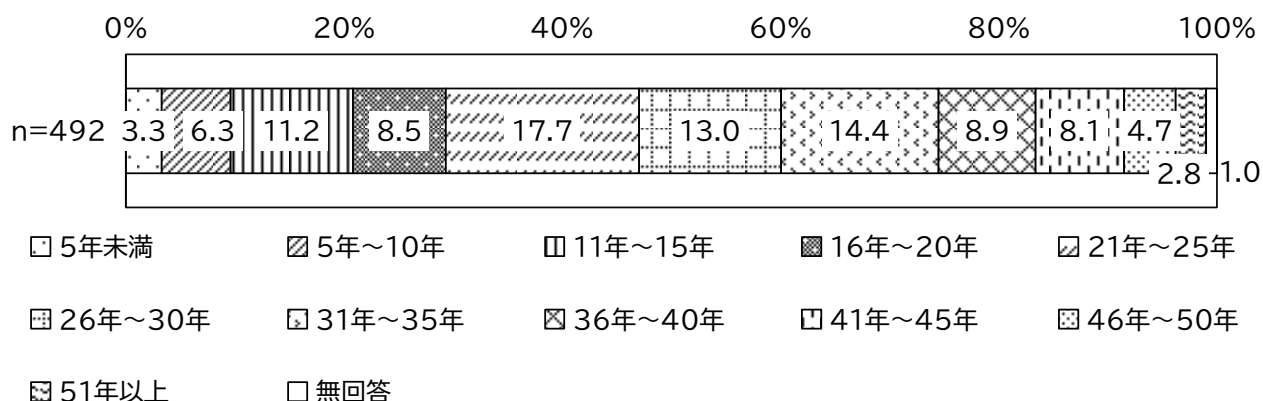
■会員数による集計結果

いずれも 60 代以上となっています。

	n	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	(%) 無回答
全 体	492	2.2	0.8	0.8	2.6	4.5	16.3	71.1	1.6
10人未満	197	1.5	0.0	0.5	0.5	4.6	16.2	74.6	2.0
10～29人	232	1.7	0.4	0.4	1.7	3.9	14.7	75.9	1.3
30～49人	35	5.7	0.0	2.9	14.3	5.7	20.0	51.4	0.0
50～99人	17	11.8	5.9	5.9	11.8	11.8	17.6	35.3	0.0
100人以上	11	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	36.4	27.3	9.1

問4 貴団体は設立からどのくらい経過していますか。(〇は1つ)

「21年～25年」が17.7%で最も多く、次いで「31年～35年」が14.4%、「26年～30年」が13.0%となっています。



■会員数による集計結果

99人までは「21年～25年」が最も多く、100人以上では「51年以上」が最も多くなっています。

	n	5年未満	5年～10年	11年～15年	16年～20年	21年～25年	26年～30年	31年～35年	36年～40年	41年～45年	46年～50年	51年以上	無回答	(%)
全 体	492	3.3	6.3	11.2	8.5	17.9	13.0	14.4	8.9	7.9	4.7	2.8	1.0	
10人未満	197	3.6	6.1	14.2	9.1	16.8	12.2	11.2	10.2	7.1	6.1	1.5	2.0	
10～29人	232	3.4	5.6	9.5	9.1	18.1	14.7	18.1	8.6	7.8	3.0	1.7	0.4	
30～49人	35	0.0	11.4	8.6	2.9	22.9	11.4	17.1	5.7	8.6	2.9	8.6	0.0	
50～99人	17	5.9	5.9	11.8	11.8	23.5	0.0	5.9	5.9	17.6	5.9	5.9	0.0	
100人以上	11	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	9.1	18.2	27.3	0.0	

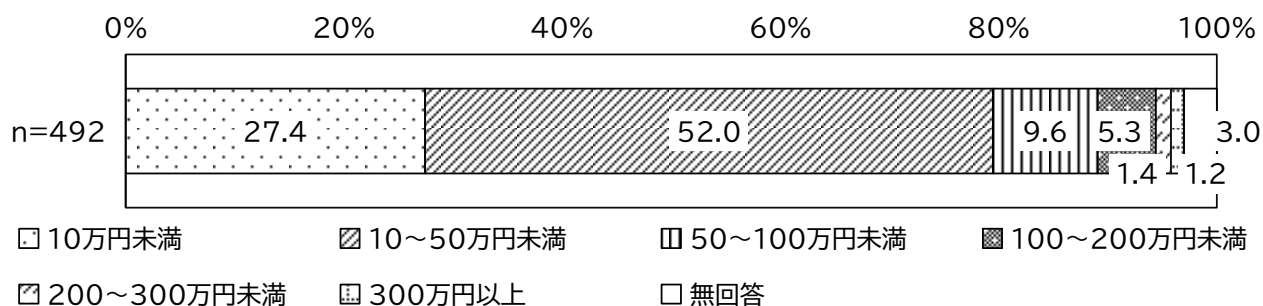
■会員の年齢による集計結果

70代で「21年～25年」が最も多くなっています。

	n	5年未満	5年～10年	11年～15年	16年～20年	21年～25年	26年～30年	31年～35年	36年～40年	41年～45年	46年～50年	51年以上	無回答	(%)
全 体	492	3.3	6.3	11.2	8.5	17.9	13.0	14.4	8.9	7.9	4.7	2.8	1.0	
10代	11	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	27.3	18.2	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	
20代	4	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30代	4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
40代	13	7.7	0.0	0.0	15.4	38.5	7.7	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	
50代	22	9.1	4.5	27.3	13.6	13.6	9.1	0.0	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	
60代	80	6.3	8.8	12.5	3.8	11.3	11.3	16.3	8.8	8.8	7.5	5.0	0.0	
70代	350	2.3	5.7	10.6	9.4	18.6	14.0	15.4	9.1	7.4	4.0	2.0	1.4	

問5 貴団体の年間の予算額を回答してください。(○は1つ)

「10～50万円未満」が52.0%で最も多く、次いで「10万円未満」が27.4%、「50～100万円未満」が9.6%となっています。



■会員数による集計結果

49人以下では「10～50万円未満」が最も多く、会員数が増えると予算額が増える傾向にあります。

	n	10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300万円以上	無回答
全体	492	27.4	52.0	9.6	5.3	1.4	1.2	3.0
10人未満	197	44.2	50.3	2.0	0.5	0.0	0.0	3.0
10～29人	232	20.3	57.3	13.4	5.6	0.0	0.4	3.0
30～49人	35	0.0	51.4	17.1	20.0	8.6	0.0	2.9
50～99人	17	0.0	23.5	29.4	11.8	17.6	17.6	0.0
100人以上	11	9.1	18.2	9.1	27.3	9.1	18.2	9.1

■会員の年齢による集計結果

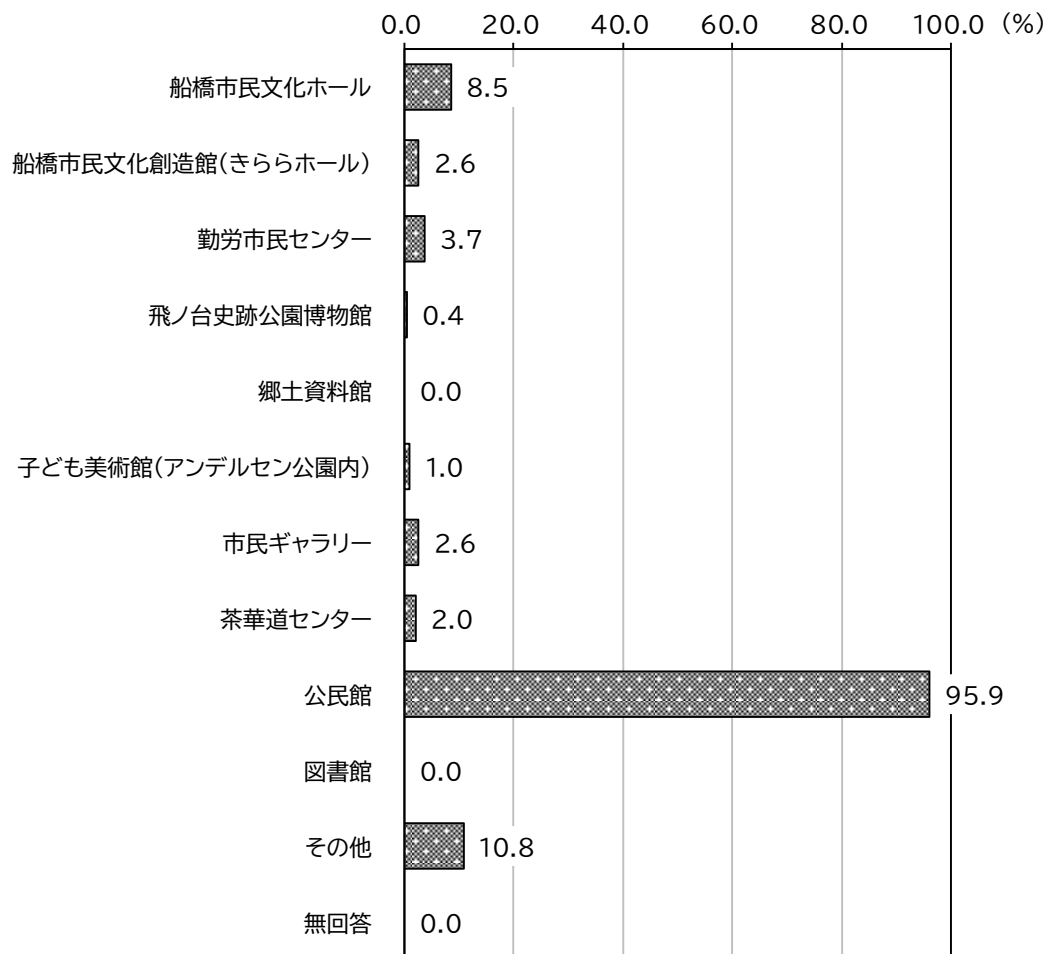
30代以上で「10～50万円未満」が最も多くなっています。また、回答数は少ないものの、20代以下で「100～200万円未満」が最も多くなっています。

	n	10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300万円以上	無回答
全体	492	27.4	52.0	9.6	5.3	1.4	1.2	3.0
10代	11	18.2	9.1	27.3	27.3	0.0	9.1	9.1
20代	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
30代	4	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
40代	13	15.4	38.5	15.4	7.7	15.4	0.0	7.7
50代	22	9.1	77.3	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0
60代	80	20.0	48.8	11.3	11.3	3.8	0.0	5.0
70代	350	31.7	53.4	8.9	2.6	0.3	0.6	2.6

問6 貴団体の主な活動場所はどこですか。(〇はいくつでも)

「公民館」が95.9%で最も多く、次いで「船橋市民文化ホール」が8.5%、「勤労市民センター」が3.7%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

いずれも「公民館」が最も多く、次いで「船橋市民文化ホール」が多くなっています。

(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他
全 体	492	8.5	2.6	3.7	0.4	0.0	1.0	2.6	2.0	95.9	0.0	10.8
10人未満	197	3.6	1.5	2.5	0.5	0.0	2.5	2.5	2.5	94.9	0.0	11.2
10～29人	232	7.3	2.2	3.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.4	97.4	0.0	7.8
30～49人	35	22.9	8.6	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	100.0	0.0	17.1
50～99人	17	41.2	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	88.2	0.0	17.6
100人以上	11	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	81.8	0.0	36.4

■会員の年齢による集計結果

いずれの年齢も「公民館」が最も多く、次いで「船橋市民文化ホール」が多くなっています。

また、40代、50代では「船橋市民文化創造館（きららホール）」も多くなっています。

(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他
全 体	492	8.5	2.6	3.7	0.4	0.0	1.0	2.6	2.0	95.9	0.0	10.8
10代	11	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0
30代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
40代	13	46.2	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	0.0	38.5
50代	22	18.2	18.2	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	95.5	0.0	13.6
60代	80	10.0	2.5	5.0	1.3	0.0	2.5	6.3	3.8	95.0	0.0	13.8
70代	350	4.9	0.6	2.6	0.3	0.0	0.9	2.3	1.1	96.6	0.0	8.9

■活動分野による集計結果

いずれの活動分野も「公民館」が最も多くなっています。また、「船橋市民文化ホール」が演劇、クラシック音楽で全体より多くなっています。

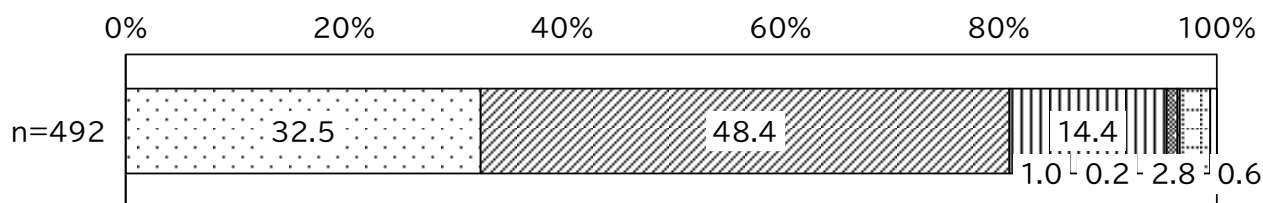
(%)

	n	船橋市民文化ホール	船橋市民文化創造館（きららホール）	勤労市民センター	飛ノ台史跡公園博物館	郷土資料館	子ども美術館（アンデルセン公園内）	市民ギャラリー	茶華道センター	公民館	図書館	その他
全 体	492	8.5	2.6	3.7	0.4	0.0	1.0	2.6	2.0	95.9	0.0	10.8
文学	32	6.3	3.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.8	0.0	9.4
クラシック音楽	31	22.6	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.5	0.0	3.2
音楽	118	10.2	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6	0.0	10.2
美術	45	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.8	2.2	95.6	0.0	2.2
演劇	17	41.2	35.3	0.0	5.9	0.0	23.5	0.0	0.0	88.2	0.0	47.1
バレエ・モダンダンス・民族舞踊・社交ダンスなど	34	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	5.9
日本の伝統音楽	34	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.1	0.0	8.8
歌唱	90	8.9	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.8	0.0	11.1
書道	19	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.7	0.0	5.3
囲碁・将棋	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	4.0

※会員数が多い10団体のみ

問7 貴団体の活動頻度はどの程度ですか。(〇は1つ)

「月2～3回程度」が48.4%で最も多く、次いで「週1回程度」が32.5%、「月1回程度」が14.4%となっています。



□ 週1回程度 ▨ 月2～3回程度 ▩ 月1回程度 ■ 2～3ヶ月に1回程度 ▤ 半年に1回程度 ▦ その他 □ 無回答

■会員数による集計結果

29人以下では「月2～3回程度」が、30～99人では「週1回程度」が最も多くなっていますが、100人以上では「月1回程度」が最も多くなっています。

(%)

	n	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	2～3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	その他	無回答
全 体	492	32.5	48.4	14.4	1.0	0.2	2.8	0.6
10人未満	197	24.9	55.8	15.7	0.5	0.0	2.5	0.5
10～29人	232	35.8	49.1	12.5	0.4	0.4	0.9	0.9
30～49人	35	54.3	25.7	5.7	2.9	0.0	11.4	0.0
50～99人	17	47.1	11.8	29.4	5.9	0.0	5.9	0.0
100人以上	11	9.1	27.3	36.4	9.1	0.0	18.2	0.0

■会員の年齢による集計結果

40代以下では「週1回程度」が、50代以上では「月2～3回程度」が最も多くなっています。

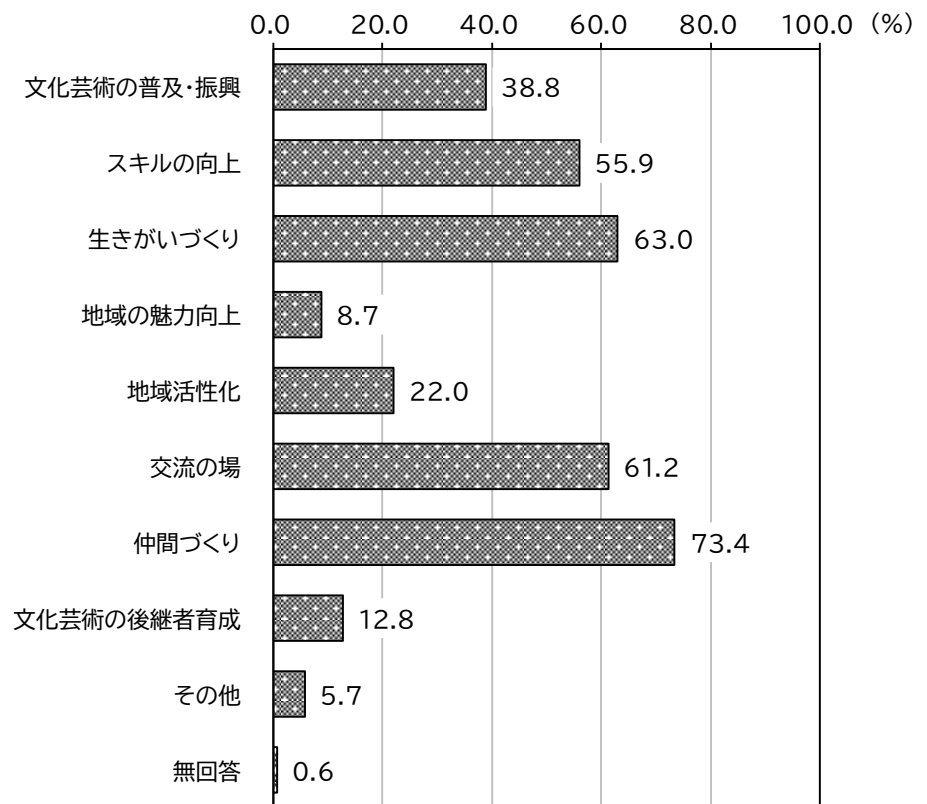
(%)

	n	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	2～3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	その他	無回答
全 体	492	32.5	48.4	14.4	1.0	0.2	2.8	0.6
10代	11	63.6	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	4	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
30代	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	13	30.8	23.1	15.4	7.7	0.0	23.1	0.0
50代	22	22.7	59.1	4.5	4.5	0.0	9.1	0.0
60代	80	35.0	46.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	350	30.9	52.0	13.7	0.6	0.3	2.0	0.6

問8 文化芸術活動を通じて、どのような効果を期待していますか。(○はいくつでも)

「仲間づくり」が73.4%で最も多く、次いで「生きがいづくり」が63.0%、「交流の場」が61.2%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

49 人以下では「仲間づくり」が最も多く、50 人以上では「文化芸術の普及・振興」が多くなっています。また 100 人以上では「文化芸術の後継者育成」が他の会員数の団体と比べて多くなっています。

(%)

	n	文化芸術 の普及・ 振興	スキルの 向上	生きがい づくり	地域の魅 力向上	地域活性 化	交流の場	仲間づく り	文化芸術 の後継者 育成	その他	無回答
全 体	492	38.8	55.9	63.0	8.7	22.0	61.2	73.4	12.8	5.7	0.6
10人未満	197	33.0	60.4	61.4	4.6	20.3	54.8	70.1	10.2	5.1	0.5
10～29人	232	36.2	54.7	66.8	5.2	16.4	65.1	78.0	10.3	5.2	0.9
30～49人	35	54.3	51.4	57.1	28.6	45.7	68.6	77.1	17.1	11.4	0.0
50～99人	17	82.4	47.1	58.8	47.1	47.1	64.7	52.9	29.4	11.8	0.0
100人以上	11	81.8	27.3	36.4	36.4	54.5	63.6	54.5	72.7	0.0	0.0

■会員の年齢による集計結果

多くの年代で「仲間づくり」が多くなっています。また、回答数は少ないものの、20 代以下では「文化芸術の普及・振興」が最も多く、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。

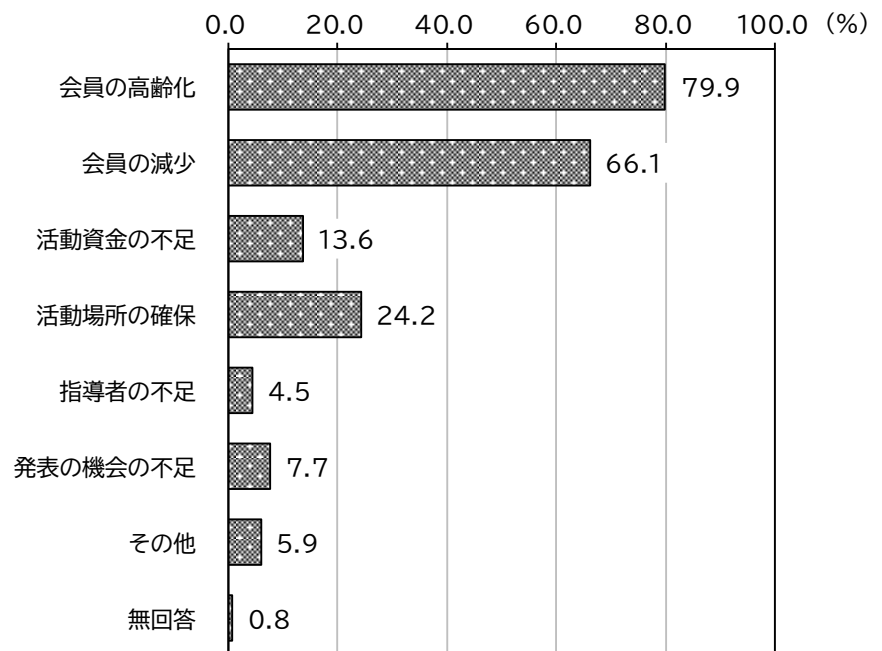
(%)

	n	文化芸術 の普及・ 振興	スキルの 向上	生きがい づくり	地域の魅 力向上	地域活性 化	交流の場	仲間づく り	文化芸術 の後継者 育成	その他	無回答
全 体	492	38.8	55.9	63.0	8.7	22.0	61.2	73.4	12.8	5.7	0.6
10代	11	81.8	54.5	18.2	9.1	36.4	36.4	72.7	18.2	9.1	0.0
20代	4	100.0	75.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0
30代	4	75.0	75.0	50.0	25.0	50.0	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0
40代	13	84.6	46.2	38.5	61.5	76.9	69.2	92.3	38.5	23.1	0.0
50代	22	63.6	68.2	50.0	22.7	54.5	63.6	63.6	31.8	9.1	0.0
60代	80	55.0	68.8	56.3	5.0	22.5	61.3	75.0	16.3	3.8	0.0
70代	350	30.0	52.9	68.0	6.0	16.3	61.7	72.6	9.1	4.9	0.9

問9 貴団体の活動における課題は何ですか。(〇はいくつでも)

「会員の高齢化」が79.9%で最も多く、次いで「会員の減少」が66.1%、「活動場所の確保」が24.2%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

「会員数の減少」について、29 人以下の団体で多くなっていますが、100 人以上において最も多くなっています。また、30～99 人の団体では「活動場所の確保」が多くなっています。

(%)

	n	会員の 高齢化	会員の 減少	活動資金 の不足	活動場所 の確保	指導者の 不足	発表の機 会の不足	その他	無回答
全 体	492	79.9	66.1	13.6	24.2	4.5	7.7	5.9	0.8
10人未満	197	83.2	79.7	10.7	14.2	4.1	8.6	2.5	0.0
10～29人	232	82.3	61.2	11.2	23.7	4.7	7.8	7.8	1.3
30～49人	35	62.9	34.3	28.6	54.3	5.7	2.9	11.4	2.9
50～99人	17	52.9	35.3	35.3	70.6	0.0	5.9	5.9	0.0
100人以上	11	63.6	72.7	36.4	45.5	9.1	9.1	9.1	0.0

■会員の年齢による集計結果

50 代以下では「活動場所の確保」が最も多く、次いで「活動資金の不足」が多くなっています。また、60 代以上では「会員の高齢化」が最も多く、次いで「会員の減少」が多くなっています。

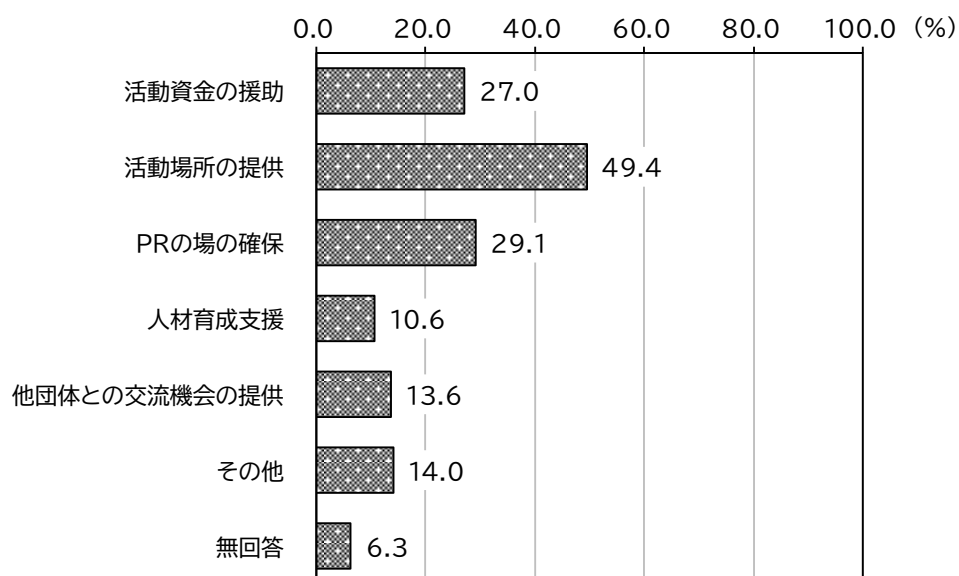
(%)

	n	会員の 高齢化	会員の 減少	活動資金 の不足	活動場所 の確保	指導者の 不足	発表の機 会の不足	その他	無回答
全 体	492	79.9	66.1	13.6	24.2	4.5	7.7	5.9	0.8
10代	11	9.1	54.5	27.3	54.5	0.0	9.1	9.1	0.0
20代	4	0.0	25.0	50.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0
30代	4	25.0	0.0	50.0	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0
40代	13	38.5	46.2	46.2	76.9	7.7	0.0	15.4	0.0
50代	22	27.3	27.3	40.9	54.5	4.5	27.3	27.3	0.0
60代	80	68.8	58.8	17.5	28.8	3.8	10.0	6.3	1.3
70代	350	90.6	72.3	8.6	16.9	4.6	5.7	3.4	0.9

問 10 今後の活動に向けて、どのような支援を望みますか。(〇はいくつでも)

「活動場所の提供」が49.4%で最も多く、次いで「PRの場の確保」が29.1%、「活動資金の援助」が27.0%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

いずれも「活動場所の提供」が最も多くなっています。また、10～99人の団体では「活動資金の援助」が2番目に多くなっていますが、10人未満と100人以上では「PRの場の確保」が2番目に多くなっています。

(%)

	n	活動資金の援助	活動場所の提供	PRの場の確保	人材育成支援	他団体との交流機会の提供	その他	無回答
全 体	492	27.0	49.4	29.1	10.6	13.6	14.0	6.3
10人未満	197	17.3	39.6	32.5	14.2	14.7	12.2	7.6
10～29人	232	30.2	52.2	25.0	8.2	13.8	14.7	5.6
30～49人	35	42.9	65.7	25.7	8.6	5.7	20.0	8.6
50～99人	17	52.9	76.5	35.3	5.9	5.9	11.8	0.0
100人以上	11	45.5	72.7	54.5	9.1	27.3	18.2	0.0

■会員の年齢による集計結果

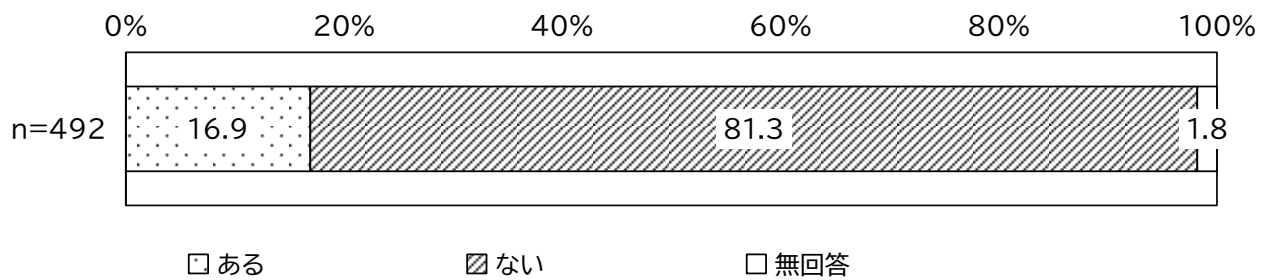
いずれの年代も「活動場所の提供」が最も多くなっています。60代以下では「活動資金の援助」が多く、70代では「PRの場の確保」が多くなっています。

(%)

	n	活動資金の援助	活動場所の提供	PRの場の確保	人材育成支援	他団体との交流機会の提供	その他	無回答
全 体	492	27.0	49.4	29.1	10.6	13.6	14.0	6.3
10代	11	45.5	63.6	18.2	9.1	0.0	18.2	0.0
20代	4	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
30代	4	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
40代	13	61.5	84.6	53.8	7.7	30.8	15.4	0.0
50代	22	59.1	72.7	27.3	4.5	13.6	22.7	0.0
60代	80	35.0	55.0	33.8	10.0	11.3	10.0	1.3
70代	350	20.6	44.6	27.7	11.1	13.7	13.4	8.6

問 11 過去に貴団体のイベントでゲストのアーティストを呼んだことはありますか。
(○は1つ)

「ない」が81.3%、「ある」が16.9%となっています。



■会員数による集計結果

50～99人で「ある」が最も多くなっています。

	n	ある	ない	無回答
全 体	492	16.9	81.3	1.8
10人未満	197	8.1	89.3	2.5
10～29人	232	19.4	78.9	1.7
30～49人	35	25.7	74.3	0.0
50～99人	17	52.9	47.1	0.0
100人以上	11	36.4	63.6	0.0

■会員の年齢による集計結果

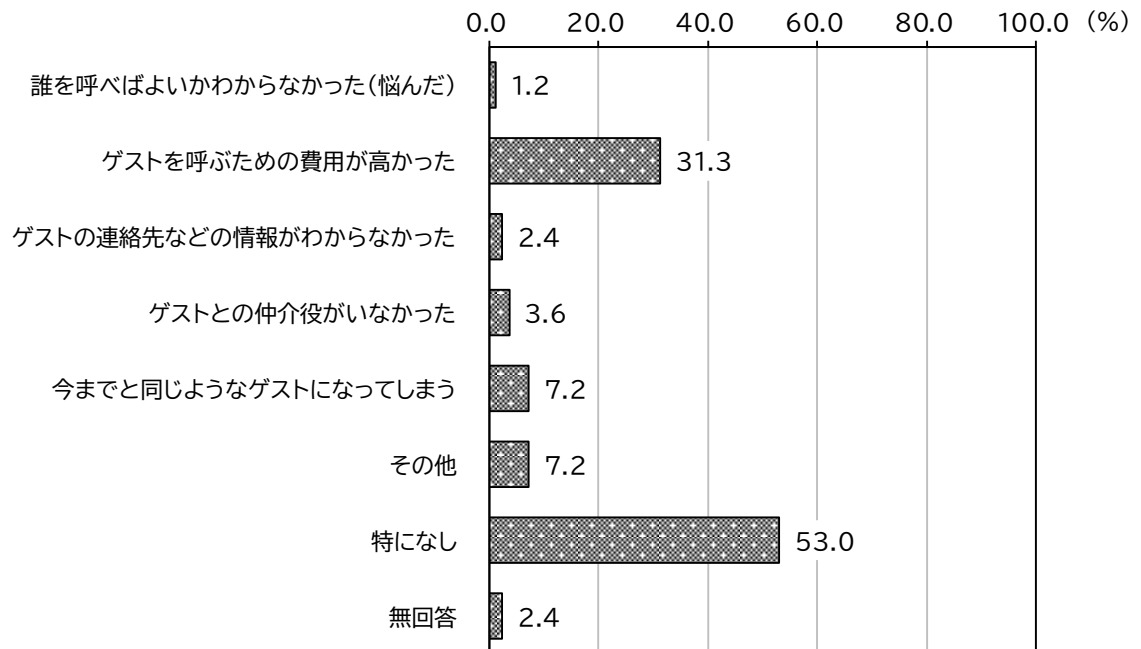
40代で「ある」が最も多くなっています。

	n	ある	ない	無回答
全 体	492	16.9	81.3	1.8
10代	11	18.2	81.8	0.0
20代	4	25.0	75.0	0.0
30代	4	50.0	50.0	0.0
40代	13	53.8	46.2	0.0
50代	22	40.9	59.1	0.0
60代	80	25.0	72.5	2.5
70代	350	11.4	86.6	2.0

問 12 問 11 で「ある」と回答した団体にお聞きします。ゲストのアーティストを呼ぶ際に困ったことはありますか。(〇はいくつでも)

「特になし」が最も多くなっています。困っていることとしては、「ゲストを呼ぶための費用が高かった」が 31.3%で最も多く、次いで「今までと同じようなゲストになってしまう」が 7.2%、「ゲストとの仲介役がいなかった」が 3.6%となっています。

n=83



■会員数による集計結果

回答数が少ないものの、いずれも「特になし」が多く、困ったこととしては、「ゲストを呼ぶための費用が高かった」が多くなっています。

(%)

	n	誰を呼ばよいか わからなかった (悩んだ)	ゲストを呼ぶための 費用が高かった	ゲストの連絡先などの情報 がわからなかった	ゲストとの仲介役 がいなかった	今までと同じようなゲスト になっってしまう	その他	特になし	無回答
全 体	83	1.2	31.3	2.4	3.6	7.2	7.2	53.0	2.4
10人未満	16	0.0	37.5	0.0	0.0	6.3	6.3	56.3	0.0
10～29人	45	2.2	28.9	4.4	6.7	8.9	11.1	48.9	2.2
30～49人	9	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0
50～99人	9	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	55.6	0.0
100人以上	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0

■会員の年齢による集計結果

回答数が少ないものの、いずれの年代も「特になし」が多く、困ったこととしては、「ゲストを呼ぶための費用が高かった」が多くなっています。

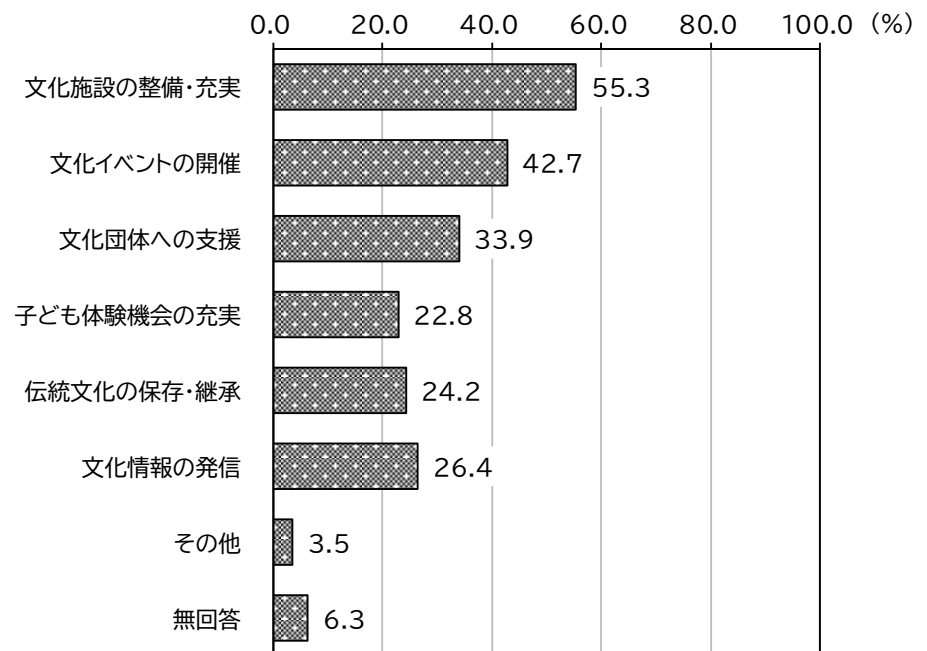
(%)

	n	誰を呼ばよいか わからなかった (悩んだ)	ゲストを呼ぶための 費用が高かった	ゲストの連絡先などの情報 がわからなかった	ゲストとの仲介役 がいなかった	今までと同じようなゲスト になっってしまう	その他	特になし	無回答
全 体	83	1.2	31.3	2.4	3.6	7.2	7.2	53.0	2.4
10代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
20代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
40代	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	71.4	0.0
50代	9	11.1	55.6	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0
60代	20	0.0	35.0	0.0	0.0	5.0	5.0	55.0	0.0
70代	40	0.0	22.5	5.0	5.0	12.5	7.5	57.5	5.0

問 13 文化芸術振興のために重要だと思う取り組みは何ですか。(〇はいくつでも)

「文化施設の整備・充実」が55.3%で最も多く、次いで「文化イベントの開催」が42.7%、「文化団体への支援」が33.9%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

いずれも「文化施設の整備・充実」が多くなっています。また、50人以上では「文化団体への支援」も多くなっています。

(%)

	n	文化施設の整備・充実	文化イベントの開催	文化団体への支援	子ども体験機会の充実	伝統文化の保存・継承	文化情報の発信	その他	無回答
全 体	492	55.3	42.7	33.9	22.8	24.2	26.4	3.5	6.3
10人未満	197	51.3	46.7	25.4	21.3	31.5	24.4	3.0	6.6
10～29人	232	54.7	42.2	35.3	21.6	19.0	26.3	3.0	6.0
30～49人	35	74.3	31.4	45.7	22.9	11.4	28.6	2.9	8.6
50～99人	17	64.7	47.1	64.7	35.3	29.4	35.3	17.6	0.0
100人以上	11	63.6	9.1	72.7	54.5	36.4	45.5	0.0	9.1

■会員の年齢による集計結果

いずれの年代も「文化施設の整備・充実」が多くなっています。また、回答数は少ないものの、10代、40代では「子ども体験機会の充実」が最も多くなっています。

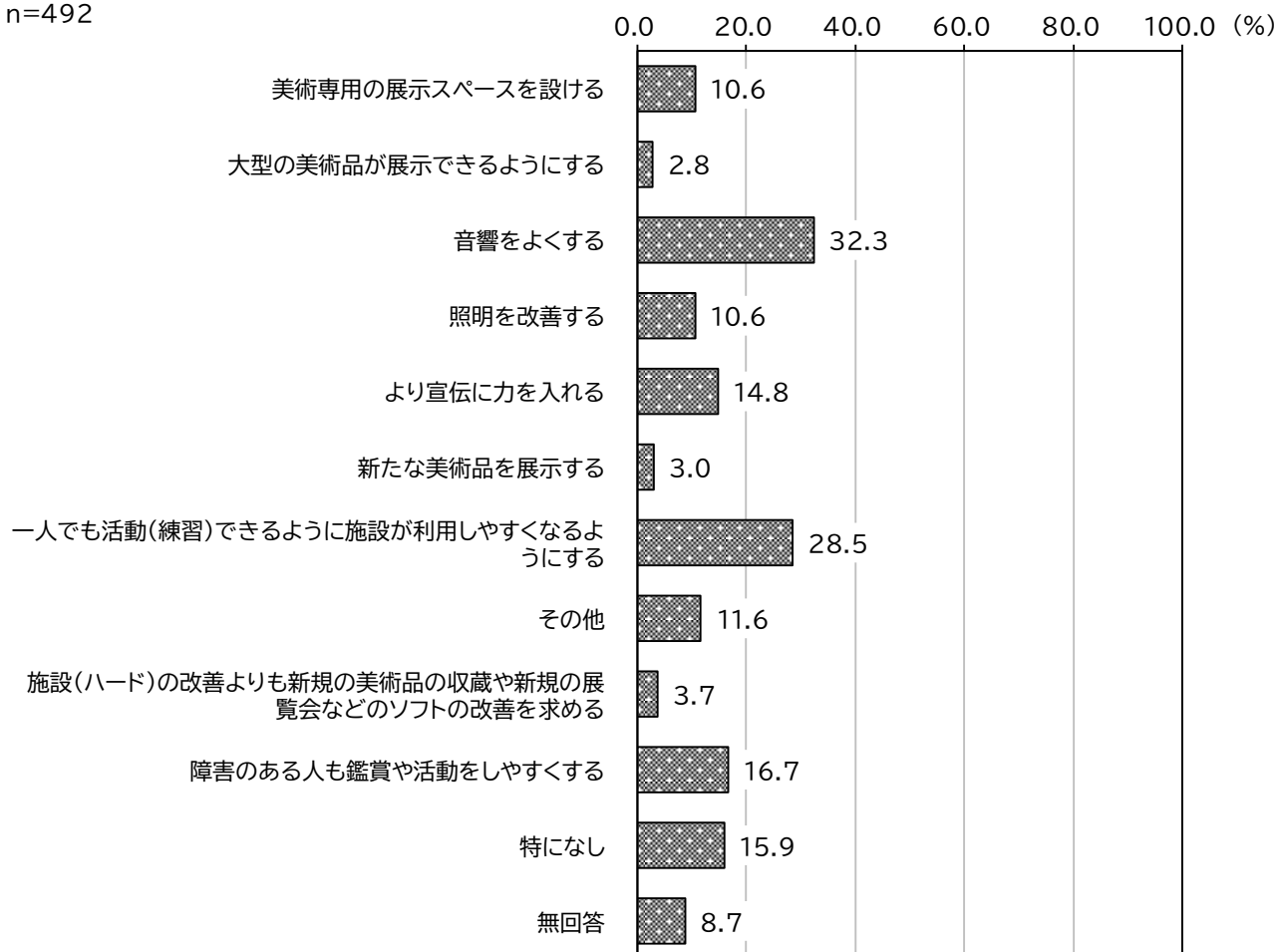
(%)

	n	文化施設の整備・充実	文化イベントの開催	文化団体への支援	子ども体験機会の充実	伝統文化の保存・継承	文化情報の発信	その他	無回答
全 体	492	55.3	42.7	33.9	22.8	24.2	26.4	3.5	6.3
10代	11	54.5	9.1	36.4	72.7	36.4	9.1	0.0	0.0
20代	4	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0
30代	4	100.0	50.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
40代	13	76.9	53.8	61.5	84.6	38.5	61.5	23.1	0.0
50代	22	77.3	72.7	54.5	40.9	45.5	27.3	9.1	4.5
60代	80	63.8	43.8	37.5	22.5	22.5	36.3	1.3	2.5
70代	350	50.6	40.9	30.9	17.7	22.9	23.4	2.9	8.0

問 14 船橋市内の文化芸術施設で改善してほしいものはありますか。(〇はいくつでも)

「音響をよくする」が32.3%で最も多く、次いで「一人でも活動(練習)できるように施設が利用しやすくなるようにする」が28.5%、「障害のある人も鑑賞や活動をしやすくする」が16.7%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

いずれも「音響をよくする」や「一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする」が多くなっています。また、100人以上の団体では「障害のある人も鑑賞や活動をしやすいようにする」も多くなっています。

(%)

	n	美術専用の展示スペースを設ける	大型の美術品が展示できるようにする	音響をよくする	照明を改善する	より宣伝に力を入れる	新たな美術品を展示する	一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする	その他	施設（ハード）の改善よりも新規の美術品の収蔵や新規の展覧会などのソフトの改善を求める	障害のある人も鑑賞や活動をしやすいようにする	特になし	無回答
全 体	492	10.6	2.8	32.3	10.6	14.8	3.0	28.5	11.6	3.7	16.7	15.9	8.7
10人未満	197	11.7	1.5	29.4	9.6	15.7	2.5	31.0	8.1	3.0	16.2	17.3	7.6
10～29人	232	10.3	2.6	31.5	9.5	13.8	3.0	23.7	12.1	3.9	16.8	15.5	10.3
30～49人	35	8.6	11.4	40.0	14.3	14.3	5.7	34.3	17.1	2.9	14.3	17.1	5.7
50～99人	17	5.9	0.0	47.1	17.6	17.6	0.0	58.8	23.5	0.0	11.8	0.0	0.0
100人以上	11	9.1	9.1	54.5	27.3	18.2	9.1	18.2	27.3	18.2	36.4	18.2	18.2

■会員の年齢による集計結果

いずれの年代も「音響をよくする」や「一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする」が多くなっています。

(%)

	n	美術専用の展示スペースを設ける	大型の美術品が展示できるようにする	音響をよくする	照明を改善する	より宣伝に力を入れる	新たな美術品を展示する	一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする	その他	施設（ハード）の改善よりも新規の美術品の収蔵や新規の展覧会などのソフトの改善を求める	障害のある人も鑑賞や活動をしやすいようにする	特になし	無回答
全 体	492	10.6	2.8	32.3	10.6	14.8	3.0	28.5	11.6	3.7	16.7	15.9	8.7
10代	11	9.1	9.1	36.4	18.2	27.3	9.1	45.5	18.2	0.0	36.4	9.1	9.1
20代	4	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
30代	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	13	0.0	0.0	61.5	38.5	23.1	0.0	38.5	15.4	0.0	53.8	7.7	0.0
50代	22	4.5	0.0	36.4	18.2	13.6	0.0	31.8	31.8	0.0	18.2	22.7	0.0
60代	80	12.5	3.8	42.5	10.0	16.3	6.3	33.8	12.5	7.5	17.5	6.3	10.0
70代	350	11.4	2.9	27.1	8.6	14.3	2.6	24.9	9.4	3.4	14.6	18.6	9.7

■活動分野による集計結果

ステージで発表する団体では、「音響をよくする」の回答が多い傾向がありますが、多くの団体で一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする」が多くなっています。

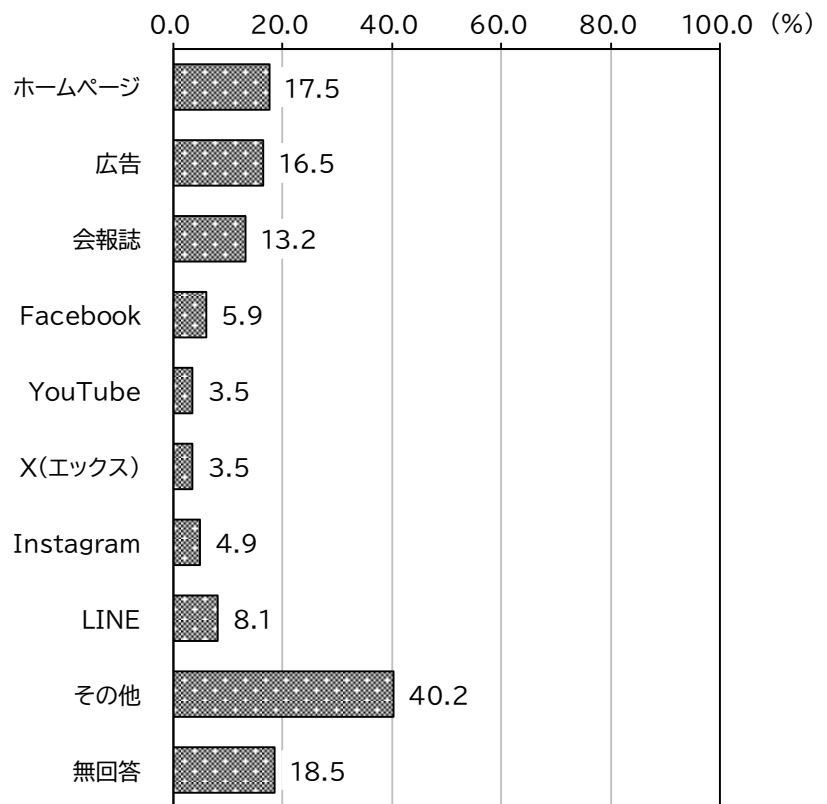
(%)

	n	美術専用 の展示ス ペースを 設ける	大型の美 術品が展 示できる ようにす る	音響をよ くする	照明を改 善する	より宣伝 に力を入 れる	新たな美 術品を展 示する	一人でも 活動（練 習）でき るように 施設が利 用しやす くなるよ うにする	その他	施設 （ハー ド）の改 善よりも 新規の美 術品の収 蔵や新規 の展覧会 などのソ フトの改 善を求め る	障害のあ る人も鑑 賞や活動 をしやす くする	特になし	無回答
全 体	492	10.6	2.8	32.3	10.6	14.8	3.0	28.5	11.6	3.7	16.7	15.9	8.7
文学	32	12.5	6.3	6.3	3.1	12.5	12.5	31.3	9.4	3.1	25.0	18.8	9.4
クラシック音楽	31	0.0	0.0	64.5	16.1	12.9	0.0	41.9	22.6	0.0	6.5	6.5	3.2
音楽	118	0.8	2.5	51.7	9.3	19.5	0.8	37.3	8.5	0.8	16.9	7.6	4.2
美術	45	46.7	6.7	8.9	8.9	15.6	2.2	22.2	11.1	15.6	22.2	8.9	4.4
演劇	17	0.0	0.0	58.8	47.1	17.6	0.0	29.4	29.4	0.0	41.2	0.0	0.0
バレエ・モダンダンス・民 族舞踊・社交ダンスなど	34	2.9	2.9	26.5	14.7	23.5	2.9	32.4	17.6	0.0	11.8	20.6	8.8
日本の伝統音楽	34	2.9	2.9	26.5	5.9	8.8	2.9	47.1	8.8	2.9	29.4	17.6	5.9
歌唱	90	7.8	1.1	55.6	13.3	7.8	1.1	23.3	16.7	2.2	22.2	12.2	7.8
書道	19	26.3	5.3	10.5	0.0	15.8	15.8	31.6	0.0	5.3	10.5	10.5	15.8
囲碁・将棋	25	4.0	0.0	4.0	0.0	12.0	4.0	24.0	4.0	4.0	12.0	32.0	24.0

問 15 貴団体の活動の情報発信の手段を回答してください。(〇はいくつでも)

「ホームページ」が17.5%で最も多く、次いで「広告」が16.5%、「会報誌」が13.2%となっています。

n=492



■会員数による集計結果

29 人以下では「広告」が最も多く、30 人以上では「ホームページ」が最も多くなっています。また、「Facebook」、「X（エックス）」、「Instagram」では人数が多くなると割合が高くなっています。

(%)

	n	ホームページ	広告	会報誌	Facebook	YouTube	X（エックス）	Instagram	LINE	その他	無回答
全 体	492	17.5	16.5	13.2	5.9	3.5	3.5	4.9	8.1	40.2	18.5
10人未満	197	10.2	16.8	11.2	1.0	2.0	0.5	1.0	5.1	41.1	21.8
10～29人	232	14.2	15.9	11.6	4.7	4.7	3.0	3.0	7.3	41.8	19.0
30～49人	35	54.3	25.7	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	17.1	37.1	2.9
50～99人	17	52.9	5.9	17.6	41.2	11.8	11.8	35.3	29.4	35.3	5.9
100人以上	11	45.5	9.1	27.3	36.4	0.0	18.2	36.4	18.2	9.1	18.2

■会員の年齢による集計結果

60 代以下の年代では、「ホームページ」が多くなっています。また、40 代以下で「Facebook」、「X（エックス）」、「Instagram」が多くなっています。

(%)

	n	ホームページ	広告	会報誌	Facebook	YouTube	X（エックス）	Instagram	LINE	その他	無回答
全 体	492	17.5	16.5	13.2	5.9	3.5	3.5	4.9	8.1	40.2	18.5
10代	11	45.5	0.0	0.0	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	45.5	9.1
20代	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0
30代	4	75.0	25.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0
40代	13	84.6	30.8	30.8	61.5	7.7	53.8	76.9	38.5	15.4	0.0
50代	22	36.4	9.1	18.2	18.2	13.6	4.5	18.2	9.1	36.4	4.5
60代	80	26.3	12.5	17.5	10.0	5.0	3.8	0.0	10.0	37.5	13.8
70代	350	9.4	18.0	12.0	0.6	1.7	0.0	0.6	6.6	41.7	22.0

■活動分野による集計結果

「ホームページ」、「広告」の他に、「会報誌」の利用も多く見られます。また、演劇では SNS の利用が多く見られます。

(%)

	n	ホームページ	広告	会報誌	Facebook	YouTube	X（エックス）	Instagram	LINE	その他	無回答
全 体	492	17.5	16.5	13.2	5.9	3.5	3.5	4.9	8.1	40.2	18.5
文学	32	9.4	18.8	37.5	3.1	0.0	0.0	3.1	9.4	34.4	12.5
クラシック音楽	31	61.3	12.9	0.0	19.4	6.5	9.7	12.9	3.2	32.3	9.7
音楽	118	17.8	20.3	11.9	5.1	5.1	2.5	1.7	5.9	38.1	14.4
美術	45	11.1	17.8	2.2	8.9	0.0	0.0	4.4	11.1	46.7	13.3
演劇	17	64.7	35.3	52.9	47.1	11.8	47.1	47.1	52.9	17.6	17.6
バレエ・モダンダンス・民族舞踊・社交ダンスなど	34	17.6	14.7	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	38.2	17.6
日本の伝統音楽	34	11.8	14.7	14.7	8.8	2.9	0.0	17.6	2.9	26.5	23.5
歌唱	90	17.8	12.2	12.2	3.3	3.3	2.2	2.2	11.1	40.0	17.8
書道	19	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	36.8	31.6
囲碁・将棋	25	8.0	28.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.0	28.0

問 16 文化振興に関するあなたの考えやアイディア、提案などを自由にお書きください。

■施設・交通の整備

意見
新たな文化ホール、小ホール、美術館の設置を要望いたします。市民の方々から本市の文化の程度の低さを指摘されております。公民館の利用料の無料化を図り、利用率の増加をすすめて下さい。
文化施設をふやして、もっと気軽に発表が出来るようにして欲しい
船橋市は美術、音楽共素晴らしい活動をしているのに立派な美術館も音楽ホールもない。総合的な芸術ホールが出来るのが夢だ。
三田公民館に文化活動が出来る照明、音響、防音設備を整えて欲しい。体育レクリエーションで文化活動のレベル up は厳しい
子供達へ手作りの人形劇をと努力していますが、練習場所の確保と道具の収納、足の便がないこと。(高令になってくるとマイカーの応用もむずかしい。公の運搬車が利用できると嬉しいです。足の便がないこと
公民館集会室の遮音 扉に付け替えてほしいです
新たな文化ホール、小ホール、美術館の設置を要望いたします。
本市に新しい文化ホール、小ホール、美術館の設置を希望します。
65 万人都市にふさわしい美術館があるとよい。
練習できる場所の増設。中規模ホールの新設。広報誌への掲載条件の緩和。
船橋市は近隣の都市に比べて文化施設が遅れている。それとアクセスが悪いので、活動が出来にくい。それとアクセスが悪いので活動が出来にくい。
音楽活動を行う施設が不足しています。新たな施設建設を実現していただければ大変有難いです。
駅に直結した文化ホールの設置を希望します。
公民館等に簡易的舞台の設置があるともっと広く利用できると思う
全国緑化習慣等でアンデルセン公園の屋外公園でウクレレ発表会がありました。船橋市内で活躍しているサークルはどのチームでも参加できました。気軽に屋外でやりたいです。(近くの親水公園で。)
練習場所、設備の整ったところが使える様に。
文化・芸術の発信施設。芸術家と市民の交流・チケットなくても中に入ってワークショップや展示物をみたり、食と文化をつないで誰もが入れる施設。
音響が良い大きなホールを作ってほしい。
船橋は 65 万市民となったが、文化的なことを発表する場所が市民文化ホールひとつというのはおかしい。ぜひ決断して下さい！
公民館利用の折、活動準備室の設置、ある公民館とない公民館があります。
希望 美術館を市内にもうけるべき 美術館ひとつない市でははずかしい
公民館等の活動場所が簡単に確保できる様望みます。
施設をもっと多く作って下さい
不便で老朽化した施設を刷新希望 市営の美術館創設
活動場所が欲しい。補助金制度があるといい。
文化振興は、心豊かにするのに重要、施設の設備・活動の支援。地域活動への関心が低い若年層が気軽に集まれる講座や施設
公立学校レベル、特に船橋市立の小中学校では管弦楽部の数が非常に多いにも関わらず、1都3県でオーケストラに適した発表会場を探す際、千葉県のみコンサート専用ホールが非常に少なく、文化レベルの低さを感じます。(コンサート専用ホールは浦安音楽ホールのみですが、キャパシティが小さい。)
このため、オーケストラに関わる人材が東京都内等に流出しており、船橋市の文化芸術振興・発展のため、千葉県内での良質なオーケストラの発表会場の整備を強く望みます。(過去の演奏経験や観客としての経験から、船橋市民文化ホールはアコースティックの音響に大きな課題があるものと認識しており、当団では使用を控えております。)
音楽団体が利用しやすい音楽ホール(1,200~1,500 人収容規模)の建設
写真展等を行う割安なギャラリーが不足しております。また、常設展の可能な場所があると有り難いです。
使い易いイベント会場の整備
音楽のまち・ふなばしというスローガンに相応しい街作り、そして、インバウンドに対するランドマークとなり得る
出演者も観客も誰もが気軽に楽しめるような野外音楽堂ステージ広場の建設、提供を強く望みます。※場所案:ららテラス(ミクシファンパーク内)や新医療センター新駅周辺等
週に一度 公民館で活動しております
練習会場を確保するのが大変です
又、公民館の駐車場が少ない 困っています。

意見
茶道の活動をするにあたり和室(茶室)、水屋、茶道具(備品)等は欠かせないが、船橋市にはそのための施設が整っていない。
千葉市の美浜園のような、庭園内に和室(茶室)のある環境があれば、日本の伝統的な文化を披露し、幅広く交流できる機会も増えるのではと思う。
現在の施設利用システムを簡易なシステムへ改善して欲しいと想います。
美術館を造って欲しい
船橋市は美術館が少ないように思います。
船橋市は芸術と文化音楽の街と良く聞きますが、コンサートホールは市民ホールのみで空調、音響は話にならないほど悪い。
満席のコンサートの際、空調が悪くのを痛めました。
文化の街を目指しているのであれば、関係者の皆様、机上ではなくて真剣に取り組んで頂きたいです。
免許返納やバスの減便等老人は遠くへ行けません 駅近の公民館はなかなか部屋が取れません 高根木戸駅前のイオンなどテナントが入らない所を公民館の分室として借上げてもらえませんか？
器楽演奏などの音楽活動において、思いっきり音を出しても近隣の方々のご迷惑にならないように防音設備などがあると良いかと思います。
設備がしっかりしている、あるいは周囲に家屋が少ない等、そのような環境があまりなく遠い施設まで出向いて活動する団体もあると耳にしています。
地域交流などイベント開催に費用の軽減、利用者の交通アクセスを充実したい。
例えば一時的の利用者拡大で駐車場が足りない時は、隣接する公共の場があれば利用出来るように柔軟性を持たせる。
我がサークルは、クラシックギター演奏を行っております。年に1度の定期演奏会を開催したいのですが、クラシックギター演奏に相応しい音楽ホールが船橋市内にはございません。希望は、定員 150～300 席の、木造の空間。そのため残念ながら隣接する習志野市「プラッツ習志野市民ホール」にて開催致しております。こちらの施設利用費が我々サークルに於いては非常に高額に感じております。今後、船橋市内にも室内楽に相応しく、手頃な利用料の使用できるホールが出来る事を、切に願っております。
騒音を気にする近隣住民が増えたので、講堂など広い部屋にも防音設備が必要だと感じました。

■情報発信・情報提供の充実

意見
市公報に、活動内容の紹介。
市の広報誌、地域新聞での広告が基本だと思います。地域新聞での広告が基本だと思います。
情報発信、地域との関係 とても大切だと感じております。
チラシの掲示
練習できる場所の増設。中規模ホールの新設。広報誌への掲載条件の緩和。
高齢者、特に一人暮らしで退屈している方に対する広報活動が出来るとよい。積極的なキャラクターの方がいればよいと思うが、町会で試したが思うようにいかない。
以前の会合でも話しましたが、会員の高齢化になやむ方が多かったです。発表の場と交流の場を増やす事。
(案例) 演奏会のロビーで写真や絵などの発表会を同時に行うとか…
機能を充実した魅力ある施設作り
公報にはサークル発信をするスペースが小さいので、別にあれば。
歩いて来て頂ける身近な場所での発表が、出演する側にも観る側も楽しめる。他サークルとの交流も楽しい。(高齢になると近くありがたい)
Facebook は公民館担当で願いたい。
広報等での紹介
千人の音楽祭に当団は毎年参加しています。これは今後も継続して頂きたい。文化都市ふなばしに相応しいイベントホール(収容 1,200 人位)があればと思います。
気軽に楽器に親しめる施設があれば、体験してみたい人達に喜ばれると思う。
他との音楽活動情報を知らせてほしい。
伝統音楽衰退同様我々の吟詠も先細りです。学校等での活動紹介があれば良い。
地元のアーティストや伝統職人を「ゲスト教師」として招き、体験型の授業を導入。
YouTube や Instagram、TikTok で、若者にも親しみやすい形で文化を発信。
インフルエンサーやクリエイターとコラボして「バズる文化紹介動画」企画を実施。
船橋市美術連盟は高齢化が進み、これからは SNS などを活用したいので文化課様にはご協力をお願いしたいと思います。
若い世代も参加できるよう、広報と場所の提供をお願いします。

意見
高齢者の働く世代が増えているが、働きながら、人生を楽しむ施設があることを、役所が広報等で宣伝して欲しい。公民館でサークル活動がある事すら、知らない人が結構いる。働くだけで、人生が終わるなんて、寂しすぎます。
アイデア・提案について。 メディアによる PR を強化したらよい。 有名歌手のバックコーラスをして、子供たちに「私もあそこで歌いたい」と思ってもらおう。

■鑑賞・体験・参加の機会の充実

意見
高齢者社会の進むなか、遠く迄行けない人々の為に近くで吹奏楽など開催出来ればと思っています。予算付けをしてほしい。
各公民館でのイベント（歴史・文化）に会員を提供し、講習会（座学＋現地見学会）を企画してもらっています。
サークル活動への体験機会の回数を増して、子どもから大人の方にも、体験の機会を持って頂きたいです。
絵手紙は人と人をつなぐ。もらって嬉しい相手の思いやりが伝わるのが絵手紙 現在はスマホ・パソコンの時代だからこそ、もっと手書きの魅力が広まると良いと思う
日常的に文化に触れる機会を子どもにも大人にも増やし、心豊かな生活を皆が送れるようにできたらと思う。
公民館祭り後、早めにサークル体験日、展示をお願いしたい。
陶芸で言うと基礎を教えてくれる従来のいきいき大学の陶芸科が絶対に必要です。
今年 8 年目を迎えますが年齢が高くなり若い方が参加して下さらないのがなやみ。それでも年齢は問いませんのでたくさんの方に民踊のおどりを体力づくりと共に楽しんでいただきたいと思います。
取掛西貝塚のような講演会はとても有意義でした。他の史跡の発表会なども企画して下さい。
急速に変化していく世の中の流れで、若い世代につなげていくむずかしさを感じています。世代間の交流がもっと出来る様なイベントや情報の活かし方などを話し合える機会があるといいと思います。
船橋の音楽フェスタが公民館まつりと重なっているために変更してほしい。何か音楽フェスタみたいな楽しめる行事をふやしてほしい
文化祭や展覧会等での発表の場があるとはげみになる。
地元のアーティストや伝統職人を「ゲスト教師」として招き、体験型の授業を導入。 YouTube や Instagram、TikTok で、若者にも親しみやすい形で文化を発信。 インフルエンサーやクリエイターとコラボして「バズる文化紹介動画」企画を実施。
初心者の方が入りやすい講座の開設などを支援していただけると嬉しいです。 また、公園などでお茶会を開催し、地域の皆様に楽しんでいただきたいと思います。
障害のある子どもたちも美術や音楽に触れることができる環境の整ったイベントがあると嬉しいです 生きがいのひとつであり、交流の場としてもとても重要だと考え、積極的に参加させていただいています。 イベントなど発表の機会がもっとあればありがたいです。
地域における芸術イベントの活性化と支援、学校教育への芸術、伝統文化の導入
船橋市主催の講座、コンサートの企画。 船橋市に在住のアーティスト、講師による企画。市内にいる素晴らしい芸術家、研究者の発掘、把握。 講座、コンサートなどの企画チームに市内のアーティスト、研究者、専門家を入れる。 音楽、舞踊、文化、幅広いジャンルの専門家がたくさんいらしています。 文化振興アドバイザーとしての活動を考えは？
身近で気軽にいろいろな体験ができる機会があればいいですね。
ジャズバンドやってます。都内に比べて大学が少ないせいか、ジャズを演奏できる若者が少ない。特にピアノ。 音大を卒業して、音楽教室の先生やって、人生が終わるのはもったいない。 新しいことにトライするきっかけを作ってあげたい。ジャズを引くと、クラシック演奏に支障が出ることは少ないと思う。

■子ども・若者が文化芸術に親しむ機会の充実

意見
若い世代の方々に興味を持ってもらえる様な展示・情報の仕方 一緒に活動できたら理解してもらえると思うのですが次に繋げたいですね
地元の小・中学校の生徒人員数が少く（例えば合唱部、吹奏楽部）部活もできない様です。数校集めて練習できませんかね。

意見
千葉県内でも船橋市の子供達に日本伝統文化に触れるきっかけづくりのイベントが少ないと思う。また、小中学校での体験も少ない事は残念であります。松の会は地道ですがひき続き活動を通じて、敷居が高いと思われる。能楽を身近に感じてもらえるようがんばりたいと思います。
生身の人間が演奏する感動を若い世代につなげてきます。
児童ホーム、公民館などで人形劇の機会を設けて頂き、地域の子ども達に人形劇の楽しさ、おもしろさを広めるようにしていただきたいです。
子供達のためのサークル?教室月1回位?年に1回の2回のあとサークルになれば?子供てまり
小中学校に訪問して、ステージ発表等を行い、活動を宣伝して広めたいです!!
文化活動は生活の豊かさや子どもたちの成長をうながす基本的なものであり、普段から気軽に参加できる機会が多くあることが望ましい。又教育活動における文化的感動の経験は大切なので、それらの機会を行政も意識して行って欲しいです。又、各種団体と市の公民館や学校・保育園・幼稚園などとの協力関係が出来るとうれしいです。
公民館が地域の若者に文化活動を広める活動に協力して欲しい
文化は全世代に大切な中の、30～50歳代は多忙で離れがちになる。子供・若年層に蒔いた種がいずれかの年代で開花できればと思います。
・子ども達に継続・定期的な演劇等の鑑賞の場の保障と充実を望みます ・より多くの船橋市民の方に良質な演劇・コンサートなどを届けるために市民割引の実施を望みます
子どもたちに継続・定期的な演劇等の鑑賞の保障と充実を望みます。学校教育の場で!
会員が高齢化しているので、若い人が参加できるような呼び掛けが必要と思います。
子どもたちに継続・定期的な演劇等の鑑賞の場の保障と充実を望みます。
地域における芸術イベントの活性化と支援、学校教育への芸術、伝統文化の導入
文化芸術活動はリタイア世代の参加が圧倒的に多いが、若い時から親しんでいないと急にできるものではない。若い人たちが参加できるよう、啓蒙活動も重要となる。例えば、若い人が参加しやすいように、演奏会の場合、30歳以下の割引については補助するような取り組みがあると良いように思う。
子どもたちに継続・定期的な演劇等の鑑賞の場の保障と充実を望みます。
子どもたちに、継続、定期的な演劇等の鑑賞の場の保障と充実を望みます。 無料で観に行ける機会がたくさんあれば、塾や習い事で多忙な子どもも行ける機会が生まれると思います。テレビやスマホやパソコンの平たい映像ではない生身の創造作品に触れることは、子どもの心の栄養補給になります。子ども食堂と同じくらい、心も満たすいつでも行きたい時に観られる文化芸術の機会を作ることは大切ではないでしょうか。

■経済的な支援

意見
新たな文化ホール、小ホール、美術館の設置を要望いたします。市民の方々から本市の文化の程度の低さを指摘されております。公民館の利用料の無料化を図り、利用率の増加をすすめて下さい。
高齢化が進む近年、地域でのイベントを充実したものにしたいと思います。その為の予算の見直しを考えてほしい。地域ふれあいコンサートなど、地域でのイベントを充実したものにしたいと思います。そのための予算の見直しを考えてほしい。
高齢者社会の進むなか、遠く迄行けない人々の為に近くで吹奏楽など開催出来ればと思っています。予算付けをしてほしい。
文化ホール空いていれば公民館の講堂なみの価格で練習場所として使えるようにしてほしい
公民館（特に体育館）の使用料を下げてほしいです。
・安価で少人数でも利用できる談話室を望む ・市で所有する美術品があれば、市民に大いに公開して欲しい。
・子ども達に継続・定期的な演劇等の鑑賞の場の保障と充実を望みます ・より多くの船橋市民の方に良質な演劇・コンサートなどを届けるために市民割引の実施を望みます
活動場所が欲しい。補助金制度があるといい。
物価高の中で文化・芸術から遠ざかる一方。地域振興券のように、映画・演劇・音楽・美術・鑑賞等々の文化共通券で、料金や会費の補助があると心のよりどころとなるのでは。
当方の活動は、和太鼓です。 どうしても和太鼓が必要になります。 ですが、和太鼓は1台でもそれなりの金額(70万円程度)が掛かります。 どうしても資金繰りが難しいので、何かしらの形でご支援いただけると助かります。
文化芸術活動はリタイア世代の参加が圧倒的に多いが、若い時から親しんでいないと急にできるものではない。若い人たちが参加できるよう、啓蒙活動も重要となる。例えば、若い人が参加しやすいように、演奏会の場合、30歳以下の割引については補助するような取り組みがあると良いように思う。

■高齢者の文化芸術活動

意見
高齢化が進む近年、地域でのイベントを充実したものにしたいと思います。その為の予算の見直しを考えてほしい。地域ふれあいコンサートなど、地域でのイベントを充実したものにしたいと思います。そのための予算の見直しを考えてほしい。
1年に1度の公民館まつりですが、もっと年よりでも参加できるイベントをやって下さい。(楽しく元気になるようなイベントです)
老後をぼけたり寝込まないで元気に過ごしたい。
公民館で活動している団体が多いけれど若い人がどの団体もない 後が続かないことにこまっている。
以前の会合でも話しましたが、会員の高齢化になやむ方が多かったです。発表の場と交流の場を増やす事。 (事例)演奏会のロビーで写真や絵などの発表会を同時に行うとか…
会員の高齢化に伴う減少を少しでも止めるよう努力してゆく。
高齢化社会になり、閉じこもり予防になるよう、文化的、かつ楽しみながら気楽に長く続けられる団体が増える事を望みます。
船橋市美術連盟は高齢化が進み、これからは SNS などを活用したいので文化課様にはご協力をお願いしたいと思います。
高齢者の働く世代が増えているが、働きながら、人生を楽しむ施設があることを、役所が広報等で宣伝して欲しい。公民館でサークル活動がある事すら、知らない人が結構いる。働くだけで、人生が終わるなんて、寂しすぎます。
免許返納やバスの減便等老人は遠くへ行けません 駅近の公民館はなかなか部屋が取れません 高根木戸駅前のイオンなどテナントが入らない所を公民館の分室として借上げてもらえませんか？

■文化芸術活動を通じた交流

意見
情報発信、地域との関係 とても大切だと感じております。
年令、経験を越えた交流
各公民館で活動しているサークル間の交流
文化・芸術の発信施設。芸術家と市民の交流・チケットなくても中に入ってワークショップや展示物をみたり、食と文化をつないで誰もが入れれる施設。
各団体間の交流が盛んになれば新しい流れが生まれると思います。
交流の場を工夫して積極的に活用する。
市内の他の水彩画サークルを紹介してほしい。交流できれば励みになります。

■その他

意見
文化振興とは直接関係ないが、公民館を活動の場として市民がもっともっと利用することが必要。長くみればこれが文化振興に連なっていくのではないかな。
「文化」の必要性を広く知ってもらい、文化がコミュニケーション、精神などの安定に有効であることを伝え、活用してもらえるように工夫したい。
福祉協議会に於けるミニデイサービスに於いて、駐車場の確保ができる為、ボランティア活動を断念せざるを得ない場合がある。
美しい日本の歌を、後世に伝えていきたいとの思いが強いです。
三味線や尺八等高齢化により人口減少が進みなかなか遠い過去の物にされそうですが唄の詩をよく見ると、過去の日本の生活そのものです。昔があつて今に至る事を忘れてはいけないと思います。テレビや公共の放送でも増やしてもらってこの文化を保ち続けてほしいものです。
若い方々の文化に対する関心や経済的余裕がないように思います。社会的に浸透する方法があれば良いのではないのでしょうか。
地域にある公民館でいろいろな活動が出来ることはとてもよいと思います。これからもよろしく願い致します。
広告物には指導者名や講習者名、を必ず入れること…(この人ならと出欠を判断できるように) 刊行物には奥付を必ずつけること 特に発行年月日、いつどこで現在のこと、などわかることにする

意見
船橋市老人福祉センターで将棋の交流会を企画した所、車いす使用者の入館を断られた。市役所の担当課に「障害者に対する合理的配慮の提供」の義務化に違反していると質問したが、「設立コンセプトに車いす使用者を認めていない」と答弁がかみあわなかった
①市民誰でも文化的活動に参加出来るよう「合理的配慮が行われる」ことを希望する 最低市の施設ではすみやかな実施を要望します
②アクティブシニア介護予防補助金について 条件 30 分以上の体操の実施をとりのぞいてもらいたい 体操だけではなく文化活動も定期的に実施することで介護予防にもつながっていると考えます 文化芸術活をすることは、生きがいづくりであり、交流の場を設け、仲間づくりに励んでいる団体を認めてほしい 文化イベント開催の時には、なるべく家族づれできてもらおうとよい。
市文化課の協力があることは、とても心強いです。東武デパートでの開催が失くなったことは残念です。できれば復活させたいです。
地域の文化祭が賑やかで楽しく魅力あるものにしたい。
上部団体（千葉県能楽連盟、船橋市謡曲連合会）とかの活動において、市の協力をより一層御願ひしたい。（宣伝等）
戦後の高度経済成長期に生まれた日本発の文化であるカラオケを、今後も絶やすことなく継承していきたい。
ばか面おどりのお面など制作する方がいなくなりおかめ面が手にはいりにくくなりよい物があればと思っています。費用面なども考えています。
同好の士（我々の場合は合唱愛好者）が少しでも多く集まる方策があれば良いのですが
年 1 回のウクレレフェスタの協賛いただいております。感謝申し上げます
・安価で少人数でも利用できる談話室を望む ・市で所有する美術品があれば、市民に大いに公開して欲しい。
特定の団体・サークルへの補助金は行政不安を感じています。公平に福祉的な団体への行政補助が必要だと思えます。
才能のある人への支援。
問 1 に詩吟がないのが悲しかったです。
船橋の音楽フェスタが公民館まつりと重なっているために変更してほしい。何か音楽フェスタみたいな楽しめる行事をふやしてほしい
公民館活動に於いて各サークルの指導者に対する謝礼の額の中が、広すぎて、上限額が不明で、総会の際いつも問題になる。公民館側からあらかじめ上限額を提示していただきたい。
公民館の祝日の開館（現状祝日は閉館） 働いている人などが使用できない。年間 12～13 日休館。
自団体には顧問 1 名が演技指導をされてますが、その方は複数の団体を掛け持つため負担が大きい。元祖湊地区から指導者を派遣していただく体制等の構築を望みます。
行政の取り組みが不足している。
文化は地味な事柄ですがまわりの理解も必要です。
陶芸の魅力を発信。「NHK 美の壺」等、公共の電波を使って施行できれば徐々に情宣出来るのでは？
文化振興とは直接関係ありませんが、防災対策により留意して下さい。
公民館の文化祭に出演する
文化の臭いのしない町”船橋”が転入の時の第一印象です。文化ホールのお粗末さ（市川、習志野市と比較して）が物語っている。
インターネットで手軽に、会員の負担なく、会場予約ができて、地道な活動をコツコツと積み重ねていければと思います。
文化施設必要です。文化は生活にとって一番必要と思ってます。
時代が季節との作品 子供～大人も楽しみな折紙で
毎年、作陶に関する講師をまねいて会員のレベルアップを図っているが、講師を探すのに苦労しているのが現状です。講師一覧的なものが有れば助かります。
最近はホテルのホール等の使用料が高額な為パーティーなどが少なくなった。
ウクレレフェスタは、もっと気軽に参加出来る様になるといい。
インターネットで手軽に、会員の負担なく、会場予約ができて、地道な活動をコツコツと積み重ねていければと思います。
今、手書きのハガキ、手紙、手造りの物と言う物が必要とされなくなって来ている。 又、切手 85 円は高い、ラインで事足りるが多くなってしまった。子供に（ゆとり教育）などと言うが大人に心のゆとりがない。残念です！！
老人大学 健・スポの仲間をつくったサークルですので、生き生き大学との連携により社交ダンスのよさを紹介してゆきたい。
盆踊り等昔ながらの地域の行事に小中学生が参加できるとよいのですが、ヒップホップなどは踊りますが日本の踊りは踊ってくれませんか。
市民文化振興に対する姿勢が他の市と較べて貧弱、もっと力を入れて市民が利用できる様にしたい。
日本古来の文化（詩吟）を 20 数年できた事は良い思い出になった

意見
生涯学習です。現役で活躍している会員もいますが、幼少の頃学校時代も頑張っていたと思いますが、70才、80才になってからでも又主役になってもらいます。指導しますと詩吟に無垢な人も花が咲きます。自信を持ちます。地味な活動ですが生き甲斐を見つけて、年に一回は発表会をして楽しんでもらいます。社会福祉協議会に登録し、施設の紹介をして戴いています。
FMSに応募するがなかなか出演できない 出演わくを多くして頂きたい
現在、人気のあるアーティストを船橋にもっと読んで欲しい（はらみちゃんとか…）オペラも見たいです。ポップス系も。
文化振興は、心豊かにするのに重要、施設の設備・活動の支援。地域活動への関心が低い若年層が気軽に集まれる講座や施設
市民ギャラリーでの公的展示を多くしてほしい。
文化振興に関しては、地域によって中心部から離れており狭い範囲での活動になります 出来れば市境の地域は近隣の市町村との連携を持つような事が出来れば活動の幅も広がり活発になるのではないかと思います ※小室公民館を中心に活動しておりますが、白井市、印西市の方との交流も必要では
船橋市は残念ながら、歴史的に隣の市川市と比しても可成遅れているように思います。伝統のある文化を途絶えないように続けて行くにはどうしたら良いか？ 若い人たちへ繋いでゆく為には如何すればいいか？ それが私達の大きな悩みです。
船橋市主催の講座、コンサートの企画。 船橋市に在住のアーティスト、講師による企画。市内にいる素晴らしい芸術家、研究者の発掘、把握。 講座、コンサートなどの企画チームに市内のアーティスト、研究者、専門家を入れる。 音楽、舞踊、文化、幅広いジャンルの専門家がたくさんいらしています。 文化振興アドバイザーとしての活動を考えは？
現役世代は忙しすぎて、文化振興に時間やお金を割く余裕が無い。 しかし色々な人と話をしていると「茶道はどんなお茶か飲んでみたい」「前やってたが辞めた」「興味はあるが何処で体験できるかわからない」「先生がどんな人か不安」などの意見あり、そういうニーズを汲み取れないから現状があるのではと思っている。 当サークルも皆高齢者で足腰悪い方が多く車で送迎しなければとづくに解散していた。 入ってくる会員によっては揉め事も多々あり、誰でも入会させれば良いと言うことでもない。 文化振興を促進するなら先ず個人個人の人間性が良くなければ継続不可能なので、先ずそういう教育や啓発が広く行われなければ難しいと思う。
（スポーツなどももちろんそうですが）文化芸術には違いを超えて人と人の気持ちをつなぐことのできる側面があります。また生身の他人と向き合う活動を通じてものを考える基礎も養われます。分断の深刻化が続く今後の社会において、+αのうるおい、ではなく、豊かで柔軟な社会を維持するための重要な基盤の一つになるように思います。 これまで船橋の芸術（の中でも音楽）の一分野を強力に担っていた学校の音楽活動が部活動の形態変化により今後弱まっていく可能性があります。 船橋は戦後すぐに文化団体が復活し、また社会教育行政も強力に動き、その両者が支え合いながら芸術文化活動が育ってきた地区、と認識しています。 そのような中、船橋の文化芸術活動のこれまでの歴史、特性、現状を知った上で他地区の事例や全国的な動きなどもふまえ、将来を見据えた取り組みを進めるには、文化活動とは何か、日々の事業に何があるか、を知ることから始まるゼネラリストの方だけではなく、腰を据えて取り組むスペシャリストの方を中心とした動きがあるのでは…と思います。
活動や発表の場の提案。 公共のイベントへの参加
団体、同好会等の公民館集会室の予約も大変だが、駐車場が少なく大変(各団体の振り分けが多いところで3台、高齢者が多く車希望者が多い。近隣に有料駐車場も少ない所が多い)
何か自己表現、啓発をしたい人もいるはずと思うが、行動に思い切らないように感じます。 誰でもはじめは初心者なので、少し気楽に参加してはどうでしょうか

IV 調査結果の分析と課題整理

1 調査結果の分析

●文化芸術の鑑賞に積極的な市民特性。特に若い世代に顕著

- ・この1年間に何らかの文化芸術を鑑賞している割合（鑑賞率）は86.3%と、9割近い市民が文化芸術の鑑賞を行ったことがわかりました。若い世代ほど鑑賞率が高い傾向がみられます。
- ・文化庁が令和6年度に実施した「文化に関する世論調査」の全国結果を見ると、外出を伴う形での鑑賞率は43.1%、メディアを通じての鑑賞は57.9%と、全国的に見ても高い数字です。
- ・文化芸術の鑑賞に「関心がある」と回答した割合は78.7%で、鑑賞率同様、若い世代ほど高くなる傾向があります。
- ・市民の文化芸術への興味関心は高く、文化芸術に積極的な市民特性が見て取れます。若い世代ではその特性がより強く表れています。

●鑑賞の阻害要因は「時間がない」「興味ある催し物がない」「情報が得られない」

- ・この1年間に鑑賞しなかった理由は「文化芸術に関心がないため」（36.0%）が最も多いですが、興味があるにもかかわらず鑑賞しなかった理由は「子育て、介護、仕事、学業などで時間がなかったため」「興味のある催し物がないため」（ともに24.0%）、「催し物の情報が得られないため」（16.0%）が上位となっています。
- ・どうすれば文化芸術を鑑賞する機会が増えたり、鑑賞しやすくなったりすると思うかという質問の答えを上記の阻害要因の視点から見てみると、「居住地の近くで鑑賞することができる」（63.7%）が2位の「好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる」（52.5%）より10ポイント以上の差で1位となっています。「催し物に関する情報が入手しやすくなる」は40.3%でした。

●文化芸術活動が非常に活発で、特に音楽の活動が盛ん。一方で文化団体の高齢化も

- ・文化芸術活動は39.1%で、文化庁が令和6年度に実施した「文化に関する世論調査」の全国の結果（13.6%）を大幅に上回っています。
- ・特に「歌唱」「音楽」が上位となっており、また、船橋市内で活動する文化芸術団体の活動ジャンルも「音楽」「歌唱」が上位を占めています。『音楽のまち』を掲げ市民主体の音楽事業を長年継続してきた成果が表れた結果となっています。
- ・一方、文化芸術団体の会員の平均年齢は60代以上と回答した団体がほとんどで、若年層が少なくなっている状況が見られます。課題としても会員の高齢化や減少が圧倒的に多くあげられています。

●文化芸術活動の阻害要因は「きっかけがない」。若い世代では「時間がない」も

- ・活動しない理由としては、「文化芸術活動に興味がない」は13.4%にとどまっており、興味があるのに活動をしなかった理由で最も多いのは「きっかけがない」（36.9%）でした。
- ・若い世代を中心に「仕事や家事が忙しくて時間がない」の回答割合も多く、特に30歳代、40歳代の回答として最も選ばれており、仕事や家事との両立が難しいことが考えられます。
- ・「活動に関する情報が少ない」も20.0%と4番目に多い割合となっています。
- ・文化芸術活動に参加しやすくするためにはどのようにすればよいと思うかという質問の答えを上記の阻害要因の視点から見てみると、「居住地の近くで活動に参加することができる」（61.9%）が他の項目より20ポイント以上高い割合となっています。「初心者向けの活動が行われる」（40.3%）も4割を超えています。

●文化芸術活動で市外の施設を使用している市民が一定数みられる。文化芸術団体の考える市の重要な取組 1 位は「文化施設の整備・充実」

- ・文化芸術活動をしている市民が活動に使用した施設は、「公民館（船橋市内）」（27.6%）、「船橋市民文化ホール」（25.2%）と市内の施設が上位 1～2 位となっていますが、「市外の公共施設（公民館、コミュニティーセンターなど）」（22.6%）、「市外の民間施設（スタジオなど）」（22.0%）と市外の施設も 3～4 位となっています。
- ・活動をしない理由で「近くに活動に適する場所や施設がない」と回答した割合が 1 割程度みられます。
- ・文化芸術団体のアンケートでは、文化芸術振興のために重要だと思う取組として「文化施設の整備・充実」が 55.3%で 2 位と 10 ポイント以上の差で最も多くなっています。

●歴史や遺跡、文化財への関心が高い

- ・この 1 年間の文化活動で 4 番目に多かったのが「歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）」（41.7%）でした。また、文化活動に興味がある人のうち、今後行ってみたい活動で最も高い割合（31.5%）を示したのも「歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）」でした。
- ・市内には多くの文化財や約 200 か所の遺跡があることに加え、令和 3 年に国内でも希少な約 1 万年前の縄文時代早期前葉の貝塚と集落跡である取掛西貝塚が船橋市で初の国史跡に指定されたことも関心を高める要因になっていると思われます。

●子どもの学校以外での文化芸術活動は大人同様に盛ん。市民は子どもの文化芸術体験が重要と認識

- ・子どもと同居する市民に一番下の子どもについて、学校以外での文化芸術鑑賞と活動についてきいたところ、鑑賞率は 80.5%、活動率は 39.6%でした。18 歳以上の市民と比べて鑑賞率は約 6 ポイント低く、活動率はほぼ同率となっています。文化庁の「文化に関する世論調査」では子どもについては外出を伴う鑑賞率のみのためここでは比較しませんが、活動率 27.2%と比較すると 10 ポイント以上高く、18 歳以上の市民同様、活発に活動していることが明らかになっています。
- ・文化芸術の振興が地域や社会にもたらす効果として「子どもが心豊かに成長する」（36.8%）が 3 番目に多く選択されており、船橋市が今後力を入れるべき取組としても「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」（30.0%）は 2 番目に多いという結果になっており、子どもの頃から文化芸術に親しむことの重要性は、市民の意識の中でも強く認識されていると思われます。

●約 6 割が船橋市ゆかりのアーティストを「知らない」。一方で「活躍している」と思う割合は「活躍していない」と思う割合を上回る

- ・船橋市ゆかりのアーティストが活躍していると思うかという質問に、「船橋市ゆかりのアーティストを知らない」と回答した人は 59.1%でした。また、「わからない」と回答した人は 22.0%います。
- ・「活躍している」と思う人（14.3%）は、「活躍していない」（3.7%）を 10 ポイント以上上回っています。
- ・市内で鑑賞したいものとして「地元出身・ゆかりのアーティストによる展示会やコンサートなど」は 21.0%と、高い割合とはいえない結果でした。

●障害者による文化芸術活動の鑑賞や参加経験のある割合は 42.1%。市内での鑑賞・参加割合は 1 割未満

- ・障害者による文化芸術活動の鑑賞や参加経験のある割合（「鑑賞や参加をしたことはない」と「無回答」を除いた割合）は 42.1%でした。鑑賞・参加経験のあるなかでも市内での経験は 7.9%と低い

割合となっています。

●障害者の外出を伴う文化芸術鑑賞率は 17.7%

- ・平成 30 年度に市が実施した「船橋市障害福祉施策に関する意識調査」では、余暇時間に行っていることとして「映画、音楽、観劇、行事などへ行く」が 17.7%、「図書館や博物館などに行く」が 8.4% となっています。
- ・療育手帳所持者（知的障害のある方）、市内の精神科医療機関通院者（精神障害のある方）は「映画、音楽、観劇、行事などへ行く」がそれぞれ 21.8%、27.6%と比較的高い割合になっています。
- ・船橋市の文化振興のために今後力を入れていくべき取組として 14.8%が「年齢、性別、国籍、経済状況、障害の有無等を問わずあらゆる人が文化芸術に参加できる環境を整えること」と回答しています。

●「音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭」の認知率は 42.5%

- ・市内で行われている文化芸術イベントについて、認知度（「知らない」と「無回答」を除いた割合）が最も高いのは「音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭」（42.5%）、以下「地域ふれあいコンサート」（35.5%）、「ふなばしミュージックストリート」（31.0%）、「船橋市役所ロビーコンサート」（27.5%）、「まちかど音楽ステージ」（20.5%）、「船橋市所蔵作品展」（12.8%）となっています。
- ・すべてのイベントについて「知らない」が5割を超えています。

●66.9%が船橋市を「市民の文化活動や市の文化事業に対する取組が盛んなまち」だと「思わない」。文化芸術活動の活発さについては市民の意識に差

- ・船橋市を「市民の文化活動や市の文化事業に対する取組が盛んなまち」だと思う割合は 30.4%で、思わない割合（66.9%）の約半分となっています。
- ・思わない理由で「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから」（33.2%）は2番目に高くなっていますが、思う理由で最も高いのが「音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから」（46.8%）となっており、文化芸術活動の活発さについて市民の意識には差があることがわかります。

●文化芸術を活かしたほうがよいと感じる分野は「まちづくり・地域活性化」をはじめ多岐にわたる

- ・文化芸術を活かした方がよいと感じる分野は「まちづくり・地域活性化」（53.2%）、「観光」（35.9%）、「スポーツ・健康増進」（35.1%）、「経済・産業」（30.4%）、「国際交流」（23.4%）となっています。
- ・船橋市の文化振興のために今後力を入れていくべき取組として 15.3%が「文化芸術と観光、福祉、産業など他分野が連携し、多様な文化事業を実施すること」と回答しています。

●情報発信のニーズが高い。若い世代は SNS、高齢者は紙媒体から文化芸術の情報を取得

- ・文化芸術鑑賞や活動のためにあると思う支援等は「催し物等に関する情報発信」（63.9%）が圧倒的に多く、また、船橋市の文化振興のために今後力を入れていくべき取組としても「文化芸術に関する情報発信を充実すること」（48.9%）が他の取組よりも 20 ポイント以上の差で最も多くなっています。
- ・文化芸術の鑑賞をする際に利用する情報媒体として、全体では「Web サイト」（51.0%）が最も多くなっていますが、年齢別に見ると、「Instagram」等 SNS の割合が若い世代で高く、年齢が上がるにつれて「新聞」や「広報ふなばし」の割合が高くなるなど、年齢によって利用する媒体が異なっていることがわかります。

2 課題の整理

●高い鑑賞率・活動率の維持・拡大、文化芸術活動への積極的な支援

- ・現在の市民の文化芸術鑑賞率・活動率は、ともに全国的に高い水準にあります。これは、市が『音楽のまち』を掲げ市民主体の音楽事業を長年継続してきたこと、専門家やプロアーティストを市内の小・中・特別支援学校に派遣し、子どもたちが文化芸術を体験する授業を実施してきたことなどの成果が表れた結果と考えられます。
- ・一方で、文化芸術に興味があっても鑑賞できなかった市民も一定数いることがわかりました。身近な場所やまちなかで気軽に文化芸術に触れる機会を増やす、働く人が行きやすい時間や曜日の設定、子連れでも参加できる環境整備など、多様なライフスタイルに合わせた取組が求められます。
- ・同様に、文化芸術活動に興味があるにもかかわらず実際に活動ができていない市民も多いことがわかりました。また、文化芸術団体では会員の高齢化や減少が大きな課題となっています。
- ・市民の文化芸術活動が活発化することは、文化芸術団体の後継者不足解消の足掛かりとなる可能性もあります。さらに、市内の文化芸術団体やアーティストにとって、指導者という新たな活動や収益源にもつながることになります。こうしたことを踏まえ、市民による文化活動活発化に向けた総合的な支援について検討が必要と思われます。
- ・高い鑑賞率を維持・拡大していくためには、文化芸術を提供する側である文化芸術団体やアーティストの活動の継続を支援する取組も必要です。活動場所や情報提供に関する支援はもとより、オンライン配信など、新たな鑑賞形態に対応するための支援策なども視野に入れて検討する必要があるでしょう。
- ・市内で質の高い公演や展示会が多数行われていることは、市のイメージアップや外部からの集客に加えて、市民のシビックプライドの向上にもつながり、「社会的・経済的価値」を生み出す源泉ともなると考えられます。

●市民の活動内容に適した練習や発表の場の提供、広場・公園など公共空間や空き店舗などの活用

- ・文化振興のために力を入れるべき取組として「文化施設を整備・充実すること」が市民アンケートでは21.5%、文化芸術団体アンケートでは55.3%と半数を超えて回答されています。また、アンケートからは多くの市民が多様な文化活動を行っている様子がうかがえます。そのため、単に練習室や舞台を整備すればよいということではなく、必要なのはそれぞれの活動内容に応じた練習・発表環境の整備であるといえます。
- ・また、身近な場所で鑑賞や体験、活動をしたいという声が多くみられました。身近で気軽に文化芸術を体験できることは、文化芸術に興味を持ったり、文化芸術活動を行うきっかけにもなり得ます。文化施設だけではなく広場や公園、空き店舗なども活用してより多くの市民が文化芸術に触れる機会を増やすことも検討していく必要があります。

●情報を届けたい相手に応じた情報提供手法の検討

- ・市内のイベントの認知が十分でないことや、市内の文化芸術活動の活発さについて市民の意識に差があること、市ゆかりのアーティストの認知が低いことなどが明らかになりました。また、市民の文化芸術に関する情報提供のニーズも高いことがわかりました。
- ・現在の情報提供には二つの点で特徴がみられます。一点目は年代を問わずWebサイトを情報源としている市民が最も多いこと、二点目は若い層はSNSから、高齢層は紙媒体から情報入手しているこ

とです。

- ・今後情報源として増えていくであろう SNS では、よく見る情報が上位に来るため、本人がフォローしない限り、こちらからいくら情報を提供しても届かないという問題があります。そのためフォロー以外にも情報が届く工夫が必要になります。
- ・このように、情報の入手手段が急激に変化してきていることも踏まえ、情報を届けたい相手に効果的に情報を届ける手法について、詳細に検討していくことが求められます。

●障害の有無に関わらず誰もが文化芸術に参加しやすい環境づくり

- ・障害のある方の外出を伴う鑑賞率は決して高いとはいえないことがわかりました。
- ・国は平成 30 年に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」を制定し、その中で施設や鑑賞環境の改善、情報提供の方法の工夫など、障害のある人が鑑賞や活動をしやすいするための環境整備を求めています。
- ・障害の特性に応じて文化芸術に接することができるような環境整備として、すべての施設のハード面をすぐに改善することは難しいですが、バリアフリー情報の提供、介助サポートや鑑賞サポート（字幕、手話通訳など）、障害者対応のボランティア育成などの取組を進める必要があります。
- ・また、様々な公演で障害者の鑑賞がより容易になるよう、主催者が鑑賞サポートをつける場合の助成制度なども検討していく必要があると思われます。

●伝統文化や文化財の継承および活性化に向けた支援

- ・市には、地域ごとに祭りや伝統芸能、歴史的な建造物、文化財、遺跡などが数多く存在します。令和 3 年には取掛西貝塚が船橋市で初の国史跡に指定されました。
- ・船橋の地域の特色を伝える有形無形の文化財は、市民主体で受け継がれ、地域に親しまれています。アンケートでも歴史的な建物・遺跡・文化財への興味関心が高いことが明らかになりました。しかし、こうした文化財の担い手の高齢化やそれを受け継ぐ若年層の減少により、地域の文化財の継承に支障が生じることが懸念されています。
- ・市民が船橋の歴史や文化財に興味・関心を持てるよう、埋蔵文化財の発掘調査等の成果を博物館などで活用するとともに、各地域で守られている郷土芸能などの有形無形の文化財の周知や保護・保存の啓発に取り組むことが必要です。
- ・また、文化財を舞台にした文化芸術イベントの開催などにより認知度を高めるなど、文化財を活用した取組を検討する必要もあります。
- ・このような総合的な取組を検討し、文化財や伝統文化を支えることは船橋の魅力をさらに重層的なものにしていくと思われます。

●他分野と連携した取組み有効性

- ・アンケートでも、文化芸術を活かしたほうがよい分野として まちづくり・観光・スポーツ・産業・国際交流などが挙げられていました。市民も、文化芸術が他分野と連携することによるメリットを感じているといえます。
- ・他分野と連携することで多様な文化事業を実施できるというだけでなく、他分野にとっても文化芸術を手段・ツールとして活用することにより、地域課題の解決や認知の向上、交流の促進など、各分野の取組の効果を大きく高めることができると思われます。
- ・文化芸術基本法においても、文化芸術は他分野との連携のもと推進されるべきとされており、船橋市においても、部署間を横断した連携体制の構築が必要です。また、市民団体・NP0・企業も含めた行政内外の橋渡しを強化することも求められます。全国の中核市では、首長部局に文化行政を主管

する部局を設置する自治体が大半であり、船橋市でも、効果的な体制のあり方を検討する必要があります。

●横のネットワークを広げるマッチング機能の整備

- ・市内には、文化芸術団体のみならず、地域の社会的課題解決や活性化などを目的とする様々な団体や意欲的な個人が活動しています。こうした活動を支えて連携による新たな価値が創造されるよう、支援していくことが望まれます。
- ・人と人をつなぎ輪を広げていく交流の機会を設けることなどが考えられます。また、文化活動を行いたい市民とメンバーを募集している団体や指導者のマッチング、イベントを企画する商店街や企業などと文化芸術団体や市ゆかりのアーティストのマッチングなど、市民の意欲を活動につないでいく機能も検討する必要があると思われます。

V 調査票

1 市民向け

船橋市 文化芸術振興に関するアンケート調査 ご協力をお願い【市民の皆様】

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
船橋市では、平成 29 年に船橋の文化を未来に引き継ぎ、船橋らしい文化を創造するために「文化振興基本方針」を策定しました。現在の「第 2 次船橋市文化振興基本方針」では、「ふるさと船橋」に親しみを感じることができるよう、文化施策を推進していますが、同方針は令和 8 年度までとなっていることから、新たに令和 9 年度より開始する「第 3 次船橋市文化振興基本方針」の策定をすることとなりました。そこで、市民の文化・芸術及び文化施設等に係る関心や期待、利用実態等を把握するためのアンケート調査を実施いたします。

2025 年 7 月 1 日現在、船橋市に住民登録されている満 18 歳以上の方の中から 3,000 人を無作為に選び、調査票をお送りしております。

調査は無記名で行い、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。

文化は人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものとされており、船橋の文化を次世代に繋いでいくためにも、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025 年 7 月 船橋市

【回答のしかた】

次の 2 つの方法からいずれか 1 つを選び、封筒の宛名のご本人が回答してください。

1. 調査票に直接記入し郵送
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

【調査票での回答について】

- ・ご記入は鉛筆または黒のボールペンをお願いします。
- ・回答は、当てはまるものの番号に○をつけてください。○の数は、質問ごとに（○は 1 つ）、（○はいくつでも）などありますので、ご注意ください。
- ・調査票で回答した方は、オンラインでの回答は不要です。

【オンライン回答について】

オンライン回答用 url：

＊スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。

- ・オンラインで回答した方は、調査票での回答は不要です。

【回答期限】

2025 年 7 月 31 日（木）まで（投函またはオンライン回答）

【お問合せ先】

船橋市教育委員会文化課文化振興係

TEL：047-436-2894

1. 現在のあなた自身のことについて

問1：あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|------|------|--------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|------|------|--------|----------|

問2：あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------|----------|
| 1. 18～19 歳 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 |
| 4. 40 歳代 | 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 |
| 7. 70 歳以上 | | |

問3：船橋市内での居住年数を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 |
| 4. 20～29年 | 5. 30～39年 | 6. 40年以上 |

問4：居住地を教えてください。(次ページの地図を参考にお答えください。)(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 南部地区 | 2. 西部地区 | 3. 中部地区 |
| 4. 東部地区 | 5. 北部地区 | |

問5：あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

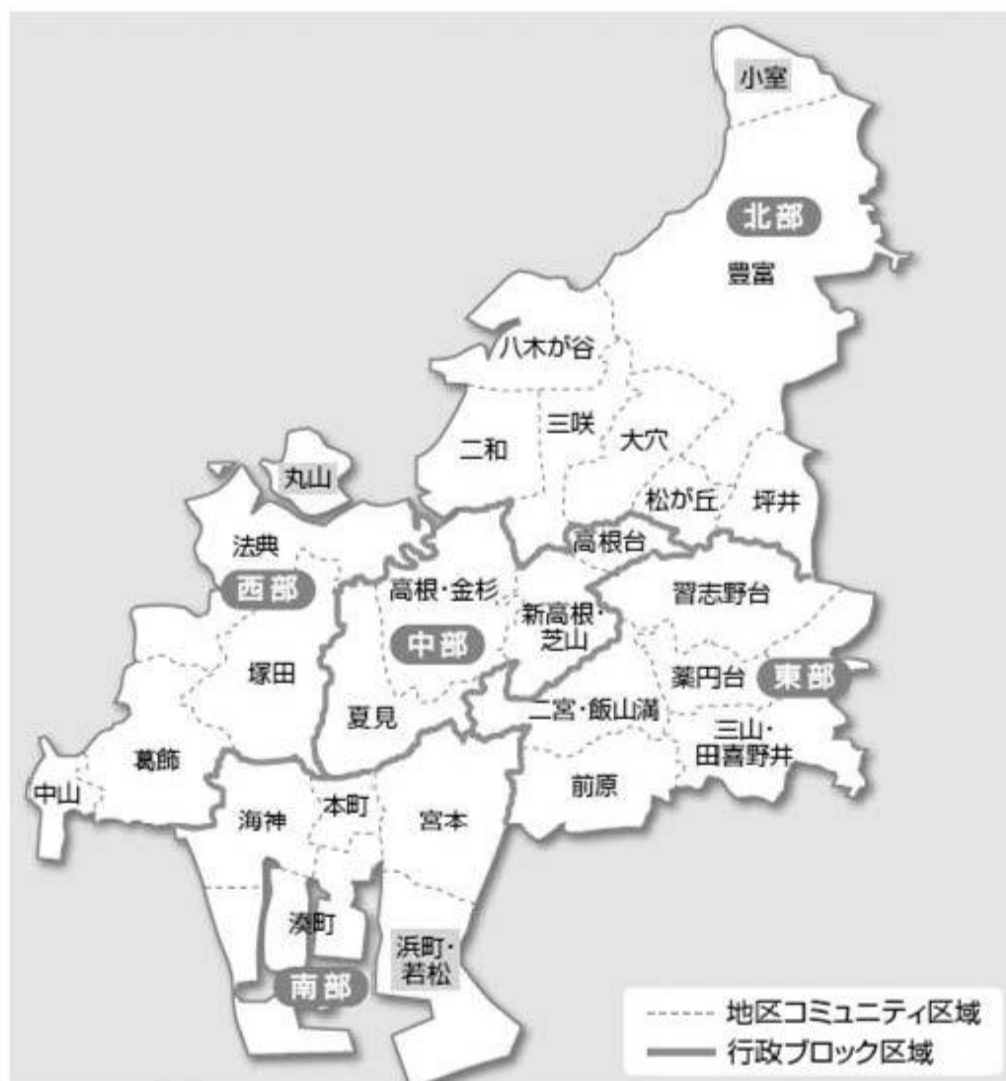
- | | | |
|------------|------------|-----------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員・公務員 | 3. アルバイト・パートタイム |
| 4. 専業主婦・主夫 | 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他 (| |) |

問6：同居しているご家族について教えてください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------------|------------------|--------------|-------------|
| 1. 未就学児と同居 | 2. 小学生と同居 | 3. 中学生と同居 | |
| 4. 高校生と同居 | 5. 介護・介助が必要な方と同居 | 6. 障害のある方と同居 | |
| 7. その他 (| |) | 8. 同居家族はいない |

問7：ご自身の状況について教えてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| 1. 介護・介助が必要 | 2. 障害がある | 3. 外国人 |
| 4. 1～3に該当しない | | |



2. 鑑賞したり、活動したり、興味のある文化芸術について

問8：※①～③はそれぞれ○をいくつでも

- ① あなたが過去1年間で鑑賞した文化芸術はどれですか。(①鑑賞の1～24より選択)
 ② 過去1年間、鑑賞ではなく、どのような文化芸術活動(※)(活動休止中も含む)を行っていますか。※演奏・創作などの表現活動、習い事、祭りや体験活動への参加のことを指し、学校の授業での受講は除く。(②活動の1～24より選択)
 ③ 今後活動したい又は興味がある文化活動はありますか。(③興味の1～24より選択)

	①鑑賞	②活動	③興味
1. 文学(小説・詩・俳句・短歌・川柳など)	1	1	1
2. クラシック音楽(吹奏楽・管弦楽・オペラなど)	2	2	2
3. 音楽(ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など)	3	3	3
4. 美術(絵画・彫刻・工芸・陶芸など)	4	4	4
5. 写真	5	5	5
6. 演劇(現代劇・ミュージカル・人形劇など)	6	6	6
7. 日本舞踊	7	7	7
8. バレエ・モダンダンス・民族舞踊(フラ・サルサ・フラメンコなど)・社交ダンスなど	8	8	8
9. ストリートダンス(ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ)など	9	9	9
10. 映画(動画配信含む)	10	10	10
11. マンガ・アニメ・ゲーム	11	11	11
12. 電子機器等を利用した芸術(デジタルアート)	12	12	12
13. 日本の伝統音楽(雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など)	13	13	13
14. 能楽・文楽・歌舞伎・組踊	14	14	14
15. 講談・落語・浪曲・漫談・漫才	15	15	15
16. 歌唱(合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど)	16	16	16
17. 茶道	17	17	17
18. 華道	18	18	18
19. 書道	19	19	19
20. 囲碁・将棋	20	20	20
21. 歴史的な建物・遺跡・文化財(寺社仏閣など)	21	21	21
22. 地域の伝統芸能・祭り(山車・神輿・お囃子・獅子舞など)	22	22	22
23. その他()	23	23	23
24. ①過去1年間は、鑑賞していない ②活動していない ③文化芸術活動に興味がない	24	24	24

3. 文化鑑賞・観覧について

問9：あなたは、文化芸術（問8の設問を参照）の鑑賞に関心がありますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかというに関心がある |
| 3. どちらかというに関心がない | 4. 関心がない |

問10：問8で「24. ①過去1年間は、鑑賞していない」を選んだ方にお聞きます。文化芸術を鑑賞しなかった(できなかった)理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 子育て、介護、仕事、学業などで時間がなかったため | |
| 2. 興味のある催し物がないため | 3. 催し物の情報が得られないため |
| 4. 催し物の料金が高いため | 5. 会場が遠方であったため |
| 6. チケットの入手方法がわからない・難しいため | 7. 小さな子どもを連れて行けないため |
| 8. 施設のバリアフリー対策が不十分のため | 9. 文化芸術に関心がないため |
| 10. その他（ | ） |

問11：どうすれば文化芸術を鑑賞する機会が増えたり、鑑賞しやすくなったりすると思いますか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 居住地の近くで鑑賞することができる | |
| 2. 鑑賞するための費用負担が軽減される | |
| 3. 好きなアーティストや作家などの魅力あるイベントが行われる | |
| 4. 体験型の催しがある | |
| 5. 文化芸術の専門的な用語の説明や道具の展示等がある | |
| 6. 催し物に関する情報がより入手しやすくなる | |
| 7. デジタルサイネージなどのDX、最先端テクノロジーを利用している | |
| 8. SNS等に投稿しやすい映えるものがある | |
| 9. 一緒に鑑賞する仲間がいる | |
| 10. 土日、祝日、夜間でも鑑賞することができる | |
| 11. 文化芸術に携わる人と対話できるようなイベントが行われる | |
| 12. 子連れでも鑑賞できるよう配慮されたイベントが増える | |
| 13. バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている | |
| 14. 文化芸術に興味がないため、鑑賞する機会は増えない | |
| 15. その他（ | ） |

1. 著名なアーティストによる展覧会やコンサートなど
2. 地元出身・ゆかりのアーティストによる展覧会やコンサートなど
3. 街中で仕事帰りなど気軽に立ち寄ることができるもの
4. 無料や安価な金額で見ることができるもの
5. 他にはない、珍しい企画や演出のあるもの
6. 子ども連れでも鑑賞できるように配慮されたもの
7. 自宅等でも楽しめるオンラインでの配信イベント
8. その他（)

1. とても活躍している	2. 活躍している	3. 活躍していない
4. 全く活躍していない	5. 船橋市ゆかりのアーティストを知らない	
6. わからない		

1. Web サイト	2. 新聞	3. 広報ふなばし
4. ポスター・チラシ	5. 情報誌	6. 口コミ
7. フェイスブック	8. X（エックス）	9. Instagram
10. YouTube	11. LINE	
12. その他（ ）		13. 特になし

問15(1): 問8で「②活動の1～23」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。文化芸術活動を始めたきっかけはなんですか。(○はいくつでも)

1. 元々好きだった
2. 物心がついたときには始めていた
3. 自宅近くで文化芸術活動が行われていたから
4. 家族、友人に誘われたから
5. テレビや SNS、本などを通じて興味を持ったから
6. 学校の部活動や同好会、サークルに参加したから
7. 学校行事で鑑賞・体験をしたから
8. 施設で鑑賞・体験をしたから
9. その他（ ）

問 15 (2) : 問 8 で「②活動の 1～23」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。文化芸術活動をするために使用した施設はどちらですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 船橋市民文化ホール | 2. 船橋市民文化創造館(きららホール) |
| 3. 勤労市民センター | 4. 飛ノ台史跡公園博物館 |
| 5. 郷土資料館 | 6. 子ども美術館(アンデルセン公園内) |
| 7. 市民ギャラリー | 8. 茶華道センター |
| 9. 公民館(船橋市内) | 10. 図書館(船橋市内) |
| 11. 市内在住の先生・師匠・講師の自宅・アトリエなど | |
| 12. 市内の民間施設(スタジオなど) | |
| 13. 市外の公共施設(公民館、コミュニティセンターなど) | |
| 14. 市外の民間施設(スタジオなど) | |
| 15. 市外在住の先生・師匠・講師の自宅・アトリエなど | |
| 16. その他() | |

問 16 : 問 8 で「②活動の 24. ②活動していない」を選んだ方にお聞きします。文化芸術活動をしていない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 関心のある活動・団体が少ない | 2. 活動の時間や時期が合わない |
| 3. 近くに活動に適する施設や場所がない | 4. 活動する場所が利用しにくい |
| 5. 活動に関する情報が少ない | 6. 活動に関する費用が高い |
| 7. 家族や職場など周囲の理解が得られない | 8. 助言・指導してくれる人がいない |
| 9. 一緒に活動する仲間がいない | 10. きっかけがない |
| 11. 仕事や家事が忙しくて時間がない | 12. 文化芸術活動に興味がない |
| 13. その他() | 14. 特になし |

問 17 : 文化芸術活動に参加しやすくするためにはどのようにすればよいと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 居住地の近くで活動に参加することができる |
| 2. 活動費の負担が軽くなる(会場使用料の負担軽減や道具購入費の補助等) |
| 3. 土日祝日や夜間に活動が行われる |
| 4. 魅力ある活動が行われる |
| 5. 一緒に活動する仲間ができる |
| 6. 初心者向けの活動が行われる |
| 7. 活動に必要な機材や道具がレンタルできる |
| 8. アーティストと交流する機会がある |
| 9. その他() |

5. 子ども、障害のある方の文化芸術活動について

問18: 問6で「1～4」を選んだ方（高校生以下のお子さんと同居する方）にお聞きします。

①同居する高校生以下のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、過去1年間で鑑賞した文化芸術はどれですか。

②また、過去1年間、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動（演奏・創作などの表現活動、習い事、祭りや体験活動への参加）をしていますか。（それぞれ〇はいくつでも）

	①鑑賞	②活動
1. 文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など）	1	1
2. クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど）	2	2
3. 音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など）	3	3
4. 美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など）	4	4
5. 写真	5	5
6. 演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など）	6	6
7. 日本舞踊	7	7
8. バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンスなど	8	8
9. ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など	9	9
10. 映画（動画配信含む）	10	10
11. マンガ・アニメ・ゲーム	11	11
12. 電子機器等を利用した芸術（デジタルアート）	12	12
13. 日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など）	13	13
14. 能楽・文楽・歌舞伎・組踊	14	14
15. 講談・落語・浪曲・漫談・漫才	15	15
16. 歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど）	16	16
17. 茶道	17	17
18. 華道	18	18
19. 書道	19	19
20. 囲碁・将棋	20	20
21. 歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など）	21	21
22. 地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など）	22	22
23. その他（ ）	23	23
24. ①鑑賞していない ②文化芸術活動をしていない	24	24

問 19：障害のある方の美術作品、音楽、演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまでに鑑賞や参加などをしたことはありますか。（○はいくつでも）

1. 船橋市内で鑑賞や参加をしたことがある
2. 船橋市以外で鑑賞や参加をしたことがある
3. 直接見たことはないが、テレビやインターネットで見たり聞いたりしたことはある
4. 鑑賞や参加をしたことはない

6. 文化施設や文化イベントについて

問 20：下記の船橋市内の文化芸術施設の中で、①ご存じの施設、②今までで訪れたことのある施設、③過去1年間で訪れたことのある施設について、それぞれお答えください。（それぞれ○はいくつでも）

	①ご存じの施設	②今までで訪れたことのある施設	③過去1年間で訪れたことのある施設
1. 船橋市民文化ホール	1	1	1
2. 船橋市民文化創造館（きららホール）	2	2	2
3. 勤労市民センター	3	3	3
4. 飛ノ台史跡公園博物館	4	4	4
5. 郷土資料館	5	5	5
6. 子ども美術館（アンデルセン公園内）	6	6	6
7. 市民ギャラリー	7	7	7
8. 茶華道センター	8	8	8
9. 公民館	9	9	9
10. 図書館	10	10	10
11. その他（ ）	11	11	11
12. 知っている施設はない	12	12	12

問 21：船橋市内の文化芸術施設で改善してほしいものはありますか。（○はいくつでも）

1. 美術専用の展示スペースを設ける
2. 大型の美術品が展示できるようにする
3. 音響をよくする
4. 照明を改善する
5. より宣伝に力を入れる
6. 新たな美術品を展示する
7. 一人でも活動（練習）できるように施設が利用しやすくなるようにする
8. その他（ ）
9. 施設（ハード）の改善よりも新規の美術品を収蔵したり、新規の展覧会やイベントを増やしたりするなどのソフトの改善を求める
10. 障害のある人も鑑賞や活動をしやすいようにする
11. 特になし

問 22：下記のイベントについて知っていますか。(各イベントに○は1つ)

	行ったことがある・ 参加したことがある	知っているが、行ったことは ない	聞いたことがある	知らない
船橋市所蔵作品展	1	2	3	4
音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭	1	2	3	4
地域ふれあいコンサート（公民館）	1	2	3	4
ふなばしミュージックストリート	1	2	3	4
まちかど音楽ステージ	1	2	3	4
船橋市役所ロビーコンサート	1	2	3	4

7. 地域の文化に関するイメージについて

問 23（1）：あなたは船橋市を「市民の文化活動や市の文化事業に対する取組が盛んなまち」だと思いますか。(○は1つ)

1. 思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 思わない

問 23（2）：問 23（1）で「1. 思う」「2. やや思う」を選んだ方にお聞きします。
その理由としてあてはまるものを、次の中から3つまで選んでください。

1. 音楽・美術などの文化・芸術活動が活発だから
2. 文化施設が整備されているから 3. 歴史的遺産が保存されているから
4. 伝統芸能や祭事が盛んだから
5. 自らが文化・芸術活動を行っている、又は行っている人が多いから
6. 市民が参加できるイベントが多いから 7. その他（ ）

問 23（3）：問 23（1）で「3. あまり思わない」「4. 思わない」を選んだ方にお聞きします。その理由としてあてはまるものを、次の中から3つまで選んでください。

1. 音楽・美術などの文化・芸術活動が活発でないから
2. 文化施設が整備されていないから 3. 歴史的遺産が保存されていないから
4. 伝統芸能や祭事が盛んでないから
5. 自らが文化・芸術活動を行っていない、又は行っていない人が多いから
6. 市民が参加できるイベントが少ないから 7. その他（ ）

8. 文化振興について

問 24：文化芸術を鑑賞したり、活動したりするために、あると良いと思う市の支援等がありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 催し物等に関する情報発信 | 2. 活動の発表・練習を行う機会の創出 |
| 3. 活動の立ち上げや継続に必要な資金が補助される | |
| 4. 活動を支える人材育成や後継者育成への支援 | |
| 5. 活動の相談支援 | |
| 6. 市内で活躍している芸術家の一覧表（アーティストバンク）の作成 | |
| 7. 子ども・若者が多様な文化芸術に触れる取組 | |
| 8. 高齢者の方の活動に対する支援 | 9. 障害者の方の活動に対する支援 |
| 10. 文化芸術と観光や産業等の他分野との連携 | 11. その他（ ） |

問 25：次の分野で文化芸術を活かした方がよいと感じるものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- | |
|--|
| 1. まちづくり・地域活性化（例：ビルの公開空地进行を芸術創造の場として活用、祭りとのコラボレーション） |
| 2. 経済・産業（例：企業のイベントと芸術祭のコラボ） |
| 3. 国際交流（例：食を含む異文化体験・各国の民族楽器の紹介） |
| 4. 観光（例：寺社仏閣をめぐるスタンプラリー、文化芸術の発進・交流拠点の創出） |
| 5. スポーツ・健康増進（例：スポーツイベントとのコラボ、健康・医療をテーマにした展覧会） |
| 6. 福祉（例：児童、高齢者、障害者等の福祉施設へのアーティスト派遣） |
| 7. IT（例：大型ビジョンでの作品紹介の演出） |
| 8. 世代交流（例：世代を超えた美術に対する意見交換） |
| 9. その他（ ） |

問 26：文化・芸術の振興を図ることにより、社会や地域にもたらされる効果としてあなたが期待するものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 人々が生きる楽しみを見出せる | 2. 人々の交流や社会参加が盛んになる |
| 3. 地域に対する愛着が醸成される | 4. 良い人材が集まる |
| 5. 人々の創造性が高まり、地域社会・経済の活性化につながる | |
| 6. 子どもが心豊かに成長する | 7. 地域のイメージが向上する |
| 8. 他の地域や諸外国から訪れる人が増える | |
| 9. 多様な価値観や個性を認め合う心が育まれ、地域が豊かになる | |
| 10. その他（ ） | |
| 11. 特に期待することはない | 12. わからない |

問 27：船橋市の文化振興のために、今後力を入れていくべき取組はどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 文化・芸術に関する情報発信を充実すること
2. 地域の文化資源（有形無形文化財、民俗文化財、遺跡、景観、郷土芸能・祭事等）の調査研究
3. 地域の文化資源の保護（保存と活用）、継承の取組の推進
4. 地域の文化資源に触れる機会の充実（見学会、展示、説明板、講座・イベント等）
5. 文化施設を整備・充実すること
6. 市民の自主的な文化・芸術活動を支援すること
7. 民間（企業・NPO 等）による文化事業・イベントを支援すること
8. 行政による文化事業・イベントを充実すること
9. 文化・芸術団体の育成・活動を支援すること
10. 芸術家の育成・支援をすること
11. 文化・芸術活動に関わる指導者・技術者を育成・派遣すること
12. 子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実
13. 年齢、性別、国籍、経済状況、障害の有無等を問わずあらゆる人が文化事業に参加できる環境を整えること
14. オンラインによるイベントやワークショップ等の充実
15. 文化芸術と観光、福祉、産業など他分野が連携し、多様な文化事業を実施すること
16. その他（ ）
17. わからない

9. 自由記述

問 28：文化振興に関するあなたの考えやアイデア、提案などを自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2 団体向け

船橋市 文化芸術振興に関するアンケート調査 ご協力のお願い【文化芸術団体】

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

船橋市では、平成 29 年に船橋の文化を未来に引き継ぎ、船橋らしい文化を創造するために「文化振興基本方針」を策定しました。現在の「第 2 次船橋市文化振興基本方針」では、「ふるさと船橋」に親しみを感じることができるよう、文化施策を推進していますが、同方針は令和 8 年度までとなっていることから、新たに令和 9 年度より開始する「第 3 次船橋市文化振興基本方針」の策定をすることとなりました。そこで、市民の文化・芸術及び文化施設等に係る関心や期待、利用実態等を把握するためのアンケート調査を実施いたします。この調査では、船橋市で活動している、文化・芸術関連の団体に対して調査票をお送りしています。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。

文化は人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものとされており、船橋の文化を次世代に繋いでいくためにも、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025 年 7 月 船橋市

【回答のしかた】

次の 2 つの方法からいずれか 1 つを選び、封筒の宛名のご本人が回答してください。

回答にあたっては、代表の方や他の団員の方とご相談いただいて構いません。

1. 調査票に直接記入し郵送
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

【調査票での回答について】

- ・ご記入は鉛筆または黒のボールペンでお願いします。
- ・回答は、当てはまるものの番号に○をつけてください。○の数は、質問ごとに（○は 1 つ）、（○はいくつでも）などありますので、ご注意ください。
- ・調査票で回答した方は、オンラインでの回答は不要です。

【オンライン回答について】

オンライン回答用 url :

*スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。

- ・オンラインで回答した方は、調査票での回答は不要です。

【回答期限】

2025 年 7 月 31 日（木）まで（投函またはオンライン回答）

【お問合せ先】

船橋市教育委員会文化課文化振興係

TEL : 047-436-2894

団体名（ ）

問1 貴団体の活動分野について、あてはまるものをすべて選んでください。
(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 文学（小説・詩・俳句・短歌・川柳など） |
| 2. クラシック音楽（吹奏楽・管弦楽・オペラなど） |
| 3. 音楽（ポップス・ロック・ジャズ・演歌・歌謡曲など） |
| 4. 美術（絵画・彫刻・工芸・陶芸など） |
| 5. 写真 |
| 6. 演劇（現代劇・ミュージカル・人形劇など） |
| 7. 日本舞踊 |
| 8. バレエ・モダンダンス・民族舞踊（フラ・サルサ・フラメンコなど）・社交ダンス
など |
| 9. ストリートダンス（ロッキング・ブレイキング・ヒップホップ・ジャズ）など |
| 10. 映画（動画配信含む） |
| 11. マンガ・アニメ・ゲーム |
| 12. 電子機器等を利用した芸術（デジタルアート） |
| 13. 日本の伝統音楽（雅楽・長唄・三味線・尺八・箏など） |
| 14. 能楽・文楽・歌舞伎・組踊 |
| 15. 講談・落語・浪曲・漫談・漫才 |
| 16. 歌唱（合唱・コーラス・ゴスペル・カラオケなど） |
| 17. 茶道 |
| 18. 華道 |
| 19. 書道 |
| 20. 囲碁・将棋 |
| 21. 歴史的な建物・遺跡・文化財（寺社仏閣など） |
| 22. 地域の伝統芸能・祭り（山車・神輿・お囃子・獅子舞など） |
| 23. その他（ ） |

問2 貴団体の会員数を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 10人未満 | 2. 10～29人 | 3. 30～49人 |
| 4. 50～99人 | 5. 100人以上 | |

問3 貴団体の会員（加入者）の平均年齢についてお答えください。おおよそでもかまいません。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | |

問4 貴団体は設立からどのくらい経過していますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年～10年 | 3. 11年～15年 |
| 4. 16年～20年 | 5. 21年～25年 | 6. 26年～30年 |
| 7. 31年～35年 | 8. 36年～40年 | 9. 41年～45年 |
| 10. 46年～50年 | 11. 51年以上 | |

問5 貴団体の年間の予算額を回答してください。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10～50万円未満 | 3. 50～100万円未満 |
| 4. 100～200万円未満 | 5. 200～300万円未満 | 6. 300万円以上 |

問6 貴団体の主な活動場所はどこですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 船橋市民文化ホール | 2. 船橋市民文化創造館(きららホール) |
| 3. 勤労市民センター | 4. 飛ノ台史跡公園博物館 |
| 5. 郷土資料館 | 6. 子ども美術館(アンデルセン公園内) |
| 7. 市民ギャラリー | 8. 茶華道センター |
| 9. 公民館 | 10. 図書館 |
| 11. その他() | |

問7 貴団体の活動頻度はどの程度ですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 週1回程度 | 2. 月2～3回程度 | 3. 月1回程度 |
| 4. 2～3ヶ月に1回程度 | 5. 半年に1回程度 | 6. その他() |

問8 文化芸術活動を通じて、どのような効果を期待していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. 文化芸術の普及・振興 | 2. スキルの向上 | 3. 生きがいづくり |
| 4. 地域の魅力向上 | 5. 地域活性化 | 6. 交流の場 |
| 7. 仲間づくり | 8. 文化芸術の後継者育成 | |
| 9. その他() | | |

問9 貴団体の活動における課題は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 会員の高齢化 | 2. 会員の減少 | 3. 活動資金の不足 |
| 4. 活動場所の確保 | 5. 指導者の不足 | 6. 発表の機会の不足 |
| 7. その他() | | |

問10 今後の活動に向けて、どのような支援を望みますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|-----------------|------------|
| 1. 活動資金の援助 | 2. 活動場所の提供 | 3. PRの場の確保 |
| 4. 人材育成支援 | 5. 他団体との交流機会の提供 | |
| 6. その他() | | |

問 11 過去に貴団体のイベントでゲストのアーティストを呼んだことはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 12 問 11 で「ある」と回答した団体にお聞きます。ゲストのアーティストを呼ぶ際に困ったことはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1. 誰を呼べばよいかわからなかった (悩んだ) |
| 2. ゲストを呼ぶための費用が高かった |
| 3. ゲストの連絡先などの情報がわからなかった |
| 4. ゲストとの仲介役がいなかった |
| 5. 今までと同じようなゲストになってしまう |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

問 13 文化芸術振興のために重要だと思う取り組みは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1. 文化施設の整備・充実 | 2. 文化イベントの開催 | 3. 文化団体への支援 |
| 4. 子ども体験機会の充実 | 5. 伝統文化の保存・継承 | 6. 文化情報の発信 |
| 7. その他 () | | |

問 14 船橋市内の文化芸術施設で改善してほしいものはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 美術専用の展示スペースを設ける | 2. 大型の美術品が展示できるようにする |
| 3. 音響をよくする | 4. 照明を改善する |
| 5. より宣伝に力を入れる | 6. 新たな美術品を展示する |
| 7. 一人でも活動(練習)できるように施設が利用しやすくなるようにする | |
| 8. その他 () | |
| 9. 施設(ハード)の改善よりも新規の美術品の収蔵や新規の展覧会などのソフトの改善を求める | |
| 10. 障害のある人も鑑賞や活動をしやすくする | 11. 特になし |

問 15 貴団体の活動の情報発信の手段を回答してください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------------|-------------|--------------|-------------|
| 1. ホームページ | 2. 広告 | 3. 会報誌 | 4. Facebook |
| 5. YouTube | 6. X (エックス) | 7. Instagram | 8. LINE |
| 9. その他 () | | | |

問 16 文化振興に関するあなたの考えやアイデア、提案などを自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。